

第 7 次埼玉県地域保健医療計画 圏域別取組（東部）R5 年度実績調書

埼玉県東部地域保健医療協議会事務局

1 地域の子育て支援の充実・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P 1

《主な取組》

- ・ 妊娠期から子育て期までの切れ目のない支援体制の構築
- ・ 小児救急医療体制の維持・充実
- ・ 小児医療に関する情報提供と適切な受診方法の普及啓発

2 生活習慣病を踏まえた健康づくり対策・・・・・・・・・・・・・・・・P 5

《主な取組》

- ・ 食生活、運動等に関する正しい知識の普及や情報提供
- ・ 特定検診や特定保健指導による生活習慣病の早期発見・早期治療の促進
- ・ がん検診受診率の向上
- ・ 糖尿病の発症及び重症化予防対策の推進
- ・ 高齢者の健康づくりの推進

3 心の健康対策・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P 1 5

《主な取組》

- ・ 精神保健に係る関係機関との連携強化
- ・ 精神保健に係る情報提供や相談体制の充実
- ・ 退院後の地域支援体制の充実強化

4 健康危機管理体制の整備充実・・・・・・・・・・・・・・・・P 1 8

《主な取組》

- ・ 地域における健康危機管理体制の充実強化
- ・ 大規模災害時における医療提供体制の確保に向けた取組
- ・ 感染症対策の強化
- ・ 新型コロナウイルス感染症対策の強化
- ・ 食の安全・安心確保

5 在宅医療の推進・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P 2 4

《主な取組》

- ・ 在宅医療・介護の連携推進
- ・ 在宅医療連携拠点の充実
- ・ 在宅医療・介護関係者の情報共有、相談体制の支援
- ・ 関係機関の連携の推進

第7次計画埼玉県地域保健医療計画 東部保健医療圏 圏域別取組 R5年度実績(1)

圏域別取組	地域の子育て支援の充実
目標	妊娠から子育て期まで切れ目のない支援体制の構築を進めます。 また、急病等の子供が必要なときに適切な医療を受けることができるよう、小児救急医療体制の維持・充実を図ります。 さらに、小児医療に関する保護者の不安を軽減するとともに、適切な受診を促進するため情報提供や意識啓発に努めます。
主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ■妊娠から子育て期まで切れ目のない支援体制の構築 ■小児救急医療体制の維持・充実 ■小児医療に関する情報提供と適切な受診方法の普及啓発
実施主体	市町、保健所、医師会、歯科医師会、薬剤師会、消防本部、医療機関

主な取組	実施主体	R4	R5
① 妊娠から子育て期まで切れ目のない支援体制の構築	吉川松伏医師会	<ul style="list-style-type: none"> ・医師会は、市、町と連携して、集団乳幼児健診をおこなった。 ・乳幼児健診の吉川市は、4ヶ月児健診24回、1歳8か月児健診24回、3歳4ヶ月児健診24回、発育発達相談12回、医師を派遣した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・医師会は、市、町と連携して、集団乳幼児健診をおこなった。 ・乳幼児健診の吉川市は、4ヶ月児健診24回、1歳8か月児健診24回、3歳4ヶ月児健診24回、発育発達相談12回、医師を派遣した。また、松伏町は、4ヶ月健診11回、9ヶ月健診12回、1歳8ヶ月健診12回、3歳4ヶ月健診12回、発育発達相談12回実施した。
	東埼玉歯科医師会	<ul style="list-style-type: none"> ・妊産婦への歯科講話、歯科健診 ・にこにこ歯みがき教室での講話 ・フッ化物塗布 	<ul style="list-style-type: none"> ・妊産婦への歯科講話、歯科健診 ・にこにこ歯みがき教室での講話 ・フッ化物歯面塗布
	春日部市	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て世代包括支援センター(ぼっぼセンター)に、助産師、保健師の専門職員を配置し、妊娠から子育て期にわたる切れ目のない支援を行った。 ・出産・子育て応援事業の開始に伴い、伴走型相談支援の体制を整え、妊娠届出から出産、子育てまでの支援をさらに充実させた。利用実数：7,472人 	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て世代包括支援センター(ぼっぼセンター)に、助産師、保健師の専門職員を配置し、妊娠から子育て期にわたる切れ目のない支援を行った。 ・出産・子育て応援事業の開始に伴い、伴走型相談支援の体制を整え、妊娠届出から出産、子育てまでの支援をさらに充実させた。利用実数：6861人
	草加市	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て世代包括支援センターで妊娠・出産・子育てに関する相談に応じ、必要な情報提供、母子健康手帳の交付、相談対応、保健指導を行っている。また、必要に応じ、母子保健事業の参加を促し切れ目のない支援を行った。 <令和4年度母子健康手帳の交付および面談件数 1732件> <令和4年度相談(来所・電話・訪問)件数 2033件> 	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て世代包括支援センターでは、母子健康手帳の交付などの機会を通して、妊娠・出産・子育てに関する相談に応じ、必要な情報提供や助言・保健指導を行った。また、必要に応じ、母子保健事業の参加につなげ、関係部署や関係機関との連絡調整を行い、切れ目のない支援を行った。 <令和5年度母子健康手帳の交付および面談件数 1,656件> <令和5年度相談(来所・電話・訪問)件数 2,847件>
	越谷市	<ul style="list-style-type: none"> ・平成30年4月に子育て世代包括支援センターを市役所と保健センターの2か所に開設した。 ・子育て世代包括支援センターでは、保健師や助産師などの専門職が母子健康手帳の交付時に妊婦全員との面談を実施し、本人の体調や育児不安の有無、生活状況などを把握しながら、様々な悩みや不安に対する相談、子育てに関するサービスなどの情報提供を行った。支援が必要な妊婦さんを把握し、安心して出産・子育てが出来るよう、妊娠中からのサポートを行った。また、令和5年2月からは伴走型相談支援事業が開始され、母子健康手帳交付時の面談に加え、妊娠8か月頃の妊婦にアンケートを送付し、希望者について来所やオンラインによる面談を実施した。 令和4年度 母子健康手帳交付数 2,520件 支援プラン作成数 215件 	<ul style="list-style-type: none"> 子育て世代包括支援センターでは、保健師や助産師などの専門職が母子健康手帳の交付時に妊婦全員との面談を実施し、本人の体調や育児不安の有無、生活状況などを把握しながら、様々な悩みや不安に対する相談、子育てに関するサービスなどの情報提供を行った。支援が必要な妊婦さんを把握し、安心して出産・子育てが出来るよう、妊娠中からのサポートを行った。また、令和5年2月からは伴走型相談支援事業が開始され、母子健康手帳交付時の面談に加え、妊娠8か月頃の妊婦にアンケートを送付し、希望者について来所やオンラインによる面談を実施した。 令和5年度 母子健康手帳交付数 2,318件 支援プラン作成数 241件
	八潮市	<ul style="list-style-type: none"> 「にじいろ子育て相談室(子育て世代包括支援センター)」において、専任の保健師または助産師を常時1人配置し、妊娠から子育て期までの切れ目のない相談支援を行った。 ・母子健康手帳交付時面接人数 907人 ・来所相談 376人 ・電話相談 815人 	<ul style="list-style-type: none"> 「にじいろ子育て相談室(子育て世代包括支援センター)」において、専任の保健師または助産師を常時1人配置し、妊娠から子育て期までの切れ目のない相談支援を行った。 ・母子健康手帳交付時面接人数 827人 ・来所相談 565人 ・電話相談 890人
	三郷市	<ul style="list-style-type: none"> ・保健師が随時、母子の健康に関する相談及び指導を行った。 延実施者数：訪問指導1,175人、来所相談782人、電話相談2,754人。 ・子育て支援ステーションほほえみ(子育て世代包括支援センター)で妊娠届出時等に妊婦との面談を実施し、支援が必要な方には支援プランを作成し、妊娠・出産・子育てに関する相談支援を実施した。 ・子育て情報を掲載した「にこにこ子育て応援ガイド」を作成し妊娠届出時等に配布した。 ・利用者支援事業(基本型・特定型・母子保健型)を実施し、子育て支援施設や保育所等の利用に関する相談や情報提供を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保健師、助産師が随時、母子の健康に関する相談及び指導を行った。 延実施者数：訪問指導2,352人、来所相談2,305人、電話相談1,519人。 ・子育て支援ステーションほほえみ(子育て世代包括支援センター)で妊娠届出時等に妊婦との面談を実施し、支援が必要な方には支援プランを作成し、妊娠・出産・子育てに関する相談支援を実施した。 ・子育て情報を掲載した「にこにこ子育て応援ガイド」を作成し妊娠届出時等に配布した。 ・利用者支援事業(基本型・特定型・母子保健型)を実施し、子育て支援施設や保育所等の利用に関する相談や情報提供を実施した。

第7次計画埼玉県地域保健医療計画 東部保健医療圏 圏域別取組 R5年度実績(1)

圏域別取組	地域の子育て支援の充実
目標	妊娠から子育て期まで切れ目のない支援体制の構築を進めます。 また、急病等の子供が必要なときに適切な医療を受けることができるよう、小児救急医療体制の維持・充実を図ります。 さらに、小児医療に関する保護者の不安を軽減するとともに、適切な受診を促進するため情報提供や意識啓発に努めます。
主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ■妊娠から子育て期まで切れ目のない支援体制の構築 ■小児救急医療体制の維持・充実 ■小児医療に関する情報提供と適切な受診方法の普及啓発
実施主体	市町、保健所、医師会、歯科医師会、薬剤師会、消防本部、医療機関

主な取組	実施主体	R4	R5
	吉川市	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て世代包括支援センターに助産師を専門職員として常時1人配置。母子手帳交付時の面接等によりアセスメントを行い、必要に応じてサービスや他機関を案内。 妊娠の届出数：486人 	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て世代包括支援センターに助産師を専門職員として常時1人配置。母子手帳交付時の面接等によりアセスメントを行い、必要に応じてサービスや他機関を案内。 妊娠の届出数：466人
	松伏町	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て世代包括支援センターにて、母子手帳交付時に保健師との面接を実施し、支援を要するケースについて関係機関を交えてケースカンファレンスを実施した。また、支援プランを作成し、切れ目のない支援体制が構築できている。 	<ul style="list-style-type: none"> 子育て世代包括支援センターにて、伴走型相談支援を実施した。必要時支援プランを作成し、支援を要するケースについては関係機関を交えてケースカンファレンスを実施しており、切れ目のない支援体制が構築できている。また、出産・子育て応援給付金の給付を実施し、経済的支援を行った。 妊娠届出数：124人 個別支援プラン立案数：妊婦28件、産婦14件 出産応援給付金：285件（うち、遡及分168件） 子育て応援給付金：211件（うち、遡及分108件）
	草加保健所	<ul style="list-style-type: none"> ○妊娠からの虐待予防強化事業 春日部保健所と共催で研修会を実施（R5.2.7参加者：会場25人、オンデマンド32人） ○小児慢性特定疾病医療給付制度申請時の療養状況確認（面接等の実施） 令和4年度承認件数501件、ピアカウンセリング事業周知405件、療養のおたすね448件送付363件回収 ○管内4市の要保護児童対策地域協議会に出席（31回） ○関係機関の支援者及び療養患者に向けた事業を実施 ・長期療養児教室 （①R4.11/11療養患者向け：会場14人、オンデマンド10人②R5.1/18支援者向け：会場29人） ・保健所別母子保健連携調整会議2回 ・研修会2回（①R4.12/7 会場25人 オンデマンド65人、②R5.1/10 会場11人 オンデマンド55人） ・子どもの心のネットワーク事業 子どもの心の問題に関する研修会（R5.2/3参加者：会場11人、オンデマンド46人） ・小児精神保健医療推進連絡会議、医師及び心理士による相談10回（延人数14人） ・ふれあい親子支援事業研修会（R4.11/24参加者：会場13人、オンデマンド62人）、事例検討7件 	<ul style="list-style-type: none"> ○妊娠からの虐待予防強化事業研修会の開催（参加者15人、春日部保健所と共催） ○小児慢性特定疾病医療給付制度申請時の療養状況確認（面接等の実施） ・令和5年度承認件数518件、療養のおたすね384件送付、328件回収 ○管内4市の要保護児童対策地域協議会に出席（34回） ○関係機関の支援者及び療養患者に向けた事業の実施 ・長期療養児教室（参加者6人） ・小児慢性特定疾病児童等ピアカウンセリング事業2回（延べ参加者18人） ・保健所別母子保健連携調整会議2回（延べ参加者39人、2回目は春日部保健所と共催） ・子どもの心の問題に関する研修会（参加者96人） ・小児精神保健医療推進連絡会議（参加者21人） ・子ども心の健康相談：医師及び心理士による相談9回（延人数19人） ・ふれあい親子支援事業個別ケース検討4回（延べ参加者32人）
	春日部保健所	<ul style="list-style-type: none"> 妊娠からの虐待予防強化事業研修会 講義「妊娠からの虐待予防 精神疾患を持つ妊産婦とのかかわり方～精神科医から支援者へのメッセージ～」 （実施日：令和5年2月7日 57人参加） ※草加保健所と共催、YouTube限定公開によるオンデマンド配信も実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○妊娠からの虐待予防強化事業研修会の開催 2回実施（1回は草加保健所と共催）、延参加者28人 ○小児慢性特定疾病医療給付制度申請時の療養状況確認（面接等の実施） ・令和5年度承認件数214件、面接等の実施 延231件 ○管内2市町の要保護児童対策地域協議会に出席（20回） ○関係機関の支援者及び療養患者に向けた事業の実施 ・長期療養児教室（参加者14人） ・保健所別母子保健連携調整会議2回（延べ参加者28人、2回目は草加保健所と共催） ・子ども心の健康相談：医師及び臨床心理士による相談10回（延人数16人） ・子どもの心の問題に関する研修会・連絡会議（1回、参加者18人）
②小児救急医療体制の維持・充実	春日部市医師会	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度も毎週月曜日から金曜日の午後7時から午後10時まで、「春日部市小児救急夜間診療所」にて小児救急患者を診療した。 ・休日（日曜日、祝日、年末年始）の小児救急患者の対応のため、1年間の小児科系の休日当番医を決め、診療に当たった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度も毎週月曜日から金曜日の午後7時から午後10時まで、「春日部市小児救急夜間診療所」にて小児救急患者を診療した。 ・休日（日曜日、祝日、ゴールデンウィーク、年末年始）の小児救急患者の対応のため、1年間の小児科系の休日当番医を決め、診療に当たった。
	越谷市医師会	<ul style="list-style-type: none"> 越谷市が公設公営設置している夜間急患診療所において、小児科専門医をはじめ医療スタッフを派遣し、初期救急に対応している。越谷市立病院や獨協埼玉医療センター小児科との後方連携による二次救急にも対応している。 	<ul style="list-style-type: none"> 越谷市が公設公営設置している夜間急患診療所において、小児科専門医をはじめ医療スタッフを派遣し、初期救急に対応している。越谷市立病院や獨協埼玉医療センター小児科との後方連携による二次救急にも対応している。
	吉川松伏医師会	<ul style="list-style-type: none"> ・小児時間外診療事業として、14医療機関に於いて、平日午後7時から9時30分まで当番制で実施した。（吉川10医療機関、松伏4医療機関） ・令和4年度は、240日を実施した。また、受診者数は218件、電話相談85件であった。また、二次救急へ20件を紹介した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・小児時間外診療事業として、14医療機関に於いて、平日午後7時から9時まで当番制で実施した。（吉川10医療機関、松伏4医療機関） ・令和5年度は、241日を実施した。また、受診者数204件、電話相談86件であった。また、二次救急へ20件案内した。
	草加八潮医師会	<ul style="list-style-type: none"> ○草加市子ども急病夜間クリニックについては、草加市から運営の委託を受けて、初期救急患者（第一次救急患者）に対応している。また、一部、二次救急についても対応している。 ○八潮市立休日診療所については、医師等の派遣を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○草加市から委託を受け、草加市子ども急病夜間クリニックを運営している。クリニックでは、初期救急患者（第一次救急患者）の対応をしている。また、一部、二次救急についても対応している。 ○八潮市立休日診療所については、医師等の派遣を行っている。

第7次計画埼玉県地域保健医療計画 東部保健医療圏 圏域別取組 R5年度実績(1)

圏域別取組	地域の子育て支援の充実
目標	妊娠から子育て期まで切れ目のない支援体制の構築を進めます。 また、急病等の子供が必要なときに適切な医療を受けることができるよう、小児救急医療体制の維持・充実を図ります。 さらに、小児医療に関する保護者の不安を軽減するとともに、適切な受診を促進するため情報提供や意識啓発に努めます。
主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ■妊娠から子育て期まで切れ目のない支援体制の構築 ■小児救急医療体制の維持・充実 ■小児医療に関する情報提供と適切な受診方法の普及啓発
実施主体	市町、保健所、医師会、歯科医師会、薬剤師会、消防本部、医療機関

主な取組	実施主体	R4	R5
	三郷市医師会	日曜・祝日の休日診療所の運営、平日夜間の輪番制による小児時間外(初期救急)診療及び土曜日夜間の休日診療所を利用した同診療体制の実施。	
	東埼玉歯科医師会	・休日急患歯科診療(年末年始・ゴールデンウィーク・旧盆)輪番制	・休日急患診療(年末年始・ゴールデンウィーク・旧盆)
	春日部市薬剤師会	—	春日部市小児救急夜間診療所内薬局に薬剤師派遣し院内調剤と医薬品等の管理をする。日曜日・祝日の休日当番薬局を輪番制で開局し、休日当番医の院外処方せんに対応している。
	春日部市	<ul style="list-style-type: none"> ・在宅当番医制による祝休日の初期救急・・・1日につき3か所(内・外・小児)実施。72日開所、受診者数4,318人(小児のみ)。 ・平日夜間の小児初期救急・・・春日部市小児救急夜間診療所の開所(年末年始を除く)。243日開所、受診者数451人。 ・東部南地区(6市1町)による小児二次救急・・・4医療機関により夜間365日+祝休日昼間72日実施。救急搬送人員数3,792人。 	<ul style="list-style-type: none"> ・在宅当番医制による祝休日の初期救急・・・1日につき3か所(内・外・小児)実施。73日開所、受診者数5,191人(小児のみ)。 ・平日夜間の小児初期救急・・・春日部市小児救急夜間診療所の開所(年末年始を除く)。243日開所、受診者数615人。 ・東部南地区(6市1町)による小児二次救急・・・4医療機関により夜間366日+祝休日昼間73日実施。救急搬送人員数4,300人。(市内では春日部市立医療センターが輪番制病院として参加。)
	草加市	<ul style="list-style-type: none"> ・夜間及び休日の子どもの応急的な初期診療を行うため、「草加市子ども急病夜間クリニック」を運営し、365日の診療を対応した。(令和4年度利用者数 3,943名) 	<ul style="list-style-type: none"> ・夜間及び休日の子どもの応急的な初期診療を行うため、「草加市子ども急病夜間クリニック」を運営し、366日の診療を対応した。(令和5年度利用者数 4,631名)
	越谷市	<ul style="list-style-type: none"> ・休日当番医制事業(休日、年末年始)を実施した。 ・越谷市夜間急患診療所において、小児科の診療を毎日実施した。令和4年度 受診者数 1,441人 ・埼玉県東部南地区の構成市町と連携し、小児救急医療支援事業を実施した。また、越谷市立病院が輪番制病院として参加している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・休日当番医制事業(休日、年末年始)を実施した。 ・越谷市夜間急患診療所において、小児科の診療を毎日実施した。令和5年度 受診者数 1,665人 ・埼玉県東部南地区の構成市町と連携し、小児救急医療支援事業を実施した。また、越谷市立病院が輪番制病院として参加している。
	八潮市	<ul style="list-style-type: none"> ・日曜、祝日、振替休日及び年末年始に初期救急診療(休日診療所)を実施した。 1歳未満 25人 1歳～就学前 177人 小学1年～15歳 68人 	<ul style="list-style-type: none"> ・日曜、祝日、振替休日及び年末年始に初期救急診療(休日診療所)を実施した。 1歳未満 25人 1歳～就学前 179人 小学1年～15歳 241人
	三郷市	<ul style="list-style-type: none"> ・小児時間外(初期救急)診療事業を当番医療機関で実施した。353人(月～土曜日の19時～21時まで実施) ・休日、日曜夜間診療を医師会立休日診療所で実施した。1,080人(日曜・祝日・休日及び年末年始の昼間は10時～12時と14時～16時、日曜の夜間は18時～21時) ・埼玉県東部南地区の構成市町(6市1町)と連携し、第二次救急小児救急医療支援事業を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・小児時間外(初期救急)診療事業を当番医療機関で実施した。385人(月～土曜日の19時～21時まで実施) ・休日、日曜夜間診療を医師会立休日診療所で実施した。1,232人(日曜・祝日・休日及び年末年始の昼間は10時～12時と14時～16時、日曜の夜間は18時～21時) ・埼玉県東部南地区の構成市町(6市1町)と連携し、第二次救急小児救急医療支援事業を実施した。
	吉川市	<ul style="list-style-type: none"> ・小児時間外(初期救急)診療を松伏町と連携し、吉川松伏医師会の協力のもと実施。12医療機関(吉川市8医療機関、松伏町4医療機関)、平日午後7時から午後9時30分まで当番制で実施した。 診療日数:237日 受診者数:303人(うち電話相談:85件) 二次救急への紹介:20人 ※埼玉県東部南地区第二次救急医療対策協議会において小児救急医療支援事業を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・小児時間外(初期救急)診療を松伏町と連携し、吉川松伏医師会の協力のもと実施。14医療機関(吉川市10医療機関、松伏町4医療機関)、平日午後7時から午後9時30分まで当番制で実施した。 診療日数:241日 受診者数:290人(うち電話相談:86件) 二次救急への紹介:20人 ※埼玉県東部南地区第二次救急医療対策協議会において小児救急医療支援事業を実施
	松伏町	<ul style="list-style-type: none"> ・小児時間外(初期救急)診療を吉川市と連携し、吉川・松伏医師会の協力を得て実施した。 ・埼玉県東部南地区の構成市町(6市1町)と連携し、小児救急医療支援事業(2次救急)を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・小児時間外(初期救急)診療を吉川市と連携し、吉川・松伏医師会の協力を得て実施した。 ・埼玉県東部南地区の構成市町(6市1町)と連携し、小児救急医療支援事業(2次救急)を実施した。
	春日部保健所	埼玉県東部南地区第二次救急医療対策協議会に参加し、状況の確認、意見交換を行った。	埼玉県東部南地区第二次救急医療対策協議会に参加し、状況の確認、意見交換を行った。

第7次計画埼玉県地域保健医療計画 東部保健医療圏 圏域別取組 R5年度実績(1)

圏域別取組	地域の子育て支援の充実
目標	妊娠から子育て期まで切れ目のない支援体制の構築を進めます。 また、急病等の子供が必要なときに適切な医療を受けることができるよう、小児救急医療体制の維持・充実を図ります。 さらに、小児医療に関する保護者の不安を軽減するとともに、適切な受診を促進するため情報提供や意識啓発に努めます。
主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ■妊娠から子育て期まで切れ目のない支援体制の構築 ■小児救急医療体制の維持・充実 ■小児医療に関する情報提供と適切な受診方法の普及啓発
実施主体	市町、保健所、医師会、歯科医師会、薬剤師会、消防本部、医療機関

主な取組	実施主体	R4	R5
③ 小児医療に関する情報提供と適切な受診方法の普及啓発	越谷市医師会	当会ホームページ上にある「医療機関検索」を、より分かり易く、より使い易くなるようバージョンアップし公開している。また、夜間急患診療所を利用した患者保護者に対して、「かかりつけ医」の重要性と子どもの健康について丁寧に説明し対応している。	当会ホームページ上にある「医療機関検索」を、より分かり易く、より使い易くなるようバージョンアップし公開している。また、夜間急患診療所を利用した患者保護者に対して、「かかりつけ医」の重要性と子どもの健康について丁寧に説明し対応している。
	吉川松伏医師会	<ul style="list-style-type: none"> ・市、町と連携し、小児時間外診療事業の実施医療機関等のリーフレットを作成し、住民配布をした。 ・医師会ホームページにおいて、小児時間外診療事業の実施医療機関の情報を公開した。 ・夏季・年末年始の医療機関の診療状況についてもホームページにおいて公開した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市、町と連携し、小児時間外診療事業の実施医療機関等のリーフレットを作成し、住民配布をした。 ・医師会ホームページにおいて、小児時間外診療事業の実施医療機関の情報を公開した。 ・夏季・年末年始の医療機関の診療状況についてもホームページにおいて公開した。
	草加八潮医師会	当会のホームページで案内をしている。	当会のホームページで案内をしている。
	三郷市医師会	市及び医師会ホームページでの小児救急医療に関する案内。	
	東埼玉歯科医師会	・ホームページの活用	・ホームページでの案内
	春日部市薬剤師会		休日当番薬局を春日部市薬剤師会ホームページに掲載している。
	春日部市	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度コミュニケーション・健康情報カレンダーに診療科目等を明記した市内医療機関の一覧表を掲載した。 ・市広報、公式ホームページ等により、「埼玉県救急電話相談」を周知した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度コミュニケーション・健康情報カレンダーに診療科目等を明記した市内医療機関の一覧表を掲載した。 ・市広報、公式ホームページ等により、在宅当番医制による祝休日の初期救急や春日部市小児救急夜間診療所による平日夜間の小児初期救急、「埼玉県救急電話相談」等について周知した。
	草加市	<ul style="list-style-type: none"> ・広報紙やホームページを通じて、急な病気やケガへの対処方法として、埼玉県救急電話相談についての情報提供を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・広報紙やホームページを通じて、急な病気やケガへの対処方法として、埼玉県救急電話相談についての情報提供を行った。
	越谷市	<ul style="list-style-type: none"> ・広報紙やホームページ等を活用し、埼玉県救急電話相談（#7119）や夜間急患診療所の情報提供を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・広報紙やホームページ等を活用し、埼玉県救急電話相談（#7119）や夜間急患診療所の情報提供を実施した。
	八潮市	<ul style="list-style-type: none"> ・市の広報紙やホームページ等に埼玉県小児救急電話相談（#7119）や休日・夜間診療所の案内等を掲載し、情報提供を行うとともに適切な受診方法の普及啓発に努めた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市の広報紙やホームページ等に埼玉県小児救急電話相談（#7119）や休日・夜間診療所の案内等を掲載し、情報提供を行うとともに適切な受診方法の普及啓発に努めた。
	三郷市	<ul style="list-style-type: none"> ・埼玉県救急電話相談（#7119）や埼玉県小児救急電話相談（#8000）と、小児時間外（初期救急）診療体制について、当市発行「健康のしおり」（全戸配布）やホームページに掲載し、情報提供を行うとともに、適切な受診方法の普及啓発に努めた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・埼玉県救急電話相談（#7119）や埼玉県小児救急電話相談（#8000）と、小児時間外（初期救急）診療体制について、当市発行「健康のしおり」（全戸配布）やホームページに掲載し、情報提供を行うとともに、適切な受診方法の普及啓発に努めた。
	吉川市	<ul style="list-style-type: none"> ・小児時間外（初期救急）診療体制についてのお知らせを作成し、9月と3月に全戸配布するとともに、広報紙に掲載し周知を図った。 ・案内配布やポスター掲示、広報やHPへの掲載により埼玉県救急電話相談（#7119）について周知を図った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・小児時間外（初期救急）診療体制についてのお知らせを作成し、9月と3月に全戸配布するとともに、広報紙に掲載し周知を図った。 ・案内配布やポスター掲示、広報やHPへの掲載により埼玉県救急電話相談（#7119）について周知を図った。
	松伏町	<ul style="list-style-type: none"> ・小児時間外（初期救急）診療当番表を作成し、3月及び9月に全世帯に配布するとともに、広報紙やホームページ等に当番表を掲載した。 ・小児救急電話相談（#8000）を広報誌やホームページ等に掲載し、適切な受診方法の啓発に努めた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・小児時間外（初期救急）診療当番表を作成し、3月及び9月に全世帯に配布するとともに、毎月の広報紙やホームページ等に当番表を掲載した。 ・埼玉県救急電話相談（#7119）や埼玉県小児救急電話相談（#8000）を健診時に情報提供し、広報紙やホームページ等にも掲載して適切な受診方法の啓発に努めた。
春日部保健所	急な病気やけがに対する県民の不安解消と軽症患者の集中による救急医療機関の負担軽減のため、埼玉県救急電話相談（#7119）に係るPRカードの配布。	急な病気やけがに対する県民の不安解消と軽症患者の集中による救急医療機関の負担軽減のため、埼玉県救急電話相談（#7119）に係るPRカードの配布。	

第7次計画埼玉県地域保健医療計画 東部保健医療圏 圏域別取組 R5年度実績(2)

圏域別取組	生活習慣病を踏まえた健康づくり対策
目標	県や市町の健康づくり計画を、行政・関係団体・住民が共に推進します。 また、県民一人一人が主体的に望ましい生活習慣を身に付け、健康管理に留意するなど、生涯を通じて健康づくりに取り組んでいくために、行政はもとより、家庭、学校、団体・企業などが一体となって健康づくり運動を展開し、健康寿命の延伸を推進します。
主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ■食生活、運動等に関する正しい知識の普及や情報提供 ■特定健診や特定保健指導による生活習慣病の早期発見・早期治療の促進 ■がん検診受診率の向上 ■糖尿病の発症及び重症化予防対策の推進 ■高齢者の健康づくりの推進
実施主体	医療保険者、市町、保健所、医師会、薬剤師会、関係団体

主な取組	実施主体	R4	R5
① 食生活、運動等に関する正しい知識の普及や情報提供	吉川松伏医師会	・市と町と連携し、ノルディックウォーキングなどの促進のために、医療機関窓口にもポスター掲示やリーフレットの配布をおこなった。	・市と町と連携し、行政など主催の健康体操の促進のために、医療機関窓口にもポスター掲示やリーフレットを配布し、住民への情報提供、周知した。
	埼玉県保険者協議会	全国健康保険協会、埼玉県、埼玉労働局、さいたま市、健康保険組合連合会埼玉連合会にて組織する健康経営埼玉推進協議会において、食生活改善等を目的に、女子栄養大学の協力を得、健康経営を実践している事業所担当者向けに健康経営セミナーを開催した。	全国健康保険協会、埼玉県、埼玉労働局、さいたま市、健康保険組合連合会埼玉連合会にて組織する健康経営埼玉推進協議会において、運動習慣の改善を目的に、健康経営を実践している事業所担当者向けにセミナーを開催した。
	草加市食生活改善推進員協議会	食生活改善ヘルシー料理教室27人参加 介護予防2回(5月、6月)20人参加 親子料理3回(7月、8月、12月)41人参加 食改さんおすすめレシピの発行(8月)1,000部 ウォーキング2回(6月、11月)151人	食生活改善によるヘルシー料理実施 親子3回(7、8、3月)53人、健康増進3回(11、12、2月)40人 介護予防2回(5、6月)18人、男性料理3会場延べ243人 運動事業 ウォーキング 1回(100人)
	越谷市食生活改善推進員協議会	令和4年5月～令和5年2月まで保健センター等、越谷市内の地区センター9か所合計15回、市民を対象に8～12名で、カロリー控えめ、カルシウムアップ等の料理教室を実施した。	食生活、運動等に関する正しい知識の普及や情報提供、食生活改善に関する正しい知識の普及活動として料理教室を実施した。 5月24日21人 6月28日19人 7月26日26人 8月23日56人 9月6日19人 9月27日9人 10月25日10人 12月26日62人 2月28日23人
	春日部市	<ul style="list-style-type: none"> ・生活習慣病予防教室…健康講話と運動 年6回 対象20歳から64歳 参加者:80人 ・骨密度測定会…骨密度測定と個別指導 対象20歳以上 年13回 参加者数:1,032人 ・健康長寿サポーター養成講習…年4回 参加者数:71人 ・健康マイレージ事業ストレッチ教室…実施日:11月12日 参加者数:27人 ・健康マイレージ体力測定会…対象18歳以上 1クール4回 参加者数:のべ147人 	<ul style="list-style-type: none"> ・生活習慣病予防教室…健康講話と運動 年9回 栄養講話と調理実習 年3回 対象20歳から64歳 参加者:197人 ・骨密度測定会…骨密度測定と個別結果説明、個別栄養相談(希望者)対象20歳以上 年13回 参加者数:1,222人 ・健康長寿サポーター養成講習…年4回 参加者数:38人 ・健康マイレージ事業ストレッチとウォーキング教室…年2回 参加者数:44人 ・健康マイレージ体力測定会…対象18歳以上(64歳以下、79歳以下の部あり)1クール4回 参加者数:のべ128人
	草加市	<ul style="list-style-type: none"> ・移動健康教室(健康増進分)3,619人(介護予防分)59人 ・ヘルシー料理教室(健康増進分)27人(介護予防分)20人 ・ヘルスマイト養成講座8回コース延べ117人 ・特定健診後の生活習慣改善のためのヘルスアップ教室75人 ・骨密度測定(健康増進分)110人(介護予防分)275人 ・介護予防教室2回延べ38人 ・食生活推進員定例会において栄養講話延べ430人 ・食改さんのおすすめレシピ作成・配布5,000部 ・ヘルシーレシピの料理検索掲載サイトの掲載 ・保健センターだよりを年4回・成人式等・獨協大学入学式号の発行 	<ul style="list-style-type: none"> ・保健センターだよりを年4回発行し市内公共施設、医療機関、薬局等に配布。 ・糖尿病講演会を開催し、病気の理解、食生活、運動について講話した、35人。 ・移動健康教室(健康増進分)69人(介護予防分)8人 ・ヘルシー料理教室(健康増進分)40人(介護予防分)18人 ・ヘルスマイト養成講座8回コース延べ95人 ・特定健診後の生活習慣改善のためのヘルスアップ教室 56人 ・骨密度測定(健康増進分)128人(介護予防分)279人 ・介護予防教室3回延べ48人 ・食生活改善推進員定例会において栄養講話延べ480人 ・一体的実施事業ハイスコアアプローチ 178人、ポピュレーションアプローチ 98人 ・食改さんのおすすめレシピ作成・配布 5,000部 ・ヘルシーレシピの料理検索掲載サイトの掲載
	越谷市	<ul style="list-style-type: none"> ・食育の推進を図るために調理実習を行った。 ・男の料理教室4回、46人参加。ヘルシークッキング6回、57人参加。 ・市民健康教室9回、120人参加。 ・メタボリックシンドローム予防のための減量をサポートする講座を実施した。 ・チーム-3キロ講義14回、延べ149人参加。 ・運動セミナー1回、18人参加。 ・運動習慣を身につける目的教室を実施した。 ・健康体操教室52回、1570人参加。 ・食生活改善推進員による料理教室15回、117人参加。 	<ul style="list-style-type: none"> ・食育の推進を図るために調理実習を行った。 ・男の料理教室4回、78人参加。ヘルシークッキング6回、88人参加。 ・市民健康教室8回、延べ157人参加。 ・メタボリックシンドローム予防のための減量をサポートする講座を実施した。 ・チーム-3キロ講義14回、延べ201人参加。 ・運動セミナー1回、27人参加。 ・運動習慣を身につける目的教室を実施した。 ・健康体操教室54回、1605人参加。 ・食生活改善推進員による料理教室15回、108人参加。
	八潮市	<ul style="list-style-type: none"> ・年間10回の健康相談会、20-39歳向け健診の結果説明会、随時の健康・栄養相談において個人に合わせた保健指導を実施した。 ・健康講座(運動、栄養、疾病予防)等を実施し、食生活、運動などに関する知識の普及や情報提供を行った。(健康長寿サポーター養成講習含む) ・地域住民の健康づくりを推進する「食生活改善推進会」の定例会にて食生活の改善に関する研修を計画的に行った。 ・健康づくりの一環としてウォーキング講習会を実施した。3日間で延97人が参加した。 ・広報、ホームページ、チラシ、ポスター等による健康づくりに関する広報活動を実施した。 ・健康長寿サポーターあての通知に健康情報を掲載し情報提供を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・年間10回の健康相談会、20-39歳向け健診の結果説明会、随時の健康・栄養相談において個人に合わせた保健指導を実施した。 ・健康講座(運動、栄養、疾病予防)等を実施し、食生活、運動などに関する知識の普及や情報提供を行った。(健康長寿サポーター養成講習含む) ・地域住民の健康づくりを推進する「食生活改善推進会」の定例会にて食生活の改善に関する研修を計画的に行った。 ・健康づくりの一環としてウォーキング講習会を実施した。3日間で延83人が参加した。 ・広報、ホームページ、チラシ、ポスター等による健康づくりに関する広報活動を実施した。 ・健康長寿サポーターあての通知(「こまちゃん健康通信」)に健康情報を掲載し情報提供を行った。

第7次計画埼玉県地域保健医療計画 東部保健医療圏 圏域別取組 R5年度実績(2)

圏域別取組	生活習慣病を踏まえた健康づくり対策
目標	県や市町の健康づくり計画を、行政・関係団体・住民が共に推進します。 また、県民一人一人が主体的に望ましい生活習慣を身に付け、健康管理に留意するなど、生涯を通じて健康づくりに取り組んでいくために、行政はもとより、家庭、学校、団体・企業などが一体となって健康づくり運動を展開し、健康寿命の延伸を推進します。
主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ■食生活、運動等に関する正しい知識の普及や情報提供 ■特定健診や特定保健指導による生活習慣病の早期発見・早期治療の促進 ■がん検診受診率の向上 ■糖尿病の発症及び重症化予防対策の推進 ■高齢者の健康づくりの推進
実施主体	医療保険者、市町、保健所、医師会、薬剤師会、関係団体

主な取組	実施主体	R4	R5
	三郷市	<ul style="list-style-type: none"> ・「すこやかみさと健康体操」の普及・実施 三郷市民の歌に合わせて、歌いながら楽しく身体を動かせる体操を普及及び推進した。 また、市民向けの普及講習会3回を2クール実施した。 ・たばこの害を周知 ①成人の集団健康診査会場にて、啓発品の展示やリーフレットの設置を行った。 ②母子健康手帳発行時や健康づくり協力店に、受動喫煙やCOPDに関するリーフレットを配布した。 ・成人を対象に行った集団健康教育において、食生活や運動に関する正しい知識の普及啓発や情報提供を行った。延参加者数：401人 ・食生活や栄養でお困りのかたに、地域の各所で栄養士による栄養相談を行った。延実施者数：74人 ・三郷市体力向上推進委員会(市内小中学校から各1名参加)を開催し、児童生徒の体力向上や健康教育に関する研修を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「すこやかみさと健康体操」の普及・実施 三郷市民の歌に合わせて、歌いながら楽しく身体を動かせる体操を普及及び推進した。 また、市民向けの普及講習会3回を2クール実施した。 ・たばこの害を周知 ①成人の集団健康診査会場にて、啓発品の展示やリーフレットの設置を行った。 ②母子健康手帳発行時や健康づくり協力店に、受動喫煙やCOPDに関するリーフレットを配布した。 ③市道に看板を設置した。 ・成人を対象に行った集団健康教育において、食生活や運動に関する正しい知識の普及啓発や情報提供を行った。延参加者数：430人 ・食生活や栄養でお困りのかたに、地域の各所で栄養士による栄養相談を行った。延実施者数：87人 ・三郷市体力向上推進委員会(市内小中学校から各1名参加)を開催し、児童生徒の体力向上や健康教育に関する研修を実施した。 ・集団健診会場にて朝ごはんの試食提供と健康情報の提供を実施した。計11回 提供者数：686名 ・市内小学校5年生を対象に「朝食レシピ周知料理教室」を実施した。計11回 ・市内保育所にて親子を対象に「朝食レシピ周知料理教室」を実施した。計5回 ・「フレイル予防教室」を実施した。計1回 ・「3世代交流朝食レシピ教室」を実施した。計1回
	吉川市	<ul style="list-style-type: none"> ・保健センターに「食育コーナー」を設置。 ・令和2年度に作成した健康メニューの作り方動画を広報等でPRした。 	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度に作成した健康メニューの作り方動画を広報等で周知。 ・出前講座にて吉川版食事バランスガイドを活用し、バランス食について普及・啓発。
	松伏町	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月栄養相談を開催し希望者に対し管理栄養士による個別相談を実施した。延人数：21名 ・食生活改善推進員と連携し、食に関する正しい知識の普及や食育への関心を高めることを目的としてレシピを作成し、保健センター事業、いきいき福祉課事業でレシピの配布を行った。レシピ配布数：622枚 ・生活習慣病予防、介護予防として『気軽にノルディックウォーキング』を実施した。述べ人数：270名 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月栄養相談を開催し希望者に対し管理栄養士による個別相談を実施した。延べ数：40名 ・食生活改善推進員協議会と連携し、正しい食の普及や食育の推進を目的に、料理教室を4回開催した。(男の料理教室：7名、親子の料理教室：17名、生涯骨太クッキング7名、生活習慣病予防教室：14名) ・食生活改善推進員の養成講座の開催：全6回述べ25名 ・生活習慣病予防教室の実施(高血圧症予防1回：17名、脂質異常症予防1回：20名) ・「気軽にノルディックウォーキング」を実施：開催15回、延べ388名参加
	草加保健所	<ul style="list-style-type: none"> ・栄養指導(延733人)、給食施設指導(464施設)を実施した。 ・健康づくりに関するリーフレット等を来訪者に配布した。 ・健康づくり協力店を活用した食育推進事業を実施した。(年1回) ・管内栄養士への効果的な健康長寿推進のための会議(年1回 管内4市) ・管内地域活動栄養士会の勉強会(令和4年度はコロナ対応で実施できず) 	<ul style="list-style-type: none"> ・栄養指導(延733人)、給食施設指導(464施設)を実施した。 ・健康づくりに関するリーフレット等を来訪者に配布した。 ・スーパーマーケットを活用した食育推進事業を実施した。(年1回) ・管内児童福祉施設を対象とした栄養管理担当者講習会を実施した。(年5回) ・管内地域活動栄養士会の勉強会を実施した。(年1回)
	春日部保健所	<p>給食施設、栄養関係団体等の育成・指導を通じて、食生活改善や健康づくりの啓発普及と支援を実施。新型コロナウイルス感染症対策を踏まえ、ZOOMやYouTube動画配信を導入し研修会等を実施。東部ブロック保健所で事業共有し、広域的・効率的に事業を展開。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「健康長寿サポーター養成講習」、(「給食施設栄養管理研修会」「地域活動栄養士会定例会」等(計17回 延べ464名) 	<p>給食施設、栄養関係団体等の育成・指導を通じて、食生活改善や健康づくりの啓発普及と支援を実施。ZOOMやYouTube動画配信を活用し研修会等を実施。東部ブロック保健所で事業共有し、広域的・効率的に事業を展開。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「健康長寿サポーター養成講習」(年2回、延101名) ・「給食施設研修会」(年2回、延63名) ・「食生活改善推進員リーダー研修会」(年1回、延68名) ・「地域活動栄養士会定例会」(年5回、延13名) ・「歯科口腔保健連携会議」(年1回、25名) ・「小児発達育研研修会(草加保健所主催事業共有)」(年1回、24名)
② 特定健診や特定保健指導による生活習慣病の早期発見・早期治療の促進	春日部市医師会	<p>会員医療機関104施設のうち、約7割の医療機関で特定健診・特定保健指導を実施している。実施会員医療機関には、基本的に特定健診と特定保健指導をワンセットとして実施いただくことで、自院での健診結果に基づいた的確な保健指導を行っている。</p>	<p>会員医療機関104施設のうち、約7割の医療機関で特定健診・特定保健指導を実施している。実施会員医療機関には、基本的に特定健診と特定保健指導をワンセットとして実施いただくことで、自院での健診結果に基づいた的確な保健指導を行っている。</p>
	越谷市医師会	<p>当会では、医療機関で行う施設健診と公共施設を利用した集団健診を実施している。また、特定健診実施後の結果通知発送の際に、越谷市が作成した保健指導に係る資料を同封し、市民の健康に対する意識啓発に努めている。令和4年度実績は、施設健診・集団健診合計39,074人。</p>	<p>当会では、医療機関で行う施設健診と公共施設を利用した集団健診を実施している。また、特定健診実施後の結果通知発送の際に、越谷市が作成した保健指導に係る資料を同封し、市民の健康に対する意識啓発に努めている。令和5年度実績は、施設健診・集団健診合計32,192人。また、CKD対策として本会・健診委員会CKD部会を立ち上げ、越谷市健康づくり推進課保健師との間で保健指導スキルアップのための講習を定期開催している。</p>
	吉川松伏医師会	<ul style="list-style-type: none"> ・医師会は、市町から事業を受託し、集団健診と医療機関で行う個別健診を実施した。 ・吉川市集団 19日間実施 2,164件、吉川市個別 15医療機関で実施 4,874件 ・松伏町集団 12日間実施 1,642件、松伏町個別 9医療機関で実施 572件 	<ul style="list-style-type: none"> ・医師会は、市町から事業を受託し、集団健診と医療機関で行う個別健診を実施した。 ・吉川市集団 19日間実施 2,199件、吉川市個別 14医療機関で実施 4,823件 ・松伏町集団 20日間実施 1,926件、松伏町個別 9医療機関で実施 494件
	草加八潮医師会	<p>会員医療機関 80か所、約32,000件の特定健診を実施した。</p>	<p>会員医療機関 80か所、約32,000件の特定健診を実施した。そのうち、当医師会が把握している70か所では、約32,000件を実施した。</p>
	三郷市医師会	<p>集団・個別特定健診及び特定保健指導の実施。</p>	

第7次計画埼玉県地域保健医療計画 東部保健医療圏 圏域別取組 R5年度実績(2)

圏域別取組	生活習慣病を踏まえた健康づくり対策
目標	県や市町の健康づくり計画を、行政・関係団体・住民が共に推進します。 また、県民一人一人が主体的に望ましい生活習慣を身に付け、健康管理に留意するなど、生涯を通じて健康づくりに取り組んでいくために、行政はもとより、家庭、学校、団体・企業などが一体となって健康づくり運動を展開し、健康寿命の延伸を推進します。
主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ■食生活、運動等に関する正しい知識の普及や情報提供 ■特定健診や特定保健指導による生活習慣病の早期発見・早期治療の促進 ■がん検診受診率の向上 ■糖尿病の発症及び重症化予防対策の推進 ■高齢者の健康づくりの推進
実施主体	医療保険者、市町、保健所、医師会、薬剤師会、関係団体

主な取組	実施主体	R4	R5
	埼玉県保険者協議会	全国健康保険協会の加入者に対し、生活習慣病予防健診、特定健診を実施し、その健診結果から、特定保健指導、未治療者に対する受診勧奨を実施した。また、健診当日の健康意識の高いタイミングで血圧高値者等に対し、健診機関専門職からの対面による受診勧奨を拡大した。(実施機関数 令和3年度41機関→令和4年度48機関)	全国健康保険協会の加入者に対し、生活習慣病予防健診(被保険者)38,737人、特定健診(被扶養者)6,476人を実施し、その健診結果から、特定保健指導(1,116人)、未治療者(血圧、血糖、脂質)に対する受診勧奨(3,368人)を実施した。
	三郷市母子愛育会		特定健診の周知活動(三郷市作成ポスターの貼付、チラシの配布)市掲示板にポスターを貼る(5回/年)地域の方にチラシを配る
	春日部市	・特定健診:令和4年6月1日～10月31日まで市内医療機関(68医療機関)で実施。受診率46.6% ・特定保健指導:動機付け支援は市内医療機関(特定健診を受診した医療機関)で実施。積極的支援は業者委託で実施。利用率6.1%(動機付け支援6.7%、積極的支援3.7%)	・特定健診:令和5年6月1日～10月31日まで市内医療機関(68医療機関)で実施。受診率46.3% ・特定保健指導:動機付け支援は市内医療機関(特定健診を受診した医療機関)で実施。積極的支援は業者委託で実施。利用率7.2%(動機付け支援7.1%、積極的支援7.4%)
	草加市	・40～74歳の国民健康保険被保険者を対象に、特定健診の受診券を送付した。 ・特定健診受診勧奨ハガキを2回発送し、受診勧奨を図った。 ・特定健診の結果から生活習慣病のリスクが高い者に対して、特定保健指導を実施し、食事指導など生活習慣の改善を促した。	・40～74歳の国民健康保険被保険者を対象に、特定健診の受診券を送付した。 ・特定健診受診勧奨ハガキを2回発送し、受診勧奨を図った。 ・特定健診の結果から生活習慣病のリスクが高い者に対して、特定保健指導を実施し、食事指導など生活習慣の改善を促した。
	越谷市	<p>《特定健診の実施》</p> <p>【実施期間】6月1日から11月10日</p> <p>【個別健診】市内88医療機関で実施</p> <p>【集団健診】9月上旬から10月までの土曜日を含む36日間、市内公共施設で実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全対象者へ受診券、受診案内を送付(50,813件) ・特定健診項目に血清クレアチニン、eGFR、貧血検査を受診者全員に追加、また、医師の判断により心電図、眼底検査(後期高齢者は除く)を実施。 ・特定健診結果通知に、健診項目の検査内容説明を情報提供。 <p>《受診促進》</p> <p>【広報活動】市ホームページ(期間中)、広報誌(6月号、8月号)、メール配信サービス(1回)、特定健診受診券ポスターを実施医療機関88箇所と自治会に配布、越谷商工会議所広報誌(9月号)、J.A越谷市の広報誌(8月号)に受診促進記事掲載、自治会回覧板にて周知(市内全域)、健診受診券カード(名札貼付用)着用(8月から10月)</p> <p>【受診勧奨キャンペーン】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通知及び電話による受診勧奨(通知送付数:25,513通、電話勧奨:2,659人) ・次年度年度年齢40歳到達者に事前案内通知を発送(625人) ・特定健診受診券うちわ(3,000枚)を作製 ・特定健診受診券両用マグネットシートを公用車に貼付 <p>《特定保健指導の実施》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特定健診結果より特定保健指導対象者を抽出し保健指導を行い、保健指導未利用者に対しては、ハガキや電話による利用勧奨を行った。 <p>《健康診査、保健指導の実施》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康増進法に基づく健康診査を実施し、対象者に保健指導を行った。 受診者数339人(受診率11.1%)、保健指導実施者数5人(実施率1.3%) 	<p>《特定健診の実施》</p> <p>【実施期間】6月1日から11月10日</p> <p>【個別健診】市内90医療機関で実施</p> <p>【集団健診】9月上旬から10月下旬までの土曜日を含む36日間、市内公共施設で実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全対象者へ受診券、受診案内を送付(47,814件) ・特定健診項目に血清クレアチニン検査(eGFR)、貧血検査を受診者全員に追加、また、医師の判断により心電図、眼底検査(後期高齢者は除く)を実施。 ・特定健診結果通知に、健診項目の検査内容説明を情報提供。 <p>《受診促進》</p> <p>【広報活動】市ホームページ(期間中)、広報誌(6月号、8月号、10月号)、メール配信サービス(1回)、特定健診受診券ポスターを実施医療機関90箇所・自治会・公共施設に配布、受診勧奨チラシを公共施設・地域包括支援センターに配布、越谷商工会議所広報誌(9月号)、J.A越谷市の広報誌(8月号)に受診促進記事掲載、自治会回覧板にて周知(市内全域)、健診受診券カード(名札貼付用)着用(9月から10月)</p> <p>【受診勧奨キャンペーン】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通知及び電話による受診勧奨(通知送付数:9,693通、電話勧奨:4,359人) ・今年度年度年齢40歳到達者に受診勧奨通知を発送(486人) ・次年度年度年齢40歳到達者に事前案内通知を発送(502人) ・特定健診受診券うちわ(3,000枚)を作製 ・特定健診受診券両用マグネットシートを公用車に貼付 <p>《特定保健指導の実施》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特定健診結果より特定保健指導対象者を抽出し保健指導を行い、保健指導未利用者に対しては、通知や電話による利用勧奨を行った。 ・健康増進法に基づく健康診査を実施し、対象者に保健指導を行った。 受診者数360人(受診率11.5%)、保健指導実施者数4人(実施率9.1%)
	八潮市	<ul style="list-style-type: none"> ・広報やしおに国保コーナーを設けて、特定健康診査の受診勧奨、特定保健指導の利用勧奨や健康管理の重要性などの記事を掲載している。 ・市ホームページに、特定健診の受診勧奨に係るコンテンツを掲載した。 ・特定健診受診券ポスターを作成し、実施医療機関及び公共施設に掲示した。 <p>◇特定健診(受診者数 3,960名)</p> <ol style="list-style-type: none"> ①受診期間中の電話勧奨の実施 ②未受診者へ受診勧奨はがきの送付 <p>◇特定保健指導(終了者数 55名)</p> <ol style="list-style-type: none"> ①保健指導未利用者へは再募集を実施 ②未利用者へ利用勧奨はがきの送付 <p>◇人間ドック・脳ドック補助金助成事業(申請者数 150名)</p> <ol style="list-style-type: none"> ①満40歳以上の国保被保険者を対象に、人間ドック・脳ドックに要した費用の7割(上限25,000円)を助成する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・広報やしおに特定健康診査の受診勧奨、特定保健指導の利用勧奨の記事を掲載した。 ・市ホームページに、特定健診の受診勧奨に係るコンテンツを掲載した。 ・特定健診受診券ポスターを作成し、実施医療機関及び公共施設に掲示した。 <p>◇特定健診(受診者数 3,809名)</p> <ol style="list-style-type: none"> ①受診期間中の電話勧奨の実施 ②未受診者へ受診勧奨はがきの送付 <p>◇特定保健指導(終了者数 32名)</p> <ol style="list-style-type: none"> ①保健指導未利用者へは再募集を実施 ②未利用者へ利用勧奨はがきの送付 <p>◇人間ドック・脳ドック補助金助成事業(申請者数 146名)</p> <ol style="list-style-type: none"> ①満40歳以上の国保被保険者を対象に、人間ドック・脳ドックに要した費用の7割(上限25,000円)を助成する。

第7次計画埼玉県地域保健医療計画 東部保健医療圏 圏域別取組 R5年度実績(2)

圏域別取組	生活習慣病を踏まえた健康づくり対策
目標	県や市町の健康づくり計画を、行政・関係団体・住民が共に推進します。 また、県民一人一人が主体的に望ましい生活習慣を身に付け、健康管理に留意するなど、生涯を通じて健康づくりに取り組んでいくために、行政はもとより、家庭、学校、団体・企業などが一体となって健康づくり運動を展開し、健康寿命の延伸を推進します。
主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ■食生活、運動等に関する正しい知識の普及や情報提供 ■特定健診や特定保健指導による生活習慣病の早期発見・早期治療の促進 ■がん検診受診率の向上 ■糖尿病の発症及び重症化予防対策の推進 ■高齢者の健康づくりの推進
実施主体	医療保険者、市町、保健所、医師会、薬剤師会、関係団体

主な取組	実施主体	R4	R5
③ がん検診受診率の向上	三郷市	<ul style="list-style-type: none"> ・レディースデイを設け、女性が受けやすい体制を整備した。 ・30代健診結果で特定保健指導基準に該当(年齢以外)するものについて、個人の特性に応じたパンフレットの同封と生活習慣改善に関するコメントを記載し送付した。 ・特定保健指導未申込者に対して、特定保健指導利用勧奨通知を送付した。発送数：666件 ・新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、集団方式は1日当たりの受診者数を縮小した。 ・集団方式の実施回数を29回とした。 	<ul style="list-style-type: none"> ・レディースデイを設け、女性が受けやすい体制を整備した。 ・30代健診結果で特定保健指導基準に該当(年齢以外)するものについて、個人の特性に応じたパンフレットの同封と生活習慣改善に関するコメントを記載し送付した。 ・特定保健指導未申込者に対して、特定保健指導利用勧奨通知を送付した。延べ発送数：1,364件 ・集団方式の実施回数を33回とした。
	吉川市	<ul style="list-style-type: none"> ・特定保健指導率の向上のため、アポなし訪問や休日、勤務時間外の面談の実施、健診当日の個別指導などの取り組みを実施。 ・特定保健指導評価の場として、健康測定会(体重、腹囲、血管年齢、運動講習)開催。 	<ul style="list-style-type: none"> ・特定保健指導率の向上のため、アポなし訪問や休日、勤務時間外の面談の実施、健診当日の個別指導などの取り組みを実施。 ・特定保健指導評価の場として、健康測定会(体重、腹囲、運動講習)開催。
	松伏町	<ul style="list-style-type: none"> ・特定健診受診券送付時に歯科保健に関する資料を同封し、歯周病予防の啓発を実施した。 ・受診者の利便性を図るため、集団健診、個別健診を実施した。集団健診では、保健師・栄養士による生活習慣病予防についての講話を830名に実施した。 ・特定健診未受診者に対し、ハガキによる受診勧奨を実施した。 ・特定保健指導対象者に保健師・栄養士による保健指導を個別面接で実施した。個別面接ができなかった方には、電話または、資料を送付して、生活習慣病の予防啓発を実施した。 ・特定保健指導では、休日開催も取り入れ、より参加しやすい工夫した。令和4年度 特定保健指導実施件数 52件 	<ul style="list-style-type: none"> ・特定健診受診券送付時に歯科保健に関する資料を同封し、歯周病予防の啓発を実施した。 ・受診者の利便性を図るため、集団健診、個別健診を実施した。集団健診では、保健師・管理栄養士による生活習慣病予防についての講話を1,137名に実施した。 ・特定健診未受診者に対し、ハガキによる受診勧奨を実施した。 ・特定保健指導対象者に保健師・管理栄養士による保健指導を個別面接で実施した。個別面接ができなかった方には、電話または資料を送付して、生活習慣病の予防啓発を実施した。 ・特定保健指導では、休日開催も取り入れ、より参加しやすい工夫した。令和5年度 特定保健指導実施件数42件
	草加保健所	<ul style="list-style-type: none"> ・管内各市へ特定健診啓発用のぼり旗の貸し出しを行った。 ・食品衛生営業許可申請の場を活用して生活習慣予防、受動喫煙対策等を含めた健康に関する情報提供を食品衛生管理者等に行った(年24回 710施設)。 ・例年、働く世代の健康づくりや特定健診受診率向上のための会議を実施した。(年1回4市) ・管内中小規模事業所等を対象とした、受動喫煙防止対策及び特定保健指導等実施状況確認のための訪問調査を実施した。(年3回 56事業所) 	<ul style="list-style-type: none"> ・食品衛生営業許可申請の場を活用して生活習慣予防、受動喫煙対策等を含めた健康に関する情報提供を食品衛生管理者等に行った(627施設)。 ・管内各市健康づくり担当者を対象に、担当者会議を実施した。(年1回) ・働く世代の健康づくりや特定健診受診率向上のための東部保健医療圏地域・職域連携推進連絡会を実施した。(年1回)
	春日部保健所	<ul style="list-style-type: none"> ・地域保健と職域保健の連携を強化し、効果的な健康づくり体制を構築するため、「働く世代の健康づくりセミナー」、「国保・後期高齢者ヘルスサポート事業拠点保健所別研修」を実施。(計2回、延べ51名) ・地域の保健事業等の把握と情報交換のため、「市町村健康づくり関連事業フォーマットを活用したヒアリング調査」、「地域の保健事業等の情報提供に係る会議」を実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域保健と職域保健の連携を強化し、効果的な健康づくり体制を構築するための事業を実施。ZOOMやYouTube動画配信も活用した。 ・「地域・職域連携推進連絡会」(年1回、延40名) ・「働き盛り世代の健康づくりセミナー」(年1回、54名) ・「国保・後期高齢者ヘルスサポート事業拠点保健所別研修(国保医療課主催)」(年1回、46名) ・「保健指導スキルアップ研修会(幸手保健所主催共有)」(年1回、26名) ・地域の保健事業等の把握と情報交換のため、「市町村健康づくり関連事業フォーマットを活用したヒアリング調査」を実施。
春日部市医師会	令和4年度も子宮がん・大腸がんは個別検診、胃がん・乳がんは集団検診で実施した。ただし、胃がん検診についてはX線による集団検診だけではなく、受診者の希望により消化器内視鏡による個別検診を5年前より導入し、実績を重ねている。また、肺がん検診については、特定健診の受診率のアップが肺がん検診受診率のアップにつながることであり、市民・医療機関に対し積極的な勧奨を行っている。	令和5年度も子宮がん・大腸がんは個別検診、胃がん・乳がんは集団検診で実施した。ただし、胃がん検診についてはX線による集団検診だけではなく、会員医療機関における消化器内視鏡による個別検診を6年前より導入し、実績を重ねている。さらに、令和5年度は受診者の希望増大に伴い、消化器内視鏡検診の実施時期を従来の4月から3月開始とした。また、肺がん検診については、特定健診の受診率のアップが肺がん検診受診率のアップにつながることであり、市民・医療機関に対し積極的な勧奨を行っている。	
越谷市医師会	各種がん検診実施医療機関には実施内容ポスターを院内掲示してもらい、来院者への受診推進啓発活動を行ってもらっている。	各種がん検診実施医療機関には実施内容ポスターを院内掲示してもらい、来院者への受診推進啓発活動を行ってもらっている。	
吉川松伏医師会	<ul style="list-style-type: none"> ・医師会は、市町から事業を受託し、集団健診と医療機関で行う個別健診を実施した。 ・吉川市集団 4,954件、吉川市個別 16医療機関で実施 5,285件 ・松伏町集団 4,972件、松伏町個別 9医療機関で実施 502件 	<ul style="list-style-type: none"> ・医師会は、市町から事業を受託し、集団健診と医療機関で行う個別健診を実施した。 ・吉川市集団 5,015件、吉川市個別 15医療機関で実施 4,984件 ・松伏町集団 5,118件、松伏町個別 10医療機関で実施 418件 	
草加八潮医師会	市が作成したポスターをがん検診を行っている医療機関に掲示し、受診率の向上を図っている。	市が作成したポスターをがん検診を行っている医療機関に掲示し、受診率の向上を図っている。	
三郷市医師会	集団・個別がん検診(胃・肺・大腸・乳・子宮)の実施。		
春日部市薬剤師会		ガン検診検診啓発ポスターの掲示	

第7次計画埼玉県地域保健医療計画 東部保健医療圏 圏域別取組 R5年度実績(2)

圏域別取組	生活習慣病を踏まえた健康づくり対策
目標	県や市町の健康づくり計画を、行政・関係団体・住民が共に推進します。 また、県民一人一人が主体的に望ましい生活習慣を身に付け、健康管理に留意するなど、生涯を通じて健康づくりに取り組んでいくために、行政はもとより、家庭、学校、団体・企業などが一体となって健康づくり運動を展開し、健康寿命の延伸を推進します。
主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ■食生活、運動等に関する正しい知識の普及や情報提供 ■特定健診や特定保健指導による生活習慣病の早期発見・早期治療の促進 ■がん検診受診率の向上 ■糖尿病の発症及び重症化予防対策の推進 ■高齢者の健康づくりの推進
実施主体	医療保険者、市町、保健所、医師会、薬剤師会、関係団体

主な取組	実施主体	R4	R5
	埼玉県保険者協議会	被扶養者が特定健診とがん検診を同時に受診できる機会を拡大した。全国健康保険協会埼玉支部と埼玉県疾病対策課で市町村のがん検診主管部署を訪問し、スキーム等を共有することによって課題を解消し拡大を図った。 (実施市町村数 令和3年度9市町村一令和4年度11市町村一令和5年度13市町村予定)	全国健康保険協会が実施する特定健診と、市町村が実施するがん検診を同時に受診できる集団健診を実施した(東部圏域においては、吉川市と実施(150人))。また、埼玉県疾病対策課と市町村を訪問し、同時実施の拡大に努めた(R6年度より越谷市でも実施)。
	春日部市	各がん検診について受診勧奨通知を送付 ・胃がん検診…50～60歳の偶数年齢の方(21,546人) ・乳がん検診…40～60歳の偶数年齢の方(16,596人) ・子宮がん検診…25・30・35・40・45歳の方(5,915人) ・肺がん検診…国民健康保険・後期高齢者医療制度加入者及び生活保護・中国残留邦人等支援給付受給者の特定健診・健康診査対象者(全員) ・大腸がん検診…国民健康保険・後期高齢者医療制度加入者及び生活保護・中国残留邦人等支援給付受給者の特定健診・健康診査対象者(全員) ・その他(全がん検診の受診案内)…40歳の方(2,617人)	各がん検診について受診勧奨通知を送付 ・胃がん検診…50～60歳の偶数年齢の方(21,649人) ・乳がん検診…40～60歳の偶数年齢の方(16,859人) ・子宮がん検診…23・25・28・30・33・35・38・40・43・45歳の方(10,052人) ・肺がん検診…国民健康保険・後期高齢者医療制度加入者及び生活保護・中国残留邦人等支援給付受給者の特定健診・健康診査対象者(全員) ・大腸がん検診…国民健康保険・後期高齢者医療制度加入者及び生活保護・中国残留邦人等支援給付受給者の特定健診・健康診査対象者(全員) ・その他(全がん検診の受診案内)…40歳の方(2,601人)
	草加市	・窓口、ハガキに加え、電子申請で申込みを受ける事で、受診しやすい環境整備をおこなった。 ・40歳、50歳の人を対象に、がん検診受診勧奨通知を送った(7,961人)。	・窓口、ハガキに加え、電子申請で申込みを受ける事で、受診しやすい環境整備を行った。 ・40歳、50歳の人を対象に、がん検診受診勧奨通知を送った(7,939人)。 ・国保特定健診、後期高齢者健診の受診通知にがん検診の案内を同封。 ・乳がん検診受診勧奨ポスターを市内保育園や児童クラブ、公共施設、「まちの健康づくり相談所」(42か所)に掲示。
	越谷市	・各種がん検診の周知と受診率の向上を図るため、広報・ホームページ・Cityメール・SNSの掲載や、個別勧奨・再勧奨ハガキを通知した。 ・胃がん検診 受診者数12,780人(受診率6.1%)。 ・子宮頸がん検診 受診者数9,772人(受診率6.7%)。 ・乳がん検診 受診者数6,152人(受診率10.5%)。 ・大腸がん検診 受診者数20,464人(受診率9.8%)。 ・肺がん・結核検診 受診者数25,364人(受診率12.1%)。	・各種がん検診の周知と受診率の向上を図るため、広報・ホームページ・Cityメール・SNSの掲載や、個別勧奨・再勧奨ハガキを通知した。また、肺がん・結核検診では、実施期間を延長、自己負担額を減額し、受診しやすい環境を整えた。 ・胃がん検診 受診者数13,556人(受診率6.5%)。 ・子宮頸がん検診 受診者数10,681人(受診率7.4%)。 ・乳がん検診 受診者数5,943人(受診率10.1%)。 ・大腸がん検診 受診者数20,450人(受診率9.7%)。 ・肺がん・結核検診 受診者数29,665人(受診率14.1%)。
	八潮市	①八潮市がん検診等の受診券・各種検診案内の送付 ②子宮頸・乳がん検診の無料クーポン券の送付 ③40歳到達者への各種受診券及び勧奨通知の送付 ④精検未受診者に対する精検受診勧奨通知の送付、受診勧奨電話及び精検結果の把握 ⑤広報やホームページ、メール配信による受診勧奨	①八潮市がん検診等の受診券・各種検診案内の送付 ②子宮頸・乳がん検診の無料クーポン券の送付 ③40歳到達者への各種受診券及び勧奨通知の送付 ④精検未受診者に対する精検受診勧奨通知の送付、受診勧奨電話及び精検結果の把握 ⑤広報やホームページ、メール配信による受診勧奨
	三郷市	・広報やホームページでがん検診の日程や受けかた等を掲載し、申込はがきを「健康のしおり」に折込み全戸配布し、公共施設や医療機関にも設置し受診を促した。	・広報やホームページでがん検診の日程や受けかた等を掲載し、申込はがきを「健康のしおり」に折込み全戸配布し、公共施設や医療機関にも設置し受診を促した。
	吉川市	・乳がん、子宮頸がん検診の無料クーポンを対象者に送付。広報・ポスター等によるがん健診の受診勧奨を実施。 ・協会けんぽの特定健診会場を提供し、子宮、乳がん検診を同日に実施。	・乳がん、子宮頸がん検診の無料クーポンを対象者に送付。広報・ポスター等によるがん健診の受診勧奨を実施。 ・協会けんぽの特定健診会場を提供し、子宮、乳がん検診を同日に実施。 ・大腸がん検診受診勧奨チラシ付きのポケットティッシュを作成し配布。
	松伏町	・特定健診受診券送付時に、がん検診の受診勧奨を実施した。また、集団健診時にもがん検診も同時実施した。 ・働く世代が受診しやすいように、休日にもがん検診を実施した。 ・乳・子宮がん検診については、個別通知(ハガキ)や該当となる方に無料クーポン券を郵送し受診勧奨した。 ・胃がん・大腸がん・子宮頸がんについては、個別検診も実施した。 ・令和3年度の乳がん無料クーポン券を利用していない方、令和3年度に前立腺がんを受けていない方も受けられるようにした。 ・大腸がん検診について、50歳の学年の方を対象に、秋頃コールリコールを行った。	・特定健診受診券送付時に、がん検診の受診勧奨を実施した。また、集団健診時にもがん検診も同時実施した。 ・働く世代が受診しやすいように、休日にもがん検診を実施した。 ・乳・子宮がん検診については、個別通知をハガキから封書に変え、がんの一般的な知識や検診方法等も掲載し受診意識の向上を図り、対象となる方に無料クーポン券を郵送し受診勧奨した。 ・胃がん・大腸がん・子宮頸がんについては、個別検診も実施した。 ・令和4年度の乳がん/子宮頸がん検診無料クーポン券を利用していない方、令和4年度に前立腺がんを受けていない方も受けられるようにした。 ・大腸がん検診について、50歳の年度の方を対象に、秋頃コールリコールを行った。

第7次計画埼玉県地域保健医療計画 東部保健医療圏 圏域別取組 R5年度実績(2)

圏域別取組	生活習慣病を踏まえた健康づくり対策
目標	県や市町の健康づくり計画を、行政・関係団体・住民が共に推進します。 また、県民一人一人が主体的に望ましい生活習慣を身に付け、健康管理に留意するなど、生涯を通じて健康づくりに取り組んでいくために、行政はもとより、家庭、学校、団体・企業などが一体となって健康づくり運動を展開し、健康寿命の延伸を推進します。
主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ■食生活、運動等に関する正しい知識の普及や情報提供 ■特定健診や特定保健指導による生活習慣病の早期発見・早期治療の促進 ■がん検診受診率の向上 ■糖尿病の発症及び重症化予防対策の推進 ■高齢者の健康づくりの推進
実施主体	医療保険者、市町、保健所、医師会、薬剤師会、関係団体

主な取組	実施主体	R4	R5
	草加保健所	<ul style="list-style-type: none"> ・食品衛生営業許可申請の場を活用して生活習慣予防、受動喫煙対策等を含めた健康に関する情報提供を食品衛生管理者等に行った(年24回 710施設) ・効果的に働く世代の健康づくりを実施するために管内市担当者を対象に健康課題対策会議をヒアリングフォーマットによる個別訪問とした。(年4回 管内4市) ・管内給食施設を対象にリーフレットを配布し、周知した。(1回 456人) ・例年、健康長寿サポーター養成講習会を実施している。(年3回58人) ・望まない受動喫煙を防止するための啓発、禁煙施設等の認証を行った。(延べ3,068件) 	<ul style="list-style-type: none"> ・健康長寿サポーター養成講習会を実施した。(年2回61人) ・管内中小規模事業所等を対象とした、受動喫煙防止対策及び特定保健指導等実施状況確認のための訪問調査を実施した。(215事業所)
④糖尿病の発症及び重症化予防対策の推進	春日部市医師会	重症化予防対策のため春日部市、協会けんぽ 埼玉支部への受診データの提供等、積極的に協力している。また、会員に対し令和4年12月12日(月)Diabetes Meeting in 春日部 ハイブリッド形式「合併症を予防する糖尿病診療ABC+α」慶應義塾大学医学部 腎臓内分泌代謝内科選任講師 日黒 周 先生による学術講演会を実施した。	重症化予防対策のため春日部市、協会けんぽ 埼玉支部への受診データの提供等、積極的に協力している。
	越谷市医師会	重症化予防事業を会員医療機関に周知し、積極的な事業参加を呼び掛けている。医師会員向けには本事業の重要性を考慮した学術講演を開催している。また、市が主催する市民向けセミナーに講師を派遣している。	重症化予防事業を会員医療機関に周知し、積極的な事業参加を呼び掛けている。医師会員向けには本事業の重要性を考慮した学術講演を開催している。また、市が主催する市民向けセミナーに講師を派遣している。
	吉川松伏医師会	・関係機関より、糖尿病の発症及び重症化予防対策の推進に関する推進に対する取り組みについて積極的に協力するよう関係医療機関へ依頼要請を実施した。	・関係機関より、糖尿病の発症及び重症化予防対策の推進に関する推進に対する取り組みについて積極的に協力するよう関係医療機関へ依頼要請を実施した。 ・市民に対して、糖尿病の発症・重症化を防ぐために医療機関への受診勧奨・継続受診勧奨、適切な保健指導などを行い、重症化、人工透析を阻止していくことが重要であることから、行政と医師会が協力、連携し重症化予防の啓発など積極的に取り組んでいく対策を検討している。
	草加八潮医師会	重症化予防事業について、会員医療機関に周知を図り、草加市立病院と連携し事業を進めている。	重症化予防事業について、会員医療機関に周知を図り、草加市立病院と連携し事業を進めている。
	東埼玉歯科医師会	・歯科講話時に糖尿病と歯周病の関連について情報提供	
	埼玉県保険者協議会	健診結果等から高血糖者に対し、受診勧奨を実施した。また、埼玉県の糖尿病重症化予防プログラムに沿って、糖尿病性腎症重症化予防のためのかかりつけ医と連携した保健指導を実施した。	②のとおり、未治療の高血糖者に対し、受診勧奨を実施した。また、埼玉県の糖尿病性腎症重症化予防プログラムに沿って、かかりつけ医と連携した保健指導を実施した(5人)。
	春日部市	<ul style="list-style-type: none"> ・糖尿病性腎症重症化予防事業(受診勧奨、保健指導、継続支援)を埼玉県国民健康保険団体連合会との共同事業として実施。 ・受診勧奨:未受診者や受診中断者に対し、受診勧奨の通知を送付。未受診者161人、受診中断者28人。 ・保健指導:糖尿病性腎症2期~4期の者に専門職(保健師・管理栄養士等)による保健指導を実施。 通知発送数804人、参加者数52人(参加率6.5%)、修了者数39人(修了率100.0%) ・継続支援:保健指導修了者に対し、継続支援の保健指導を実施。 通知発送数27人、参加者数4人(参加率14.8%)、修了者数4人(修了率100%) 	<ul style="list-style-type: none"> ・糖尿病性腎症重症化予防事業(受診勧奨、保健指導、継続支援)を埼玉県国民健康保険団体連合会との共同事業として実施。 ・受診勧奨:未受診者や受診中断者に対し、受診勧奨の通知を送付。未受診者187人、受診中断者28人。 ・保健指導:糖尿病性腎症2期~4期の者に専門職(保健師・管理栄養士等)による保健指導を実施。 通知発送数740人、参加者数29人(参加率3.9%)、修了者数23人(修了率100.0%) ・継続支援:保健指導修了者に対し、継続支援の保健指導を実施。 通知発送数81人、参加者数12人(参加率14.8%)、修了者数8人(修了率100%)
草加市	<ul style="list-style-type: none"> ・糖尿病の重症化(主に腎症)を防ぐため、医療機関未受診者や治療中断者に対して、個別に受診勧奨通知書を送付し、非専門職による電話での受診勧奨を実施した。また、重症化リスクの高い者に対して、保健指導プログラムへの参加通知を送付し、本人の同意と、かかりつけ医の推薦があった者を対象とし、保健指導を実施した。 ・特定保健指導対象者ではないが、特定健診の結果から今後生活習慣病となるリスクが高い者に対して、過去5年間分の健診結果と、食事・運動に関する参考資料を送付した。また、栄養講話、生活習慣改善のための講義、運動教室等を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・糖尿病の重症化(主に腎症)を防ぐため、医療機関未受診者や治療中断者に対して、個別に受診勧奨通知書を送付し、非専門職による電話での受診勧奨を実施した。また、重症化リスクの高い者に対して、保健指導プログラムへの参加通知を送付し、本人の同意と、かかりつけ医の推薦があった者を対象とし、保健指導を実施した。 ・特定保健指導対象者ではないが、特定健診の結果から今後生活習慣病となるリスクが高い者に対して、過去5年間分の健診結果と、食事・運動に関する参考資料を送付した。また、栄養講話、生活習慣改善のための講義、運動教室等を実施した。 	
越谷市	<ul style="list-style-type: none"> ・埼玉県と国保連合会の共同事業に参加。 ・医療機関未受診者への受診勧奨(161人) 受診中断者への受診勧奨(31人) ・保健指導(R4 申込者数15人) ・糖尿病予防の講演会を開催した。 ・糖尿病予防セミナー1回、29人参加。 ・糖尿病の重症化予防の講演会を開催した。 ・糖尿病と上手につき合う方法論~コントロール編~1回、29人参加。 ・糖尿病予防を目的に、ウォーキング教室を行った。1回、15人参加。 ・糖尿病に関する栄養講座を行った。 講話編5回、53人参加。調理編2回、16人参加。 	<ul style="list-style-type: none"> ・糖尿病予防の講演会を開催した。 ・糖尿病予防セミナー1回、45人参加。 ・糖尿病の重症化予防の講演会を開催した。 ・糖尿病との向き合い方セミナー1回、39人参加。 ・糖尿病予防を目的に、ウォーキング教室を行った。1回、14人参加。 ・糖尿病に関する栄養講座を行った。 講話編5回、50人参加。調理編2回、25人参加。 <p>埼玉県と国保連合会の共同事業「糖尿病性腎症重症化予防対策事業」に参加。 ・医療機関未受診者への受診勧奨(172人) 受診中断者への受診勧奨(28人) ・保健指導(R5 申込者数17人)</p>	

第7次計画埼玉県地域保健医療計画 東部保健医療圏 圏域別取組 R5年度実績(2)

圏域別取組	生活習慣病を踏まえた健康づくり対策
目標	県や市町の健康づくり計画を、行政・関係団体・住民が共に推進します。 また、県民一人一人が主体的に望ましい生活習慣を身に付け、健康管理に留意するなど、生涯を通じて健康づくりに取り組んでいくために、行政はもとより、家庭、学校、団体・企業などが一体となって健康づくり運動を展開し、健康寿命の延伸を推進します。
主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ■食生活、運動等に関する正しい知識の普及や情報提供 ■特定健診や特定保健指導による生活習慣病の早期発見・早期治療の促進 ■がん検診受診率の向上 ■糖尿病の発症及び重症化予防対策の推進 ■高齢者の健康づくりの推進
実施主体	医療保険者、市町、保健所、医師会、薬剤師会、関係団体

主な取組	実施主体	R4	R5
	八潮市	埼玉県・埼玉県国民健康保険団体連合会との共同として「糖尿病性腎症重症化予防対策事業」に参加。令和4年度の実績は次のとおり。 ①受診勧奨者数 61名 ②保健指導参加者数 2名 ③保健指導継続支援 0名	埼玉県・埼玉県国民健康保険団体連合会との共同として「糖尿病性腎症重症化予防対策事業」に参加。令和5年度の実績は次のとおり。 ①受診勧奨者数 85名 ②保健指導参加者数 8名 ③保健指導継続支援 1名
	三郷市	・埼玉県生活習慣病重症化予防対策事業への参加 保健指導終了者数：5人 ・健診結果から、集団健診においてHbA1c8.0%以上の未治療者を対象として、保健師が訪問指導を実施した。訪問数：12件	・埼玉県生活習慣病重症化予防対策事業への参加 保健指導終了者数：8人 ・健診結果から、集団健診においてHbA1c7.5%以上の未治療者を対象として、保健師が訪問指導を実施した。訪問数：14件 HbA1c7.0%以上の未治療者に保健師が電話にて受診勧奨を実施した。電話勧奨実施数：13件
	吉川市	糖尿病性腎症重症化予防プログラム ・糖尿病性腎症重症化予防ハイリスク保健指導実施者数 269人	市糖尿病性腎症重症化予防プログラムに則り、重症度に応じて個別通知による受診勧奨や専門職による個別保健指導を実施。
	松伏町	・糖尿病について相談したい方に対し個別相談会を実施した。実施件数：6件 ・健診結果により、糖尿病の発症予防を踏まえた特定保健指導を実施した。	・糖尿病予防教室の実施：全3回1コース述べ39名 糖尿病は生活習慣を見直すことで予防できることから、歯科、食事、運動の内容を盛り込み全3回の実施として開催した。
	草加保健所	・健康長寿課主催の糖尿病性腎症重症化予防対策に係る二次医療圏単位の対策会議（東部医療圏）は新型コロナウイルス感染拡大により書面開催となり、糖尿病性腎症重症化予防施策の実施状況について情報共有を行った（年1回）。	・管内各市健康づくり担当者を対象に、担当者会議を実施した。（年1回）
⑤高齢者の健康づくりの推進	春日部市医師会	毎年度、春日部市からの依頼を受け、高齢者を対象とした介護予防講演会に講師として2名の役員を派遣している。「令和4年度介護予防講演会」①うつ・認知症予防講座 令和4年10月20日（木）武里地区公民館「うつ・認知症を知ろう」②脳血管疾患予防講座 令和5年1月19日（木）健康福祉センター「ゆっく武里」2階「脳血管疾患を予防しよう」	毎年度、春日部市からの依頼を受け、高齢者を対象とした介護予防講演会に講師として2名の役員を派遣している。「令和5年度介護予防講演会」①うつ・認知症予防講座 令和5年10月19日（木）中央公民館「うつ・認知症を知ろう」②脳血管疾患予防講座 令和6年1月30日（火）春日部コミュニティーセンター「脳血管疾患を予防しよう」
	越谷市医師会	後期高齢健康診査、骨粗しょう症検診、各種がん検診や各種ワクチン接種事業等を実施し、市民の健康寿命の延伸に寄与する医療活動を継続的に行っている。	後期高齢健康診査、骨粗しょう症検診、各種がん検診や各種ワクチン接種事業等を実施し、市民の健康寿命の延伸に寄与する医療活動を継続的に行っている。
	吉川松伏医師会	・市と町が推進する各種の健康事業の促進のために、医療機関窓口にはポスター掲示やリーフレットの配布をおこなった。	・市と町が推進する各種の健康事業の促進のために、医療機関窓口にはポスター掲示やリーフレットの配布をおこなった。
	草加八潮医師会	市が行うがん検診、ワクチン接種など事業に協力し、健康づくりを推進している。	市が行うがん検診、ワクチン接種など事業に協力し、健康づくりを推進している。
	東埼玉歯科医師会	・後期高齢者健康長寿歯科健診	
	春日部市薬剤師会		春日部市健康まつりにて、お薬相談会を開催した。

第7次計画埼玉県地域保健医療計画 東部保健医療圏 圏域別取組 R5年度実績(2)

圏域別取組	生活習慣病を踏まえた健康づくり対策
目標	県や市町の健康づくり計画を、行政・関係団体・住民が共に推進します。 また、県民一人一人が主体的に望ましい生活習慣を身に付け、健康管理に留意するなど、生涯を通じて健康づくりに取り組んでいくために、行政はもとより、家庭、学校、団体・企業などが一体となって健康づくり運動を展開し、健康寿命の延伸を推進します。
主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ■食生活、運動等に関する正しい知識の普及や情報提供 ■特定健診や特定保健指導による生活習慣病の早期発見・早期治療の促進 ■がん検診受診率の向上 ■糖尿病の発症及び重症化予防対策の推進 ■高齢者の健康づくりの推進
実施主体	医療保険者、市町、保健所、医師会、薬剤師会、関係団体

主な取組	実施主体	R4	R5
	春日部市	<p>・健康づくりいきいき運動研修…60歳以上を対象に年17回、ストレッチ、筋力運動等を実施。参加人数：474名</p> <p>・体力測定会…60歳以上を対象に握力、開眼片足立ち、長座体前屈、10m障害物歩行の4種類の測定を実施。年1回開催。参加人数：30名</p> <p>・元気アップ教室…簡単スポーツ、健康ツボ講話、正しいウォーキング等の5つの教室を概ね65歳以上の高齢者を対象に年18回実施。参加人数：225名</p> <p>高齢者の介護予防のため、介護予防事業を実施した。</p> <p>・健康脳トレ塾…脳トレ、栄養・口腔機能・介護予防の講話、そらまめ体操など（開催回数：48回、延参加者数：840人）</p> <p>・介護予防講演会…転倒予防、腰痛・膝痛予防、首痛・肩痛予防、うつ・認知症予防、脳血管疾患予防、薬、高齢者の栄養、口腔機能向上、音楽による認知症予防についての講話など（開催回数：9回、延参加者数：182人）</p> <p>・そらまめ体操普及活動（実施会場：9か所、実施回数：298回、延参加者数：6,240人）</p> <p>・介護支援ボランティアポイント事業…高齢者施設などでボランティア活動をする高齢者にポイントを付与（登録人数：209人）</p> <p>・えんJOYトレーニング…住民主体型の介護予防体操（25団体）</p> <p>・フレイルチェック測定会…令和4年度より、武里団地地域をモデル地区に設定し、フレイルチェック事業を開始。市民ボランティアであるフレイルサポーターによるフレイル予防啓発活動として、東京大学高齢社会総合研究機構が監修するフレイルチェック測定会を実施（開催回数：4回、延参加者数：54名）</p> <p>いきいきシニアライフ応援事業（高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施） ＜ハイリスクアプローチ＞ 対象：令和3年度後期高齢者健康診査結果から個別指導対象基準値に該当する75歳以上の市民 内容：対象者に事業案内を送付。利用希望者に対し6か月間に3回の訪問指導を実施。対象基準値によって、低栄養防止、または生活習慣病重症化防止について指導。 実績：32人（低栄養防止16人、生活習慣病の重症化予防16人）</p> <p>＜ホビュレーションアプローチ＞ 対象：地域の高齢者の通いの場等に参加する市民 内容：各地域包括支援センターから推薦のあった団体に対し、地区担当保健師が年に2回出向いて健康教育・健康相談を実施。 実績：利用団体（実）15団体、延参加者396人</p>	<p>高齢者の介護予防のため、介護予防事業を実施した。</p> <p>・健康脳トレ塾…脳トレ、栄養・口腔機能・介護予防の講話、そらまめ体操など（開催回数：48回、延参加者数：703人）</p> <p>・介護予防講演会…転倒予防、腰痛・膝痛予防、首痛・肩痛予防、うつ・認知症予防、脳血管疾患予防、薬、高齢者の栄養、口腔機能向上、音楽による認知症予防についての講話など（開催回数：9回、延参加者数：146人）</p> <p>・そらまめ体操普及活動（実施会場：11か所、実施回数：448回、延参加者数：8,763人）</p> <p>・介護支援ボランティアポイント事業…高齢者施設などでボランティア活動をする高齢者にポイントを付与（登録人数：254人）</p> <p>・えんJOYトレーニング…住民主体型の介護予防体操（31団体）</p> <p>・フレイルチェック測定会…市民ボランティアであるフレイルサポーターによるフレイル予防啓発活動として、東京大学高齢社会総合研究機構が監修するフレイルチェック測定会を実施。また、参加者アプローチとして春フレカフェを実施。（測定会 開催回数：8回、延参加者数：112人） （カフェ 開催回数：10回、延参加者数：245人）</p> <p>・健康づくりいきいき運動研修 対象：60歳以上 内容：年19回、ストレッチ、筋力運動等を実施 参加人数：502名</p> <p>・体力測定会 対象：60歳以上 内容：年4回、握力、開眼片足立ち、長座体前屈、10m障害物歩行の4種類の測定を実施 参加人数：154名</p> <p>・元気アップ教室 対象：概ね65歳以上 内容：年7回、簡単スポーツ、健康ツボ講話、正しいウォーキング等の教室を実施。参加人数：90名</p> <p>いきいきシニアライフ応援事業（高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施） ＜ハイリスクアプローチ＞ 対象：令和4年度後期高齢者健康診査結果から個別指導対象基準値に該当する75歳以上の市民 内容：対象者に事業案内を送付。利用希望者に対し4か月間に2回の訪問指導、1回の電話支援を実施。低栄養防止やフレイルリスクの改善について指導。 実績：11人</p> <p>＜ホビュレーションアプローチ＞ 対象：地域の高齢者の通いの場等に参加する市民 内容：各地域包括支援センターから推薦のあった団体に対し、地区担当保健師が年に2回出向いて健康教育・健康相談を実施。 実績：利用団体（実）12団体、延参加者500人</p>
	草加市	<p>・後期高齢者の健康寿命の延伸に向け、フレイル予防や疾病予防・生活習慣病重症化予防等を一体的に実施できるよう、高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施を令和5年度から実施予定。令和4年度は関係各課や関係機関の集まる会議を4回開催し、医療・健診・介護等の面から見た課題や各課の事業等について情報共有を行い、令和5年度の一体的事業の実施方法や関係機関との連携方法について検討を行った。</p>	<p>・後期高齢者の健康寿命の延伸に向け、フレイル予防や疾病他予防・生活習慣病重症化予防等を一体的に実施できるよう、高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施を令和5年度から実施。ハイリスクアプローチは、3回1コースを市内3か所で開催し、ホビュレーションアプローチは市内で開催されている12か所の介護予防教室（ステップ教室）で栄養士の講話を実施した。また、関係各課で会議を4回開催し、当年度の事業の円滑な実施・評価や令和6年度に向けた事業内容等の検討を行った。</p> <p>・介護予防普及啓発事業として、 ドレミ♪でスッキリ教室・・・音楽と軽体操を組み合わせた認知症予防の教室を週1回全12回を年6コース行った。参加延べ人数1,028人。 体力測定・・・握力やバランス力、歩行速度などを測定するもので年32回、174人参加。</p> <p>ステップ教室・・・市内12会場で要支援・事業対象者を対象とした運動教室を月2回実施、延べ2,171人が参加。</p> <p>地域包括支援センターによる介護予防教室・・・年73回実施 介護予防手帳の作成・・・介護予防の情報提供資料として、また自己管理（目標、参加状況など）を記録できるよう、3,000部作成し2,168冊配布。 ジャンプ教室への支援・・・住民主体の体操教室であるジャンプ教室は20団体あり、活動支援を行った。（専門職講師派遣19回、交流会1回9団体合計26人参加、プレジャンプ教室3回106人参加）</p>

第7次計画埼玉県地域保健医療計画 東部保健医療圏 圏域別取組 R5年度実績(2)

圏域別取組	生活習慣病を踏まえた健康づくり対策
目標	県や市町の健康づくり計画を、行政・関係団体・住民が共に推進します。 また、県民一人一人が主体的に望ましい生活習慣を身に付け、健康管理に留意するなど、生涯を通じて健康づくりに取り組んでいくために、行政はもとより、家庭、学校、団体・企業などが一体となって健康づくり運動を展開し、健康寿命の延伸を推進します。
主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ■食生活、運動等に関する正しい知識の普及や情報提供 ■特定健診や特定保健指導による生活習慣病の早期発見・早期治療の促進 ■がん検診受診率の向上 ■糖尿病の発症及び重症化予防対策の推進 ■高齢者の健康づくりの推進
実施主体	医療保険者、市町、保健所、医師会、薬剤師会、関係団体

主な取組	実施主体	R4	R5
	越谷市	<ul style="list-style-type: none"> ・地域での介護予防活動の中心となるリーダーを養成し、住民主体の通いの場等の活動を支援した。(5団体、24名の介護予防リーダーを養成) ・住民の通いの場へ専門職(リハ職、歯科衛生士、栄養士、薬剤師)を派遣する介護予防出張講座を実施し、住民主体の介護予防の機能強化を支援した。(実施回数:53回、参加者:延べ907人) ・居宅で過ごす期間が長くなり介護予防の必要性が高い虚弱な高齢者に対して、健康を維持するために必要な運動プログラムをリハビリ専門職が対象者の自宅に訪問する「リハビリテーション専門職による介護予防訪問支援事業」を実施した。(参加者:31名、延訪問回数:166回) ・認知症、老年期うつ予防に関する講演会を開催した。(参加者:延べ99人) ・市内地区センター等を会場とした運動・口腔機能向上、低栄養改善のための複合プログラムである「お口と栄養と運動の元気塾」を実施した。(全4回×6コース 合計24回、参加者:57人) ・地域で介護予防に資する住民主体の通いの場の参加者の体力測定、健康状態のチェックを行い、状態を把握し、評価することで継続的な活動支援を行う「住民主体の介護予防活動(通いの場)評価事業」を実施した。(訪問回数:20回、参加者:延べ343人) ・介護予防の必要性を学び、運動をはじめるきっかけづくりを目指し、「65歳からのいきいき元気教室」を開催した。(参加者:15人) ・高齢者が気軽に自宅で取り組める介護予防体操の広報資料(DVD、リーフレット)を作成し、広く広報活動を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域での介護予防活動の中心となるリーダーを養成し、住民主体の通いの場等の活動を支援した。(1団体、20名の介護予防リーダーを養成) ・住民の通いの場へ専門職(リハ職、歯科衛生士、栄養士、薬剤師)を派遣する介護予防出張講座を実施し、住民主体の介護予防の機能強化を支援した。(実施回数:57回、参加者:延べ1,146人) ・認知症、老年期うつ予防に関する講演会を開催した。(3回、参加者:延べ189人) ・市内地区センター等を会場とした運動・口腔機能向上、低栄養改善のための複合プログラムである「お口と栄養と運動の元気塾」を実施した。(全4回×6コース 合計24回、参加者:59人) ・地域で介護予防に資する住民主体の通いの場の参加者の体力測定、健康状態のチェックを行い、状態を把握し、評価することで継続的な活動支援を行う「住民主体の介護予防活動(通いの場)評価事業」を実施した。(訪問回数:27回、参加者:延べ512人) ・介護予防の必要性を学び、運動をはじめるきっかけづくりを目指し、「65歳からのいきいき元気教室」を開催した。(参加者:16人) ・高齢者が気軽に自宅で取り組める介護予防体操の広報資料(DVD、リーフレット)を作成し、広く広報活動を行った。
	八潮市	<ul style="list-style-type: none"> ・介護予防体操教室、若返ろ！シニア体操教室：専門の指導員による体操教室を市内9ヶ所で開催。 ・俺の体操教室：男性を対象にした専門の指導員による筋力トレーニングや栄養指導の教室を実施。 ・こころばい介護予防教室：女性を対象にした専門の指導員による筋力トレーニングや栄養指導の教室を実施。 ・いこい体操：市内39会場で開催している八潮いこい体操に理学療法士、管理栄養士、歯科衛生士を派遣し、健康指導を実施。 ・おいしく食べよう栄養教室：管理栄養士によるバランスの良い食事についての講話や調理実習を実施。 ・オーラルフレイル予防教室：歯科衛生士による噛む力や飲み込む力、歯磨き(ブラッシング)の個別指導、口腔体操を実施。 ・フレイルチェック測定会：毎月原則第4火曜日にフレイルチェック測定会を実施。 ・フレイルチェック測定会リピーターの日：過去に八潮市のフレイルチェック測定会に参加したことのある方を対象に開催。通常の測定項目に加え、八潮市独自の測定項目やグループワークを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・介護予防体操教室、若返ろ！シニア体操教室：専門の指導員による体操教室を市内9ヶ所で開催。(年間全383回、延べ人数10,493人) ・俺の体操教室：男性を対象にした専門の指導員による筋力トレーニングや栄養指導の教室を実施。(年間全28回、延べ人数409人) ・こころばい介護予防教室：女性を対象にした専門の指導員による筋力トレーニングや栄養指導の教室を実施。(年間全28回、延べ人数128人) ・いこい体操：市内39会場で開催している八潮いこい体操に理学療法士、管理栄養士、歯科衛生士を派遣し、健康指導を実施。 ・おいしく食べよう栄養教室：管理栄養士によるバランスの良い食事についての講話や調理実習を実施。(年間全11回、延べ人数164人) ・オーラルフレイル予防教室：歯科衛生士による噛む力や飲み込む力、歯磨き(ブラッシング)の個別指導、口腔体操を実施。(年間全4回、延べ人数24人) ・フレイルチェック測定会：毎月原則第4火曜日にフレイルチェック測定会を実施。(年間全12回、延べ人数119人) ・フレイルチェック測定会リピーターの日：過去に八潮市のフレイルチェック測定会に参加したことのある方を対象に開催。通常の測定項目に加え、八潮市独自の測定項目やグループワークを行う。(年間全2回、延べ人数17人)
	三郷市	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者の要介護・要支援状態を予防するため、以下の介護予防事業を開催した。 ・シルバー元気塾ゆうゆうコース(簡単な筋力トレーニング) <ul style="list-style-type: none"> 6会場 106回 参加者数220名 延べ人数1,473名 ・健康アップ教室(椅子に座ったままできる簡単な体操) <ul style="list-style-type: none"> 8会場 240回 参加者数375名 延べ人数3,083名 ・地区サロン事業(地域の高齢者のかたが集まり体操や趣味活動等を行う) <ul style="list-style-type: none"> 25会場 979回 参加者数837名 延べ人数10,778名 ・プールでウォーキング(市内スポーツクラブのプールを利用した水中歩行) <ul style="list-style-type: none"> 3会場 30回 参加者数84名 延べ人数514名 ・脳の健康教室(KUMONが作成した教材を利用した認知症予防のための教室) <ul style="list-style-type: none"> 2会場 40回 参加者数35名 延べ人数640名 ・複合介護予防事業(歯科医師会、医師会、薬剤師会、栄養士会、接骨師会、理学療法士会と連携したフレイル予防・認知症予防のための講演会) <ul style="list-style-type: none"> 6会場 12回 参加者数151名 ・口腔機能向上事業(歯科衛生士を地域の通いの場へ派遣) <ul style="list-style-type: none"> 13回 参加者数172名 	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者の要介護・要支援状態を予防するため、以下の介護予防事業を開催した。 ・シルバー元気塾ゆうゆうコース(簡単な筋力トレーニング) <ul style="list-style-type: none"> 6会場 106回 参加者数262名 延べ人数1,775名 ・健康アップ教室(椅子に座ったままできる簡単な体操) <ul style="list-style-type: none"> 8会場 256回 参加者数405名 延べ人数3,327名 ・地区サロン事業(地域の高齢者のかたが集まり体操や趣味活動等を行う) <ul style="list-style-type: none"> 31会場 1,085回 参加者数1,056名 延べ人数14,984名 ・プールでウォーキング(市内スポーツクラブのプールを利用した水中歩行) <ul style="list-style-type: none"> 3会場 30回 参加者数86名 延べ人数538名 ・脳の健康教室(KUMONが作成した教材を利用した認知症予防のための教室) <ul style="list-style-type: none"> 2会場 44回 参加者数36名 延べ人数745名 ・複合介護予防事業(歯科医師会、薬剤師会、栄養士会、接骨師会、理学療法士会と連携したフレイル予防・認知症予防のための講演会) <ul style="list-style-type: none"> 4会場 7回 参加者数245名 ・口腔機能向上事業(歯科衛生士を地域の通いの場へ派遣) <ul style="list-style-type: none"> 9回 参加者数122名 ・料理教室(栄養、口腔、身体についての講話の後に簡単な調理・喫食) <ul style="list-style-type: none"> 1回 参加者数15名
	吉川市	<ul style="list-style-type: none"> ・長寿支援課にて介護予防教室、地域の体操教室、フレイル予防事業を実施 いきいき運動教室：1コース全15回(概ね週1回・1.5時間)18コース 参加者のべ626人 はつらつ運動教室：1コース全15回(概ね週1回・1.5時間)4コース(送迎あり) 参加者のべ95人 フレイル予防事業：フレイル予防サポーター養成講習会 終了者9人 フレイル予防サポーターフォローアップ講習会 2回 参加者21人 フレイルチェック 2回 参加者17人 フレイルチェック 13回 参加者232人 地域の体操教室：理学療法士派遣 10回 運動指導士派遣 6回 奨励金交付 24団体 健康づくり・介護予防リーダーフォローアップ講習会 2回 参加者87名 包括による地域での介護予防教室：22回 参加者のべ224人 男性のための運動教室：1コース2回×2回 参加者のべ38人 	<ul style="list-style-type: none"> ・長寿支援課にて介護予防教室、地域の体操教室、フレイル予防事業を実施 いきいき運動教室：1コース全15回(概ね週1回・1.5時間)18コース 参加者669人 はつらつ運動教室：1コース全15回(概ね週1回・1.5時間)8コース(送迎あり) 参加者100人 フレイル予防事業：フレイル予防サポーターフォローアップ講習会 2回 参加者21人 フレイルチェック 6回 参加者163人 地域の体操教室：理学療法士派遣 4回 運動指導士派遣 5回 奨励金交付 27団体 健康づくり・介護予防リーダーフォローアップ講習会 2回 参加者68名 包括による地域での介護予防教室：29回 参加者404人 男性のための運動教室：1コース3回 参加者19人

第7次計画埼玉県地域保健医療計画 東部保健医療圏 圏域別取組 R5年度実績(2)

圏域別取組	生活習慣病を踏まえた健康づくり対策
目標	県や市町の健康づくり計画を、行政・関係団体・住民が共に推進します。 また、県民一人一人が主体的に望ましい生活習慣を身に付け、健康管理に留意するなど、生涯を通じて健康づくりに取り組んでいくために、行政はもとより、家庭、学校、団体・企業などが一体となって健康づくり運動を展開し、健康寿命の延伸を推進します。
主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ■食生活、運動等に関する正しい知識の普及や情報提供 ■特定健診や特定保健指導による生活習慣病の早期発見・早期治療の促進 ■がん検診受診率の向上 ■糖尿病の発症及び重症化予防対策の推進 ■高齢者の健康づくりの推進
実施主体	医療保険者、市町、保健所、医師会、薬剤師会、関係団体

主な取組	実施主体	R4	R5
	松伏町	<ul style="list-style-type: none"> ・ノルディックウォークを実施し、継続的な運動機会の提供や講話によるヘルスリテラシーの向上に努めた。 ・一般介護予防事業の実施（まつぶしご近所さん体操、ご近所さん体操交流大会、いきいき健康体操教室、音楽療法による介護予防事業（音楽健康クラブ）、男性のみの健康体操教室、スマホ講座） ・フレイル予防対策教室の実施（おでかけ応援講座、洗濯教室、掃除教室） 	<ul style="list-style-type: none"> ・人生100年時代のためのアクティブ・エイジングパスポートとして「マップー・健幸・マイレージ」事業で町内の健康づくり事業と町地産品・推奨特産品と運動した事業で約1550人参加、175人認定 ・一般介護予防：・ご近所さん体操：町内23会場、約420人登録、健康講座等の開催、・いきいき健康体操：延べ8回×3コース、1737人参加、音楽健康クラブ：延べ17回×2期4705人、男性のための健康体操教室延べ4回×3期430人、 ・フレイル予防対策教室：高齢者向け講座や介護予防のためのスマホ教室や健康大学などの開催
	草加保健所	<ul style="list-style-type: none"> ・保険者情報の連携による高齢者の健康維持向上を促進するために、前期高齢者から後期高齢者の重点的な健康支援の仕組みが求められた。令和6年度から各市で具体的事業の実施が開始される。 ・埼玉県国保連合会や国保医療課主催の「高齢者の保健事業と高齢介護の一体化事業」を活用する等、各市の関係各課の情報共有、計画策定等に向けた進捗状況や現在の不明点の確認、支援を行った。（年1回）。 	<ul style="list-style-type: none"> ・三郷市食生活改善推進員協議会総会にてフレイル予防をテーマとした講話を行った。（年1回） ・病院、介護老人福祉施設等の連携推進を目的とした給食関係者連絡会議を実施した（年3回）
	春日部保健所	<ul style="list-style-type: none"> 保健所歯科口腔保健連携会議 「オーラルフレイル予防対策を踏まえた高齢者の口腔保健支援」 講義「口腔機能向上を目指したオーラルフレイル対策《実践編》」（実施日：令和4年9月29日 32名参加） 	<ul style="list-style-type: none"> ・食生活改善推進員リーダー研修会 講義「骨粗鬆症予防について」 （実施日：令和5年9月28日 38名参加、後日オンデマンド44名視聴） ・給食施設研修会 講義及び演習「摂食嚥下障害者の栄養ケア」 （実施日：令和5年11月30日 26名参加）

第7次計画埼玉県地域保健医療計画 東部保健医療圏 圏域別取組 R5年度実績(3)

圏域別取組	心の健康対策
目標	必要な人が速やかに適切な保健・医療・福祉の支援が受けられ、住み慣れた地域で安心して生活が継続できる支援体制づくりを目指します。
主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ■精神保健に係る関係機関との連携強化 ■精神保健に係る情報提供や相談体制の充実 ■退院後の地域支援体制の充実強化
実施主体	保健所、市町、医師会、歯科医師会、薬剤師会、医療機関、福祉・介護施設 等

主な取組	実施主体	R4	R5
① 精神保健に係る関係機関との連携強化	越谷市医師会	越谷市精神保健福祉専門相談事業や埼玉福祉部嘱託医(更生相談)等に対し、順天堂大学医学部付属越谷病院や獨協医大埼玉医療センター専門医の推薦・派遣協力を行っている。	越谷市精神保健福祉専門相談事業や埼玉福祉部嘱託医(更生相談)等に対し、順天堂大学医学部付属越谷病院や獨協医大埼玉医療センター専門医の推薦・派遣協力を行っている。
	三郷市医師会	在宅医療・介護連携サポートセンターによる関係機関間の情報共有及び連携の強化。	
	埼玉県保険者協議会	全国健康保険協会、埼玉県、埼玉労働局、さいたま市、健康保険組合連合会埼玉連合会等で組織する健康経営埼玉推進協議会において、ウィズコロナとメンタルヘルスをテーマに、健康経営を実践している事業所担当者向けに健康経営セミナーを開催した。	
	春日部市	<ul style="list-style-type: none"> ・障害者生活支援センター主催の精神保健関係者連絡会に参加…参加機関：市保健福祉部門職員、月1回 ・精神保健福祉連絡会…対象：市職員(保健福祉関係部署)、①実施日：7月8日(勉強会、情報交換)参加者：16人、②実施日：1月12日(ケース検討、情報交換)参加者15人 ・保健所、委託相談支援事業所、市の関係課(障がい者支援課・保健センター・生活支援課)等による「保健・医療・福祉協議の場」を毎月1回行い、情報共有や事例検討等を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・精神保健福祉連絡会… ①実施日：7月13日(情報交換)対象：市職員(保健福祉関係部署、教育関係部署)、地域包括支援センター、障がい者生活支援事業所 参加者：23人 ②実施日：11月14日(勉強会)対象：市職員(保健福祉関係部署、教育関係部署)、参加者：10人 ・保健所、委託相談支援事業所、市の関係課(障がい者支援課・保健センター・生活支援課)等による「保健・医療・福祉協議の場」を毎月1回行い、情報共有や事例検討等を行った。
	草加市	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢化、重複障がい、子育てなど家族が抱える問題が増加しており、世帯全体への支援が必要な事例について、医療機関、相談支援事業所、包括支援センター、子育て支援センター、訪問看護事業所等と連携し、情報共有のほか役割分担や方針の統一を図った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢化、重複障がい、子育てなど家族が抱える問題が増加しており、世帯全体への支援が必要な事例について、医療機関、相談支援事業所、包括支援センター、子育て支援センター、訪問看護事業所等と連携し、情報共有のほか役割分担や方針の統一を図った。 ・精神障がいにも対応した地域包括ケアシステムの形成に向け、関係機関と打ち合わせ、課題の確認を行った。
	越谷市	<ul style="list-style-type: none"> ・個別ケースカンファレンス 庁内関係各課所や関係機関、関係団体と、随時ケースカンファレンスを実施して支援体制を確認し、必要に応じて受診援助や同行訪問等を行った。 庁内：障害福祉課、生活福祉課、地域包括ケア課、健康づくり推進課、子ども安全室、指導課、教育センター、消防局等 庁外：精神科医療機関、警察署、教育機関、訪問看護ステーション、地域包括支援センター、障がい者等基幹相談支援センター、児童相談所等 ・自殺対策 市内の三次救急医療機関及び消防局と連携し、「自殺未遂者相談支援事業」を実施した。同意の取れた自殺未遂者またはその親族等に対し、病院等で面接相談を行うなど6ヶ月以上の継続支援を実施した。また、不搬送者に対しては、救急隊より再企図防止メッセージカードを配付した。(支援件数：20件) ・自殺予防普及啓発活動 東武鉄道株式会社と連携し、越谷警察署や越谷アルファーズの協力、また市長および市議会議長の参加も得て、3年ぶりに駅頭キャンペーンを実施し、通勤客等に対して啓発品(1,500個)を配布する活動を行った。また、昨年引き続き、市内の小中学校美術部等による「いのちを大切に」をテーマとした作品を市4駅の駅構内に展示した。(配布日：7月7日大袋駅、3月7日蒲生駅)(展示期間：9月9日～30日、3月中)(作品出品校：4校) ・ひきこもり相談支援 市のプラットフォームとして、庁内関係各課所、市内の関係機関や団体による「ひきこもり支援連絡会議」を開催した。(1回、15人) 	<ul style="list-style-type: none"> ・個別ケースカンファレンス 庁内関係各課所や関係機関、関係団体と、随時ケースカンファレンスを実施して支援体制を確認し、必要に応じて受診援助や同行訪問等を行った。 庁内：障害福祉課、生活福祉課、地域包括ケア課、健康づくり推進課、子ども安全室、指導課、教育センター、消防局等 庁外：精神科等医療機関、警察署、教育機関、訪問看護ステーション、地域包括支援センター、障がい者等基幹相談支援センター、児童相談所等 ・自殺対策 市内の三次救急医療機関及び消防局と連携し、「自殺未遂者相談支援事業」を実施した。同意の取れた自殺未遂者またはその親族等に対し、病院等で面接相談を行うなど6ヶ月以上の継続支援を実施した。また、不搬送者に対しては、救急隊より再企図防止メッセージカードを配付した。(支援件数：19件) ・自殺予防普及啓発活動 東武鉄道株式会社及び東日本旅客鉄道株式会社と連携し、越谷警察署や越谷アルファーズの協力、また市長および市議会議長の参加も得て駅頭キャンペーンを実施し、通勤客等に対して啓発品(2,500個)を配布する活動を行った。 また、昨年に引き続き、市内の小中学校美術部等による「いのちを大切に」をテーマとした作品を市内の駅構内に展示した。(配布日：9月12日北越谷駅、12月12日新越谷駅・南越谷駅)、3月19日越谷駅(展示期間：9月11日～29日、3月中)(作品出品校：3校) ・ひきこもり相談支援 市のプラットフォームとして、庁内関係各課所、市内の関係機関や団体による「ひきこもり支援連絡会議」を開催した。(1回、15人)
	八潮市	<ul style="list-style-type: none"> ・随時、保健所や医療機関、相談支援事業所等と連携を図った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・随時、保健所や医療機関、相談支援事業所等と連携を図った。
	三郷市	<ul style="list-style-type: none"> ・医療機関、地域事業所も含めた事例検討の場への参加 ・「精神障害にも対応した地域包括ケアシステム」構築に向けて、医療・福祉・介護等を含めた協議の場を設置し、検討を進めてきた。また、保健所等が開催する研修会にも参加し、関係機関との連携強化に努めてきた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・医療機関、地域事業所も含めた事例検討の場への参加 ・「精神障害にも対応した地域包括ケアシステム」構築に向けて、医療・福祉・介護等を含めた協議の場を設置し、検討を進めてきた。また、保健所等が開催する研修会にも参加し、関係機関との連携強化に努めてきた。
	吉川市	<ul style="list-style-type: none"> ・精神障がい者家族会への補助金支出などの支援を実施。 ・精神障がい者家族会のリーフレットを作成し、配布した。また、精神障がい者家族教室を開催した。 ・精神保健を含む複合的な相談、支援体制の在り方に関する庁内検討会議を実施している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・精神障がい者家族会への補助金支出などの支援を実施。 ・精神障がい者家族会などのリーフレットを配布した。 ・精神保健を含む複合的な相談、支援体制の在り方に関する庁内検討会議を実施している。 ・精神障がい者に対する事例検討を支援団体、医療機関、近隣自治体などと協議した。
	松伏町	<ul style="list-style-type: none"> ・保健師による電話相談や窓口対応、月1回、精神保健福祉士による「こころの相談」を実施し、必要に応じて関係機関と連携した。 ・年2回、関係機関と精神保健連携会議を実施した。会議の中で、勉強会を実施し、精神保健に関する情報共有を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保健師による電話相談や窓口対応、月1回、精神保健福祉士による「こころの相談・ひきこもり相談」を実施し、必要に応じて関係機関と連携した。 ・年3回、関係機関と精神保健連携会議を実施した。 ・月1回、精神情報共有会議に参加し、ケース検討を行った。
草加保健所	<ul style="list-style-type: none"> ・精神障害者支援地域協議会(代表者会議)、精神障害者地域支援体制構築会議、構築推進研修会を集合とZoomのハイブリット形式にて開催し、管内関係機関と地域精神保健福祉課題の共有を図った。 	<ul style="list-style-type: none"> 精神障害者支援地域協議会と精神障害者地域支援体制構築会議を集合とZoomのハイブリット形式にて開催し、課題共有や意見交換を行った。また年度当初に管内担当者会議を行い、管内市からの意見に基づき、市と共催で構築推進研修会を実施した。 	
春日部保健所	<ul style="list-style-type: none"> 管内の保健・医療・福祉関係機関の職員を対象に、関係機関との連携強化、情報共有を連携を強化することを目的に事業を実施。 ・市町精神保健福祉連絡会、春日部市自立支援協議会への参加(12回) ・松伏町保健センター精神保健勉強会での講義(2回 参加19名) ・保健所管内精神保健福祉連絡会の開催(12月7日 参加25名) 	<ul style="list-style-type: none"> 管内の保健・医療・福祉関係機関の職員を対象に、関係機関との連携強化、情報共有を目的に事業を実施。 ・市町精神保健福祉連絡会、春日部市自立支援協議会への参加(21回) ・保健所管内精神保健福祉連絡会(コア会議)の開催(6月28日 参加17名) ・保健所管内精神保健福祉連絡会の開催(12月6日 参加23名) 	

第7次計画埼玉県地域保健医療計画 東部保健医療圏 圏域別取組 R5年度実績(3)

圏域別取組	心の健康対策
目標	必要な人が速やかに適切な保健・医療・福祉の支援が受けられ、住み慣れた地域で安心して生活が継続できる支援体制づくりを目指します。
主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ■精神保健に係る関係機関との連携強化 ■精神保健に係る情報提供や相談体制の充実 ■退院後の地域支援体制の充実強化
実施主体	保健所、市町、医師会、歯科医師会、薬剤師会、医療機関、福祉・介護施設 等

主な取組	実施主体	R4	R5
② 精神保健に係る情報提供や相談体制の充実	三郷市 医師会	在宅医療・介護連携サポートセンターによる相談体制の強化。	
	埼玉県看護協会	思春期悩み相談・ティーンズ電話相談の実施：実施44日間、延べ1117件、相談員8名 毎週土曜日、10:00～16:00 埼玉県看護協会研修センター ・ティーンズ電話相談の広報：春日部市リーフレット掲載	
	春日部市	<ul style="list-style-type: none"> ・メンタルヘルス講演会(かすかべ動画チャンネルに配信)…対象：市民 配信期間：3月15日～3月31日、視聴回数：184回 ・ゲートキーパー養成講習会…対象：市職員、実施日：6月17日・11月11日・12月7日、12月8日、12月13日、12月16日、12月19日 参加者：120人 ・こころの健康相談…毎月3回実施、精神保健福祉士・臨床心理士・保健師による相談、相談者数：54件 ・新成人向けのリーフレット配布…成人式にてリーフレット配布：1,354部 ・こころの体温計…メンタルヘルスチェックシステム 通年 アクセス数：15,383件 ・市のホームページ等を通じ、自立支援医療(精神通院医療)、精神保健福祉手帳の申請に関する情報提供を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・メンタルヘルス講演会…実施日：3月9日 対象：市民 参加者：36人 ・ゲートキーパー養成講習会…対象：市職員、実施日：11月13日、12月7日、12月13日、12月14日 参加者：100人 ・こころの健康相談…毎月3回実施、精神保健福祉士・臨床心理士・保健師による相談、相談件数：38件 ・新成人向けのリーフレット配布…成人式にてリーフレット配布：1,600部 ・こころの体温計…メンタルヘルスチェックシステム 通年 アクセス数：18,694件、チラシ配布：1,823枚 ・若年層メンタルヘルスの啓発…市内高校、私立中学にチラシ配布：6,330枚 ・市のホームページ等を通じ、自立支援医療(精神通院医療)、精神保健福祉手帳の申請に関する情報提供を行った。
	草加市	<ul style="list-style-type: none"> ・自立支援協議会にて作成した、緊急事態を未然に防ぐための「あんしんシート」「チェックシート」を相談支援事業所が運用し、関係機関が本人や家族の状況を共有できるようにした。 ・サービスをスムーズに利用できるよう「事業所マップ」「福祉サービスの利用の手引き」、災害時に地域での助け合いができるよう「ヘルプカード」についてのリーフレットを作成した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急時に備えた「あんしんシート」「チェックシート」を相談支援事業所を活用し、介護リスクがある世帯に施設申し込みや短期入所利用を促す、関係機関が本人や家族の状況を共有できるようにしている。 ・サービスをスムーズに利用できるよう「福祉サービスの利用の手引き」「就労支援事業所マップ」の配架を行った。 ・地域の新任相談支援専門員、障害福祉サービス事業所職員、市のケースワーカー向けに精神保健に関する新人職員研修を開催した。 ・精神保健福祉に関する普及啓発の一環として、患者家族のトイピアノ演奏とトークショーを開催した。
	越谷市	<ul style="list-style-type: none"> ・こころの健康相談に関する窓口案内リーフレットを作成し、来訪者や庁内外の関係機関等へ配布した。また市ホームページや広報紙においても、インフォメーションを行った。 (こころの健康に関する相談件数(面接、電話、訪問)：計6,202件) ・精神保健困難事例について、専門家によるスーパーバイズから、未受診者等の見立てや支援者のスキルアップを図り、相談支援体制の充実を図った。 (精神科医師による専門相談：6回、内訳：訪問相談3件、面接相談7件) (公認心理師による専門相談：5回、内訳：検討事例9件) ・「自殺未遂者相談支援事業」を実施し、三次救急医療機関及び消防局との連絡報告会を計3回実施することで、自殺対策に関わる相談支援体制の充実を図った。 ・ひきこもり市民教室、ひきこもり支援者研修、大人の発達障がい家族教室、アルコール専門相談、自死遺族相談を実施し、ひきこもりやアルコール関連問題、精神疾患等に関する正しい知識の普及啓発を行った。また、ひきこもり家族のつどい、ひきこもり当事者の居場所も運営した。 (ひきこもり市民教室：1回、15人) (ひきこもり支援者研修：1回、23人) (大人の発達障がい家族教室：2回、計46人) (アルコール専門相談：2回、4組 自死遺族相談：2回、2組) ・ゲートキーパー研修を、市内の小中学校教職員および県立大学教職員を対象に実施した。(5回、計229人) 	<ul style="list-style-type: none"> ・こころの健康相談に関する窓口案内リーフレットを作成し、来訪者や庁内外の関係機関等へ配布した。また市ホームページや広報紙においても、インフォメーションを行った。 (こころの健康に関する相談件数(面接、電話、訪問)：計5,378件) ・精神保健困難事例について、専門家によるスーパーバイズから、未受診者等の見立てや支援者のスキルアップを図り、相談支援体制の充実を図った。 (精神科医師による専門相談：6回、内訳：訪問相談3件、面接相談4件) (公認心理師による専門相談：5回、内訳：検討事例8件) ・「自殺未遂者相談支援事業」を実施し、三次救急医療機関及び消防局との連絡報告会を計3回実施することで、自殺対策に関わる相談支援体制の充実を図った。 ・ひきこもり市民教室、ひきこもり支援者研修、発達障がい家族教室、アルコール専門相談、自死遺族相談を実施し、ひきこもりやアルコール関連問題、精神疾患等に関する正しい知識の普及啓発を行った。また、ひきこもり家族のつどい、ひきこもり当事者の居場所も運営した。 (ひきこもり市民教室：1回、21人) (ひきこもり支援者研修：1回、22人) (発達障がい家族教室：2回、計68人) (アルコール専門相談：2回、4組 自死遺族相談：2回、レビュー実施) ・ゲートキーパー研修を、市内の小中学校教職員および県立大学教職員を対象に実施した。(7回、計287人)
八潮市	<ul style="list-style-type: none"> ・随時、保健師、精神保健福祉士による相談を実施。 ・毎月1回、精神科医によるこころの健康相談の実施。 ・市内相談先一覧を作成し、窓口にて配布を行った。 ・精神保健福祉講座(市民向け)を実施。 (実施日：令和4年10月13日(木)、参加者114人) ・相談窓口について分野別に一覧した職員向けの相談窓口シートを作成し、相談業務にあたる職員に加え、相談業務にあたる相談員、民生委員・児童委員等180人に相談の内容に応じて専門機関等を案内できるように配布した。 ・ゲートキーパー養成講座(市民向け)を実施した。受講者にゲートキーパー手帳を配布した。(実施日：令和4年10月6日(木)、受講者29人) 	<ul style="list-style-type: none"> ・随時、保健師、精神保健福祉士による相談を実施。 ・毎月1回、精神科医によるこころの健康相談の実施。 ・悩みを相談できる相談窓口について、分野別に一覧した職員向けの相談窓口シートを作成し、相談業務にあたる職員に加え、相談業務にあたる相談員、民生委員・児童委員等178人に相談の内容に応じて専門機関等を案内できるように配布した。 ・障がいのある方とその家族向けの市内相談先一覧を作成し、窓口にて配布を行った。 ・ゲートキーパー養成講座(市民向け)を実施した。受講者にゲートキーパー手帳を配布した。(実施日：令和5年11月1日(水)、受講者20人) ・こころの健康講座を2回実施した。(受講者45人) ・精神保健福祉講座(市民向け)を実施。 (実施日：令和5年11月1日(水)、参加者100人) 	
三郷市	<ul style="list-style-type: none"> ・精神保健に係る相談体制の充実を図るため、各種相談機関を掲載したリーフレットを差し込んだポケットティッシュやクリアファイル、お守り型リーフレットを作成し、市民に配布した。また、市ホームページやメール配信サービス、SNS等でも周知を行っている。 ・精神保健福祉士によるゲートキーパー養成講座を市職員向け、市内高校生向け、ケアマネージャー向けの計3回開催したほか、精神科医による講演とパネルディスカッションを含む医療機関向け講演会を1回開催した。 ・自殺対策街頭キャンペーンとして、三郷中央駅にて啓発品を配布するキャンペーンを1回行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・精神保健に係る相談体制の充実を図るため、各種相談機関を掲載したリーフレットを差し込んだポケットティッシュ、お守り型リーフレットを作成し、市民に配布した。また、市ホームページやメール配信サービス、SNS等でも周知を行っている。 ・精神保健福祉士によるゲートキーパー養成講座を市職員向け、市内高校生向け、市民向けの計3回開催したほか、精神科医による医療機関向け講演会を1回開催した。 ・自殺対策街頭キャンペーンとして、三郷中央駅にて啓発品を配布するキャンペーンを1回行った。 	

第7次計画埼玉県地域保健医療計画 東部保健医療圏 圏域別取組 R5年度実績(3)

圏域別取組	心の健康対策
目標	必要な人が速やかに適切な保健・医療・福祉の支援が受けられ、住み慣れた地域で安心して生活が継続できる支援体制づくりを目指します。
主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ■精神保健に係る関係機関との連携強化 ■精神保健に係る情報提供や相談体制の充実 ■退院後の地域支援体制の充実強化
実施主体	保健所、市町、医師会、歯科医師会、薬剤師会、医療機関、福祉・介護施設 等

主な取組	実施主体	R4	R5
	吉川市	・こころと障がいの相談事業について広報に掲載するとともに、相談窓口のリフレットを作成し、必要に応じて配布した。	・こころと障がいの相談事業について広報に掲載するとともに、相談窓口のリフレットを必要に応じて配布した。
	松伏町	<ul style="list-style-type: none"> ・保健師による電話相談や窓口対応、月1回、精神保健福祉士による「こころの相談」を実施した。相談件数（面接、訪問）：計13件 ・主な相談窓口の紹介チラシを作成し、関係機関の窓口への設置することで、精神保健に関する相談窓口を情報提供した。 ・こころの健康講座としてゲートキーパー養成研修（職員）を実施し、22名の方が参加し、悩んでいる方の心理や声かけの仕方などについて情報提供した。 ・各種検（健）診・広報において相談先一覧を配布した。 ・令和4年度からひきこもり相談窓口としてを広報で周知を行った。 ・環境経済課から町の事業所（8カ所）へ送付する通知に自殺対策相談窓口一覧を同封した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・主な相談窓口の紹介チラシを作成し、関係機関の窓口への設置・事業等での配布を行うことにより、精神保健に関する相談窓口を情報提供した。（自治会連合会、自治会、住民健診、民生委員定例会、事業所、成人式） ・こころの健康講座としてゲートキーパー養成研修（町民）を実施し、27名の方が参加。悩んでいる方の心理や声かけの仕方などについて学んだ。
	草加保健所	個別事例に関し、各市関係機関と共同して支援を実施し、必要時事例検討を行った。また、管内各4市で主催している、自立支援協議会全体会や部会へ参加し、相談体制強化に資する情報共有や課題検討を行った。	個別事例に関し、各市関係機関と共同して支援を実施し、必要時事例検討を行った。また、管内4市で主催している自立支援協議会の全体会、部会を始め、自殺対策会議、障害者計画策定会議、事例検討会等へ参加し、相談体制強化に資する情報共有や課題の検討を行った。
	春日部保健所	<ul style="list-style-type: none"> ・東東ブロックの保健所間で精神保健福祉業務に関する情報交換を実施。管内関係機関職員を対象に、精神保健相談スキル向上を目的に講義を実施。 ・東東精神保健福祉業務ブロック会議の参加（9月28日） ・地域包括ケアシステム構築推進研修の実施（1月23日） 	<ul style="list-style-type: none"> ・管内関係機関職員を対象に、精神保健相談スキル向上を目的に研修を実施。 ・地域包括ケアシステム構築推進研修の実施（3月7日）
	③ 退院後の地域支援体制の充実強化	三郷市医師会	在宅医療・介護連携サポートセンターによる相談体制の強化。
	春日部市	<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて病院での個別ケース会議に参加し、地域での生活を支援できるようにした。 ・退院後、在宅生活が困難の方には、グループホームの入居やヘルパーの利用等について、相談支援事業所や関係部署と連携し、スムーズに障害福祉サービスの導入につながるよう支援を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて病院での個別ケース会議に参加し、地域での生活を支援できるようにした。 ・退院後、在宅生活が困難の方には、グループホームの入居やヘルパーの利用等について、相談支援事業所や関係部署と連携し、スムーズに障害福祉サービスの導入につながるよう支援を行った。
	草加市	<ul style="list-style-type: none"> ・退院前から医療機関を訪問し、本人を含めた支援体制について関係機関と検討し、地域で安定した生活を送れるようサービス調整を行った。入院中でもグループホームの体験が可能であることを医療機関に周知を図った。 ・グループホームの空き情報を相談支援事業所が確認できるようクラウドを活用している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・退院前から医療機関を訪問し、本人を含めた支援体制について関係機関と地域で安定した生活を送れるようサービス調整を行った。入院中でもグループホームの体験が可能であることを医療機関に周知を図った。 ・グループホームの空き情報を相談支援事業所をリアルタイムで確認できるようクラウドサービスを活用している。
	越谷市	<ul style="list-style-type: none"> ・市民の措置入院解除時は、県保健所が主催する調整会議（措置解除面接）に出席した。措置入院解除後は県保健所から市保健所へ支援機関が移るため、退院後の地域生活支援体制を整えた。また、医療保護入院等も含めて、退院後は来所面接や家庭訪問等で定期的に病状等を確認して、訪問看護ステーションや地域包括支援センター等と連携し、当事者および家族等の地域生活を継続的にフォローした。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市民の措置入院解除時は、県保健所が主催する調整会議（措置解除面接）に出席した。措置入院解除後は県保健所から市保健所へ支援機関が移るため、退院後の地域生活支援体制を整えた。また、医療保護入院等も含めて、退院後は来所面接や家庭訪問等で定期的に病状等を確認して、訪問看護ステーションや地域包括支援センター等と連携し、当事者および家族等の地域生活を継続的にフォローした。
	八潮市	<ul style="list-style-type: none"> ・基幹相談支援センター、相談支援事業所や保健所、医療機関等と連携を回り、退院後の支援体制について調整を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・基幹相談支援センター、相談支援事業所や保健所、医療機関と連携を回り、退院後の支援体制について調整を行った。
	三郷市	<ul style="list-style-type: none"> ・相談支援事業所と連携し、入院中より障害福祉サービス等の制度利用について説明を行い、再入院防止に向けた支援体制を整えた。 ・退院促進や地域生活の定着を目的とする「精神障害」にも対応した地域包括ケアシステム構築に向けて、精神障がい者支援部会にて検討を進めてきた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・相談支援事業所と連携し、入院中より障害福祉サービス等の制度利用について説明を行い、再入院防止に向けた支援体制を整えた。 ・退院促進や地域生活の定着を目的とする「精神障害」にも対応した地域包括ケアシステム構築に向けて、精神障がい者支援部会にて検討を進めてきた。
	吉川市	<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて病院や相談支援事業所などと個別会議を実施し、地域移行支援事業や地域定着支援事業を活用した退院後の地域支援体制を整えた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・こころと障がいの相談事業について広報に掲載するとともに、相談窓口のリフレットを必要に応じて配布した。
	松伏町	<ul style="list-style-type: none"> ・必要時、退院時カンファレンスの内容について情報提供を受け、地域での生活を支援できるようにした。 	<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて、退院時カンファレンスに参加。基幹相談支援センターを中心に、医療機関や関係機関と連携し、地域で安定した生活が送れるよう支援している。
	草加保健所	<ul style="list-style-type: none"> ・措置入院者に関しては、措置入院解除のタイミングで面接や会議を開催し、退院後の再発予防、社会参加を目標とした課題共有、支援方針を本人、家族、関係機関等と協議した。また、精神障害者支援地域協議会（代表者会議）では、措置入院運用上の課題や退院後支援の実情等を報告し、警察を交えた関係機関との共有を図った。（(3)①参照） 	<ul style="list-style-type: none"> ・措置入院者に関しては、措置入院解除のタイミングで面接や会議を開催し、退院後の再発予防、社会参加を目標とした課題共有、支援方針を本人、家族、関係機関等と協議した。また、精神障害者支援地域協議会（代表者会議）では、措置入院運用上の課題や退院後支援の実情等を報告し、警察を交えた関係機関との共有を図った。
	春日部保健所	<ul style="list-style-type: none"> ・退院後に必要な医療等の支援を継続的に受けられるようにすることで、社会復帰の促進等を図ることを目的として事業を実施。 ・精神障害者支援地域協議会（代表者会議）の開催（12月7日 参加25名） ・精神障害者支援地域協議会（調整会議）の実施（53回） 	<ul style="list-style-type: none"> ・退院後に必要な医療等の支援を継続的に受けられるようにすることで、社会復帰の促進等を図ることを目的として事業を実施。 ・精神障害者支援地域協議会（代表者会議）の開催（12月6日 参加23名） ・精神障害者支援地域協議会（調整会議）の実施（39回）

第7次計画埼玉県地域保健医療計画 東部保健医療圏 圏域別取組 R5年度実績(4)

圏域別取組	健康危機管理体制の整備充実
目標	県民の生命・安全を脅かすような事案に対し、迅速・的確に対応するため、地域における健康危機管理体制の整備充実を図ります。また、健康危機の未然防止対策の充実に努めます。
主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ■地域における健康危機管理体制の充実強化 ■大規模災害時における医療提供体制の確保に向けた取組 ■感染症対策の強化 ■新型コロナウイルス感染症対策の強化 ■食の安全・安心確保
実施主体	保健所、市町、医師会、歯科医師会、薬剤師会、医療機関、消防本部 等

主な取組	実施主体	R4	R5
① 地域における健康危機管理体制の充実強化	吉川松伏医師会	・吉川市、松伏町の地域防災計画改定などの策定、防災会議へ、担当医師を当会より推薦し派遣している。	・吉川市、松伏町の地域防災計画改定などの策定、防災会議へ、担当医師を当会より推薦し派遣した。
	東埼玉歯科医師会	・口腔衛生対策を検討	
	春日部市	・災害時医療に関する打合せを春日部市医師会他関係機関と行い、災害時における医療救護活動について協議した。 参加団体：医師会、歯科医師会、薬剤師会、接骨師会、鍼灸マッサージ師会、警察、市消防本部、市防災対策課、市健康課 開催日：令和4年11月18日、令和5年2月17日	・災害時医療に関する打合せを春日部市医師会他関係機関と行い、災害時における医療救護活動について協議した。(7回開催) 参加団体：医師会、歯科医師会、薬剤師会、接骨師会、鍼灸マッサージ師会、警察、市消防本部、市防災対策課、市健康課 開催日：令和5年5月29日、7月18日、9月15日、10月13日、11月10日、12月12日、令和6年2月10日
	草加市	・地域住民及び大学と連携し、感染症対策を盛り込んだ避難所運営訓練を実施した。 (実施日：獨協大学10/19、八幡小学校10/22、柿木町会11/13、松原小学校12/6) 以下11/12実施校(谷塚小学校、小山小学校、西町小学校、氷川小学校、栄小学校、長栄小学校、瀬崎小学校、草加小学校、高砂小学校、青柳中学校、川柳中学校、瀬崎中学校、草加中学校、松江中学校、谷塚中学校)	・地域住民と連携し、各小中学校で感染症対策を盛り込んだ避難所運営訓練を実施した。
	八潮市	・令和4年度埼玉県草加保健所地域災害保健医療調整会議に出席した。	・令和5年度埼玉県草加保健所地域災害保健医療調整会議に出席した。
	三郷市	・防災医療対策協議会を開催し、防災医療体制について協議を行った。 参加団体：医師会、歯科医師会、薬剤師会、接骨師会、三郷市危機管理防災課、三郷市健康推進課、三郷市消防本部、三郷市消防署 開催日：令和4年5月31日、7月26日、11月29日、令和5年3月28日	・防災医療対策協議会を開催し、防災医療体制について協議を行った。 参加団体：医師会、歯科医師会、薬剤師会、接骨師会、三郷市危機管理防災課、三郷市健康推進課、三郷市消防本部、三郷市消防署 開催日：令和5年5月30日、7月25日、9月26日、11月28日、令和6年3月29日
	吉川市	・第7回減災プロジェクトを関小学校で開催 日時：令和4年11月13日 場所：関小学校 内容：避難所開設訓練、受付訓練、防災設備等の見学、資材組立訓練	・第8回減災プロジェクトを栄小学校で開催 日時：令和5年11月12日 場所：栄小学校 内容：避難所開設訓練、受付訓練、防災設備等の見学、資材組立訓練
	松伏町		・令和5年度春日部保健所地域災害調整会議に参加 ・熱中症対策で町内関係部門と連携 ・避難所開設訓練の実施
	草加保健所	・全職員が非常時に行政無線及び非常用発電機の操作、衛星携帯電話の操作、災害用備蓄物品の利用が可能になる体制を構築するため、所内で行政無線・備蓄物品確認訓練を実施した。(R4年6月27日、28日) ・草加保健所地域災害保健医療調整会議の委員を対象として、風水害を想定した図上訓練を実施し、災害時の健康危機管理体制の充実強化を図った。(R4年12月21日) ・健康危機発生時における草加保健所健康危機管理マニュアルを見直し、改訂した。(R5年3月)	・新年度転入職員及び新規採用職員を対象に、草加保健所健康危機管理マニュアル内容確認訓練及び行政無線・備蓄物品確認訓練を実施した。(R5年7月25日、8月1日) ・草加保健所地域災害保健医療調整会議の委員を対象として、能登半島大地震発生時のDMAT活動体験発表を聴く機会を設け、災害時の健康危機管理体制の充実強化を図った。(R6年3月12日) ・健康危機発生時における草加保健所健康危機管理マニュアルを見直し、改訂した。(R6年2月)
	春日部保健所	・健康危害発生時における緊急対応マニュアルを作成し所内に配布した。(作成日：令和4年6月20日) ・埼玉県東部(北)保健医療圏地域災害保健医療対策会議研修・訓練を実施した。(開催日：令和5年3月23日、47名出席)	・健康危害発生時における緊急対応マニュアルを作成し所内に配布した。(作成日：令和5年4月1日) ・埼玉県東部(北)保健医療圏地域災害保健医療調整会議を開催した。開催日：令和5年10月23日)
② 大規模災害時における医療提供体制の確保に向けた取組	春日部市医師会	地震について、春日部市で震度5強を観測した段階で、春日部市災害対策本部が立ち上がり、市内5ヶ所(春日部市立医療センター・東中学校・武里南小学校・豊春中学校・桜川小学校)に避難所が開設される。会員全医療機関がそれぞれの担当避難所に駆けつけ救護にあたる。このような事態を想定し、春日部市・歯科医師会・薬剤師会等とともに、救護マニュアル策定等のための複数回の会議、年に一度の防災訓練(トリアージ訓練)を実施している。(令和4年度は新型コロナウイルス蔓延のため中止)	地震について、春日部市で震度5強を観測した段階で、春日部市災害対策本部が立ち上がり、市内5ヶ所(春日部市立医療センター・東中学校・武里南小学校・豊春中学校・桜川小学校)に避難所が開設される。会員全医療機関がそれぞれの担当避難所に駆けつけ救護にあたる。このような事態を想定し、春日部市・歯科医師会・薬剤師会等とともに、救護マニュアル策定等のための複数回の会議、年に一度の防災訓練(トリアージ訓練)を実施している。令和5年度は11月9日(日)豊春中学校において新型コロナウイルス蔓延のため4年ぶりのトリアージ訓練を実施した。
	越谷市医師会	越谷市災害対策マニュアルに基づいた有事の際の医療提供のあり方について継続的に検討している。市設置の医療救護所への医療班派遣準備の体制構築を図り、医療救護所設置訓練を市との共催で行った。また、医療救護活動に必要なトリアージに関するスキルアップ研修を会員医師のみならず、市保健師や医療機関勤務看護師、歯科医師会、薬剤師会、接骨師会にも受講対象を拡げ災害医療への理解と医療班への参加協力に対する意識啓発に取り組んでいる。他地域への応援要請に応えるべく、Jmat活動にも取り組みを強化した。	越谷市災害対策マニュアルに基づいた有事の際の医療提供のあり方について継続的に検討している。市設置の医療救護所への医療班派遣準備の体制構築を図り、医療救護所設置訓練を市との共催で行った。また、医療救護活動に必要なトリアージに関するスキルアップ研修を会員医師のみならず、市保健師や医療機関勤務看護師、歯科医師会、薬剤師会、接骨師会にも受講対象を拡げ災害医療への理解と医療班への参加協力に対する意識啓発に取り組んでいる。他地域への応援要請に応えるべく、Jmat活動にも取り組みを強化した。

第7次計画埼玉県地域保健医療計画 東部保健医療圏 圏域別取組 R5年度実績(4)

圏域別取組	健康危機管理体制の整備充実
目標	県民の生命・安全を脅かすような事案に対し、迅速・的確に対応するため、地域における健康危機管理体制の整備充実を図ります。また、健康危機の未然防止対策の充実にも努めます。
主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ■地域における健康危機管理体制の充実強化 ■大規模災害時における医療提供体制の確保に向けた取組 ■感染症対策の強化 ■新型コロナウイルス感染症対策の強化 ■食の安全・安心確保
実施主体	保健所、市町、医師会、歯科医師会、薬剤師会、医療機関、消防本部 等

主な取組	実施主体	R4	R5
	吉川松伏医師会	<ul style="list-style-type: none"> ・災害医療委員会を設置して、定期的に災害時の医療救護体制の構築についての検討を行った。 ・医師会としてのトリアージ訓練を実施していたが、コロナ禍の中ということがあって、活動は自粛した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・吉川市、松伏町の行政と連携し、大規模災害時における医療提供体制を整備していくため、災害対策委員会を開催し、「吉川松伏医師会 災害対策マニュアル【震災編】」を策定した。 ・松伏町開催「防災訓練」の中で、医師会主催のトリアージ訓練を実施した。
	草加八潮医師会	災害医療対策委員会を開催し、平成30年に策定したマニュアルを見直し、草加市、八潮市の災害対策マニュアルや草加市立病院や八潮中央総合病院と連携した、新たな医師会災害マニュアルの策定を行っている。	災害医療対策委員会を開催し、新災害対応マニュアルを策定した。また、草加市、草加市立病院、八潮市、八潮中央病院と連携し、救護所の運営について協議を続けている。
	三郷市医師会	防災医療対策協議会の一員として大規模災害時に備えた防災医療体制の充実化を図り、トリアージ訓練や化学災害対策訓練を実施。	
	東埼玉歯科医師会	・口腔衛生用品等の備蓄の検討	・災害対策委員会で医療提供について協議した。
	春日部市薬剤師会		春日部市災害時医療救護所への医薬品・衛生材料を会員薬局で備蓄し、発災時に救護所への持参体制を構築。 春日部市災害時医療救護訓練に薬剤師会会員の参加。 アマチュア無線を使った緊急時医療救護所間の通信訓練を行った。
	埼玉県看護協会	<ul style="list-style-type: none"> ・災害支援ナースの育成（基礎知識に関する2研修と登録更新に関する4研修を実施） ・災害支援ナース派遣調整訓練を11/29～30で実施 	
	春日部市	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時医療に関する打合せを春日部市医師会他関係機関と行い、災害時における医療救護活動について協議した。 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、大規模災害発生を想定した医療救護訓練実施は見送りとした。 ・大規模災害時に備えて、災害時医薬品等備蓄管理業務を春日部市薬剤師会に委託・・・備蓄箇所数市内15か所 	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時医療に関する打合せを春日部市医師会他関係機関と行い、災害時における医療救護活動について協議した。 関係機関との協議を踏まえ、大規模災害発生時における医療救護所の開設を想定し、トリアージや救急処置、患者搬送等の災害時医療救護訓練を実施。 実施日：令和5年11月19日 実施場所：春日部市立豊春中学校体育館 参加人数：238人 訓練に先立ち、葛飾区での医療救護訓練を視察（視察日：令和5年10月22日）。 ・大規模災害時に備えて、災害時医薬品等備蓄管理業務を春日部市薬剤師会に委託・・・備蓄箇所数市内15か所
	草加市	<ul style="list-style-type: none"> ・草加市と八潮市の医師会、歯科医師会、薬剤師会を中心とした災害医療チーム（SYMAT）と、災害時の医療提供体制整備のための協議を継続している。（訓練はコロナ対応で実施せず） 	<ul style="list-style-type: none"> ・草加市の医師会、歯科医師会、薬剤師会等と、災害時の医療提供体制整備のための協議を継続している。
	越谷市	<ul style="list-style-type: none"> ・医療救護所設置訓練の実施 越谷市医師会、越谷市歯科医師会、越谷市薬剤師会、越谷市接骨師会と連携し、医療救護所設置訓練を2会場で実施した。（実施日：10月8日、参加者24名） ・越谷市立病院は、埼玉県災害時連携病院及び埼玉地域DMAT指定病院に指定されておりDMAT隊員と定期的に訓練を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・医療救護所設置訓練の実施 越谷市医師会、越谷市歯科医師会、越谷市薬剤師会、越谷市接骨師会と連携し、医療救護所設置訓練を2会場で実施した。（実施日：10月7日、参加者29名） ・埼玉県災害時連携病院及び埼玉地域DMAT指定病院に指定されており、DMAT隊員と定期的に訓練を行っている。
	八潮市	なし	<ul style="list-style-type: none"> ・草加八潮医師会の災害時医療担当の医師、草加市立病院DMATの医師と市の危機管理部門、保健衛生部門をメンバーとした災害医療対策打ち合わせに出席した。
	三郷市	<ul style="list-style-type: none"> ・防災医療対策協議会のなかで、医師会、歯科医師会、薬剤師会、接骨師会と災害時の連絡体制等について協議を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・上記協議会のなかで、医師会、歯科医師会、薬剤師会、接骨師会と災害時の連絡体制等について協議を行った。
	吉川市	<ul style="list-style-type: none"> ・入院患者のいる医療機関に対し、要配慮者利用施設に係る避難確保計画や訓練実施結果報告書の提出を依頼。 	<ul style="list-style-type: none"> ・入院患者のいる医療機関に対し、要配慮者利用施設に係る避難確保計画や訓練実施結果報告書の提出を依頼。
	松伏町	<ul style="list-style-type: none"> ・例年、町において防災訓練を行っているが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止となった。 	松伏町防災訓練に参加した。またその中で吉川松伏医師会のトリアージ訓練に参加した。
	草加保健所	<ul style="list-style-type: none"> ・草加保健所地域災害保健医療調整会議の委員を対象として、風水害を想定した図上訓練を実施し、大規模災害時における医療提供体制の連携強化を図った。（R4年12月21日） 	<ul style="list-style-type: none"> ・草加保健所地域災害保健医療調整会議の委員を対象として、能登半島大地震発生時のDMAT活動体験発表を聴く機会を設け、災害時の健康危機管理体制の充実強化を図った。（R6年3月12日）
	春日部保健所	<ul style="list-style-type: none"> ・埼玉県東部（北）保健医療圏地域災害保健医療対策会議研修・訓練を実施した。（開催日：令和5年3月23日、47名出席） 	埼玉県東部（北）保健医療圏地域災害保健医療調整会議を開催（開催日：令和5年10月23日）し、災害時における保健医療体制確保ため必要な協議を行った。
③ 感染症対策の強化	越谷市医師会	「外来感染対策向上加算」算定医療機関の普及啓発活動を行い、防護服着脱訓練等の講習会を実施している。	「外来感染対策向上加算」算定医療機関の普及啓発活動を行い、防護服着脱訓練等の講習会や感染対策学術研修会を実施している。
	吉川松伏医師会	<ul style="list-style-type: none"> ・医師会の会員で組織している感染対策委員会を設置、新型コロナウイルスのワクチン接種等に向けた感染症対策について協議した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・医師会の会員で組織している感染対策委員会を設置、新型コロナウイルスのワクチン接種等の接種体制など感染症対策について協議した。

第7次計画埼玉県地域保健医療計画 東部保健医療圏 圏域別取組 R5年度実績(4)

圏域別取組	健康危機管理体制の整備充実
目標	県民の生命・安全を脅かすような事案に対し、迅速・的確に対応するため、地域における健康危機管理体制の整備充実を図ります。また、健康危機の未然防止対策の充実に努めます。
主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ■地域における健康危機管理体制の充実強化 ■大規模災害時における医療提供体制の確保に向けた取組 ■感染症対策の強化 ■新型コロナウイルス感染症対策の強化 ■食の安全・安心確保
実施主体	保健所、市町、医師会、歯科医師会、薬剤師会、医療機関、消防本部 等

主な取組	実施主体	R4	R5
	草加八潮医師会	外来感染対策向上加算のカンファレンスや訓練を開催し、感染症に対する知識の充実を図っている。	外来感染対策向上加算のカンファレンスや訓練を開催し、感染症に対する知識の充実を図っている。
	三郷市医師会	学術講演会を開催し、インフルエンザ等感染症に対する知識の充実化を図る。	
	東埼玉歯科医師会	・感染予防対策について周知	
	春日部市薬剤師会		新型インフルエンザ等感染症、指定感染症又は新感染症に係る医療提供体制を確保する。(第二種協定指定医療機関)
	春日部市	<ul style="list-style-type: none"> ・新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づき備蓄品(医薬材料)を購入した。(消毒用エタノール570本、マスク(普通)12,000枚、マスク(小さめ)14,000枚、ニトリルグローブ15,000枚) ・12月広報に「自宅での食品・日用品等の備蓄について」の記事を掲載した 	<ul style="list-style-type: none"> ・新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づき、備蓄品(医薬材料)を購入。ローリングストックについて、備蓄計画表を作成し管理体制を整備した。(消毒用エタノール：備蓄量780L。防護対策キット：備蓄数50セット。) ・感染症について、広報紙やホームページ等を通じて情報提供を行い、感染予防についての啓発、感染拡大の注意喚起を行った。
	草加市	・避難所となる各小・中学校に、感染者等(体調不良者)専用スペースを設けている。	<ul style="list-style-type: none"> ・避難所となる各小・中学校等に、感染者等(体調不良者)専用スペースを設けている。 ・避難所となる各小・中学校等の備蓄倉庫に感染防止対策初動セット(フェイスシールド、マスク、非接触体温計等)を備蓄している。
	越谷市	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症拡大の影響から、感染症対策に係る関係機関との研修・訓練等は実施することができなかったが、結核対応については、調査、勧告、DOTS(直接服薬確認療法)、管理検診・接触者健診等を通常通り行った。 ・エイズ等性感染症検査については、令和3年度と同様に即日検査は中止したが、通常検査は例年通り毎月1回実施した。なお、令和4年度は12月1日の「世界エイズデー」にちなみ、即日検査を12月に1回実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・結核患者対応については、調査、勧告、DOTS(直接服薬確認療法)、管理検診・接触者健診等を通常通り行うとともに、結核予防週間に広報・ホームページ・懸垂幕等を活用して市民向けの普及啓発活動を行うほか、関係事業所に結核の定期健診の受診勧奨通知を行うなど、結核感染対策に努めた。 ・エイズ等性感染症検査については、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により令和4年度まで縮小していた通常検査・即日検査の回数を令和5年度より通常回数に戻したうえ、イベント検査を年1回から2回に増やして行うなど、感染症対策の充実に努めた。
	八潮市	・感染防止について、ポスター/チラシ等を作成し注意喚起を行った。また、適宜広報やホームページにおいても啓発を行った。	・感染防止について、ポスター/チラシ等を作成し注意喚起を行った。また、適宜広報やホームページにおいても啓発を行った。
	三郷市	<ul style="list-style-type: none"> ・三郷市新型インフルエンザ等対応マニュアルの見直しを行った。 ・季節に応じた各種感染症の流行状況を確認し、随時市メール配信サービスやSNSで周知啓発を行った。また、乳幼児に起こりやすい感染症についてはリーフレットを作成し、乳幼児健診会場にて配布した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・季節に応じた各種感染症の流行状況を確認し、随時市メール配信サービスやSNSで周知啓発を行った。また、乳幼児に起こりやすい感染症についてはリーフレットを作成し、乳幼児健診会場にて配布した。
	吉川市	・感染予防対策について広報紙やHPへの掲載、ポスター掲示にて周知した。	・感染予防対策について広報紙やHPへの掲載、ポスター掲示にて周知した。
	松伏町	<ul style="list-style-type: none"> ・小児定期予防接種の予診票を健診案内に同封または健診時に渡した。 ・予防接種を受けていない住民へ勧奨のお知らせを送付した。 ・小学校と協力し予防接種勧奨のお知らせを配布した。 ・対象となる高齢者へインフルエンザの予診票を送付した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・感染流行情報を随時確認して個別支援に活かし、関係機関・部署と共有した。 ・感染予防対策について広報、ホームページ、ポスター掲示等で周知を行った。 ・予防接種情報について、受診漏れを防止し実施率を上げるための工夫(健診等の案内や確認)に努めた。
	草加保健所	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度感染症発生状況：3類14件、4類7件、5類32件 ・令和4年新規結核登録患者数52人、年末登録者数146人 ・感染症発生動向調査25医療機関の協力により発生動向を把握した ・性感染症検査については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受け休止しており、再開についての検討を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度感染症発生状況：3類15件、4類19件、5類22件 ・令和5年新規結核登録患者数87人、年末登録者数193人 ・感染症発生動向調査25医療機関の協力により発生動向を把握した ・性感染症検査については、新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い通常検査を再開した。
	春日部保健所	<ul style="list-style-type: none"> ・結核患者への服薬支援、感染者・患者の早期発見により結核の蔓延防止を図った。 令和4年結核新規登録者数29人(潜在性結核感染症16人)管理健診82人 接触者健診293人 訪問105人 面接107人 電話等328人(結核) ・定点医療機関から感染症患者の報告を受け、感染症の発生及び流行状況を正確に把握分析。その情報を医療機関・教育機関等と共有し、迅速な診断・有効かつ的確な感染対策を図り、感染症の発生及びまん延を防止した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・結核患者への服薬支援、感染者・患者の早期発見により結核の蔓延防止を図った。 令和5年結核新規登録者数43人(内、潜在性結核感染症17人)管理健診83人 接触者健診302人 訪問148人 面接74人 電話等476人(結核) ・定点医療機関から感染症患者の報告を受け、感染症の発生及び流行状況を正確に把握分析。その情報を医療機関・教育機関等と共有し、迅速な診断・有効かつ的確な感染対策を図り、感染症の発生及びまん延を防止した。

第7次計画埼玉県地域保健医療計画 東部保健医療圏 圏域別取組 R5年度実績(4)

圏域別取組	健康危機管理体制の整備充実
目標	県民の生命・安全を脅かすような事案に対し、迅速・的確に対応するため、地域における健康危機管理体制の整備充実を図ります。また、健康危機の未然防止対策の充実に努めます。
主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ■地域における健康危機管理体制の充実強化 ■大規模災害時における医療提供体制の確保に向けた取組 ■感染症対策の強化 ■新型コロナウイルス感染症対策の強化 ■食の安全・安心確保
実施主体	保健所、市町、医師会、歯科医師会、薬剤師会、医療機関、消防本部 等

主な取組	実施主体	R4	R5
④新型コロナウイルス感染症対策の強化	春日部市医師会	新型コロナウイルスの蔓延に伴い、市民への集団接種・個別接種の実施を含め、様々な施策への対応を協議するため、春日部市医師会役員13名及び春日部市薬剤師会長による14名からなる感染症委員会を計21回、春日部市担当課と執行部役員との打合せを計15回実施し、検討を重ねた。	新型コロナウイルスが5類となったとはいえ、新型コロナウイルスの蔓延に伴う様々な施策への対応を協議するため、令和4年度に引き続き春日部市医師会役員13名及び春日部市薬剤師会長による14名からなる感染症委員会を計11回、検討を重ねた。
	越谷市医師会	令和2年4月よりPCRセンターの運営参画、新型コロナワクチン接種体制(25,000回/週)の構築、医療従事者への早期接種開始による院内クラスター防止、高齢者施設への出張接種、発熱外来の整備と休日診療強化、自宅療養者への健康観察と在宅酸素の提供等、越谷市関係各署と連携し、次々と起こる課題の克服に向けて従事する一年であった。越谷市との感染症対策会議を月1~2回定期開催しR5年度も継続している。PCRセンターはその責務を果たし、R5.2月で終了した。	令和2年4月よりPCRセンター、新型コロナワクチン集団接種体制、高齢者施設への出張接種、発熱外来や休日診療強化、自宅療養者への健康観察と在宅酸素の提供等、越谷市関係各署と連携し各種の対応環境の整備をしてきた。この経験を活かし、R5.5月5類移行後も越谷市との協議の元、新感染症発生に対応する準備を整えている。
	吉川松伏医師会	<p>【PCR検査体制】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染拡大として、医師会立のPCRセンターを平成2年5月に開設し、週2回~3回、吉川市と松伏町と連携し、PCR検査を実施している。 ・各医療機関と連携し、PCR検査の実施の推進、手続き等を支援した。吉川市が17医療機関、松伏町が4医療機関となっている。 ・医師会のPCR検査センター 検査日数(56日)、検査人数(168人)、陽性者数(62人) <p>【コロナワクチン集団接種体制】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・吉川市 協力人数 医師28名・看護師75名 接種日数(152日)、医師出務延人数(337人)、医師出務時間(821時間)、看護師延人数(674人)、看護師出務時間(1,551時間) ・松伏町 協力人数 医師14名・看護師38名 接種日数(69日)、医師出務延人数(173人)、医師出務時間(465時間)、看護師延人数(229人)、看護師出務時間(675時間) 	<p>【PCR検査体制】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染拡大として、医師会立のPCRセンターを平成2年5月に開設し、吉川市と松伏町と連携し、PCR検査の実施体制を整えた。 ・医師会のPCR検査センター 検査体制日数(9日)、検査人数(0人) <p>【コロナワクチン集団接種体制】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・吉川市 協力人数 医師32名・看護師77名 接種日数(100日)、医師出務延人数(200人)、医師出務時間(456時間) 看護師延人数(369人)、看護師出務時間(987時間) ・松伏町 集団接種なし。
	草加八潮医師会	前年に引き続きPCRセンターの運営や新型コロナワクチンの予防接種を実施した。また、埼玉県の日曜日・祝日、GW、年末年始の診療・検査体制強化事業に取り組んだ。	新型コロナワクチンの予防接種を実施した。また、ゴールデンウィークや年末年始の外来診療体制確保に取り組んだ。
	三郷市医師会	学術講演会を開催し、新型コロナウイルス感染症に対する知識の充実化を図る。	
	東埼玉歯科医師会	・新型コロナウイルス感染症対策委員会を設置、感染予防対策の充実	
	春日部市薬剤師会		新型コロナウイルスに係る抗原定性検査キットの販売対応及び薬剤師会ホームページ等での周知をする 新型コロナウイルス感染症治療薬の備蓄・調剤をする
	埼玉県看護協会	・感染管理認定看護師による相談を実施 ・支援物資の配布(N95マスク、アイガード、ガウン、二酸化炭素測定器)希望施設へ配布	
	春日部市	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス対策本部会議を開催(9回) ・抗原定性検査キットの無料配布を実施した(6,050セット) ・自宅療養者に対しパルス賞与及び配食サービスを実施した(パルス:18,957個、配食9,638セット) ・新型コロナウイルスワクチン接種(集団接種・個別接種)を実施した。接種実績:308,893人(予診のみ340人) ・ワクチン最新情報を毎週作成し、市内公共施設等で掲示し情報を積極的に公開した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスワクチン接種について、市民への円滑なワクチン接種を実施するため、必要な接種体制を確保した。(医療機関での個別接種実施。ショッピングモール内の集団接種会場での土・日の接種体制確保) ・広報紙やホームページ等を通じて新型コロナウイルス感染症の関連情報を提供を行い、感染予防についての啓発、感染拡大の注意喚起を行った。
	草加市	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症に係るワクチン接種について、市民への円滑な接種を実施するため、必要な接種体制を確保した。 ・新型コロナウイルス感染症に係る地域医療体制の支援のほか、当該感染症の拡大防止を目的とした市民への啓発等を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症に係るワクチン接種について、市民への円滑な接種を実施するため、必要な接種体制を確保した。 ・新型コロナウイルス感染症に係る地域医療体制の支援のほか、当該感染症の拡大防止を目的とした市民への啓発等を行った。

第7次計画埼玉県地域保健医療計画 東部保健医療圏 圏域別取組 R5年度実績(4)

圏域別取組	健康危機管理体制の整備充実
目標	県民の生命・安全を脅かすような事案に対し、迅速・的確に対応するため、地域における健康危機管理体制の整備充実を図ります。また、健康危機の未然防止対策の充実に努めます。
主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ■地域における健康危機管理体制の充実強化 ■大規模災害時における医療提供体制の確保に向けた取組 ■感染症対策の強化 ■新型コロナウイルス感染症対策の強化 ■食の安全・安心確保
実施主体	保健所、市町、医師会、歯科医師会、薬剤師会、医療機関、消防本部 等

主な取組	実施主体	R4	R5
	越谷市	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症感染者の増加に対応するため、保健所業務の重点化を行うとともに、保健所職員でなければ対応が困難な業務以外の業務については、庁内からの応援職員や人材派遣及び外部委託を導入した。 ・令和2年度から開始した消防局との患者搬送体制を維持しつつ患者搬送の外部委託を併せて行い、令和3年度から開始した医師会と連携した「入院待機者支援事業」についても継続し、新型コロナウイルス感染症対応の体制強化を図った。 ・新型コロナウイルス感染拡大による医療機関の負担軽減 ①埼玉県と連携し、越谷市内在住で発熱等の症状がある方（他に条件あり）や、同居家族がいる濃厚接触者を対象として、抗原検査キットの無料配布を実施した。（実施日8月10～9月14日 配布実績5,072個、R5年1月1日～1月3日 配布実績681個） ②診療・検査体制について、ドライブスルー方式のPCR検査を実施する地域外来・検査センターの設置や休日・年末年始において医療機関で発熱患者の診療と検査ができる体制を整備した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染拡大による医療機関の負担軽減 診療・検査体制について、休日・年末年始において医療機関で発熱患者の診療と検査ができる体制を整備した。 ・感染症法の一部改正により、国が策定する感染症基本指針及び埼玉県が策定する感染症予防計画の記載事項の充実が図られたほか、保健所設置市区でも感染症予防計画を定めることとなったことから、本市においても令和5年度中に感染症予防計画の策定に着手し、令和6年4月1日に策定に至った。この感染症予防計画に基づき、次の感染症発生に備え、感染症対策の一層の充実を図ることとなった。 ・新型コロナウイルス感染症については、令和5年5月に5類感染症に移行してからは、社会福祉施設等のうち特に高齢者及び障害者施設でのクラスター感染拡大を防ぐことを目的に、埼玉県クラスター対策チーム（通称：COVMAT）を活用し、クラスターが発生した高齢者及び障害者施設にCOVMATと共に立ち入り現場支援を行い、クラスター施設の感染拡大の防止に努めた。
	八潮市	<ul style="list-style-type: none"> ・広報誌やホームページ等を通じて情報提供を行い、感染拡大防止を図った。 ・市民が円滑に新型コロナウイルスワクチン接種が行えるように、接種体制を確保した。 ・埼玉県との覚書に基づき、食料の調達が困難な自宅療養者への食料配達及び、パルスオキシメーターの貸与を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・広報誌やホームページ等を通じて情報提供を行い、感染拡大防止を図った。 ・市民が円滑に新型コロナウイルスワクチン接種が行えるように、接種体制を確保した。 ・埼玉県との覚書に基づき、食料の調達が困難な自宅療養者への食料配達を実施した。（実施期間：令和5年4月1日から令和5年4月28日まで）
	三郷市	<ul style="list-style-type: none"> ・市ホームページやメール配信サービス、SNS等を活用し、新型コロナウイルス感染防止対策に関する情報提供を行った。 ・新型コロナウイルス感染者が自宅療養する際に、パルスオキシメーターや食料等を希望に応じ自宅まで配達をおこなった。 ・PCR検査費用について一部助成を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市ホームページやメール配信サービス、SNS等を活用し、新型コロナウイルス感染防止対策に関する情報提供を行った。 ・新型コロナウイルス感染者が自宅療養する際に、パルスオキシメーターや食料等を希望に応じ自宅まで配達をおこなった。（5類移行に伴い事業終了） ・PCR検査費用について一部助成を行った。（5類移行に伴い事業終了）
	吉川市	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス対策会議や新型コロナウイルス感染症に関する市の対応を決定し、各課対応や市民への周知を実施した。 ・医師会運営のPCR検査センターへの支援。 ・在宅療養者への食料支援 551個 ・陽性者へのパルスオキシメーター配送 5,097個 	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス対策会議において、新型コロナウイルス感染症に関わる市の対応を決定し、各課対応や市民への周知を実施した。
	松伏町	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症対策会議を開催し、町の方針を決定した。 ・ホームページやSNS等を活用し、町民に新型コロナウイルス感染症情報を提供した。 ・医師会PCR検査センターへの支援を実施した。 ・自宅療養者へパルスオキシメーター、濃厚接触者へ抗原キットの配布を実施。 ・新型コロナウイルスワクチンの個別接種、集団接種を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルスワクチン接種を国の方針に基づき実施した。また、ワクチン接種について対象者への通知やホームページなどにより周知した。
	草加保健所	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度新規感染者登録数107,186件（届出対象72,277件、対象外34,909件） ・積極的疫学調査、健康観察への対応のため、派遣職員や応援職員を導入し、発生件数や自宅療養者への対応ができる体制を構築した。 ・5類移行への対応について、福祉施設に対する研修会の開催や、COVMAT派遣を行った。施設調査281件、COVMAT派遣17件。 ・管内医療機関、消防との連携会議を実施し、新型コロナウイルス感染症患者の対応について協議した。（計3回） 	<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度新規感染者登録数225件（令和5年5月7日まで） ・5類移行までは積極的疫学調査、健康観察への対応のため、派遣職員を導入し、患者調査や入院調整、自宅療養者への対応ができる体制を構築した。 ・5類移行まで、福祉施設より患者発生報告を受け、感染対策への助言やCOVMAT派遣を行った。施設報告数175件、COVMAT派遣3件。 ・5類移行後も、管内福祉施設を対象として新型コロナウイルス感染症対応の研修会を2回実施し、それぞれZoomによるオンライン研修とその後のオンデマンド配信を実施した。
	春日部保健所	<ul style="list-style-type: none"> ・Withコロナに向けた新たな段階における療養の考え方として、全数届出が見直され、令和4年9月26日から発生届の対象は65歳以上の方、入院を要する方など4類型に限定された。 ・4類型以外の陽性者で症状が軽い方は自ら陽性者登録を行い、自宅療養者支援センター等でフォローアップ等を行った。（参考） ①新型コロナ感染症届出者 30,224名、②入院した感染者 1,809名、③ホテル療養した感染者 849名 	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症については、五類に移行される5月7日まで227名の届出があった。 ・高齢者施設に対するコロナ対策として、陽性者が1名でも発生した場合は、当所あての報告をお願いし、感染対策について指導を行うとともに、必要に応じて埼玉県クラスター対策チーム（COVMAT）の派遣を行うこととした。 また、コロナ及び結核に関する研修会をオンラインで行い、46施設67名の参加があった。 ・利根、東部圏域の保健所職員等を対象に、陰圧テント設置及び電動ファン付き呼吸用保護具（バーサフロー）の装着等の訓練を行い21名の参加があった。

第7次計画埼玉県地域保健医療計画 東部保健医療圏 圏域別取組 R5年度実績(4)

圏域別取組	健康危機管理体制の整備充実
目標	県民の生命・安全を脅かすような事案に対し、迅速・的確に対応するため、地域における健康危機管理体制の整備充実を図ります。また、健康危機の未然防止対策の充実に努めます。
主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ■ 地域における健康危機管理体制の充実強化 ■ 大規模災害時における医療提供体制の確保に向けた取組 ■ 感染症対策の強化 ■ 新型コロナウイルス感染症対策の強化 ■ 食の安全・安心確保
実施主体	保健所、市町、医師会、歯科医師会、薬剤師会、医療機関、消防本部 等

主な取組	実施主体	R4	R5
⑤ 食の安全・安心確保	草加市	・8月の食品衛生月間に合わせて、ホームページを更新、草加市あんしんメールの配信を行い食中毒予防の周知を行った。	・8月の食品衛生月間に合わせて、ホームページを更新、草加市あんしんメールの配信を行い食中毒予防の周知を行った。
	越谷市	<ul style="list-style-type: none"> ・食品営業施設等の立入検査及び食品の製造・販売施設の監視を実施した。(1,461施設) ・市内で製造・販売される食品等について法等に基づき食品収去等検査を実施した。(178検体、10,146項目数) ・食品関係業者等への衛生教育を実施した。 ・食品業者や従業員等に対して、食中毒予防のための講習会を実施した。(衛生講習会実施数2回、参加者数118名、動画配信5件、視聴回数706回) 	<ul style="list-style-type: none"> ・食品営業施設等の立入検査及び食品の製造・販売施設の監視を実施した。(807施設) ・市内で製造・販売される食品等について法等に基づき食品収去等検査を実施した。(177検体、4,607項目数) ・食品関係業者等への衛生教育を実施した。 ・食品業者や従業員等に対して、食中毒予防のための講習会を実施した。(衛生講習会実施数9回、参加者数346名、動画配信6件、視聴回数2,755回)
	八潮市	・気温が高くなり食中毒が心配される6月に、広報誌・ホームページ等を活用して食中毒予防の原則について周知を行った。	・気温が高くなり食中毒が心配される6月に、広報誌・ホームページ等を活用して食中毒予防の原則について周知を行った。
	三郷市	・庁内の管理栄養士・栄養士が集まり、定期的に会議を開催し災害時の栄養食生活支援について備蓄食品の見直しや備蓄食品の市民周知用チラシを作成した。	
	松伏町		ノロウイルスの注意喚起を広報紙1月号で実施した。
	草加保健所	<ul style="list-style-type: none"> ・HACCP導入の普及・啓発：営業許可新規・継続時等の周知施設1,600施設 ・施設に対する重点的・専門的な監視指導 <ul style="list-style-type: none"> ①生の野菜等を加工提供する施設の監視：33施設 ②生食用食肉提供施設の監視：30施設 ・食の安心・安全についての情報提供：衛生教育の実施2回 	<ul style="list-style-type: none"> ・HACCP導入の普及・啓発：営業許可新規・継続時等の周知施設1,600施設 ・施設に対する重点的・専門的な監視指導 <ul style="list-style-type: none"> ①生の野菜等を加工提供する施設の監視：6施設 ②生食用食肉提供施設の監視：26施設 ・食の安心・安全についての情報提供：衛生教育の実施17回
	春日部保健所	食品等事業者等に向けてHACCP（ハサップ）導入支援等講習会を34回実施し、649名が参加した。	食品等事業者等に向けてHACCP（ハサップ）導入支援等講習会を96回実施し、923名が参加した。

第7次計画埼玉県地域保健医療計画 東部保健医療圏 圏域別取組 R5年度実績(5)

圏域別取組	在宅医療の推進
目標	地域住民が疾病を抱えても、最期まで住み慣れた環境で自分らしい生活を続けられるよう地域包括ケアシステムを構築するために、在宅医療の充実と在宅介護との連携の推進を図ります。
主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ■在宅医療・介護の連携の推進 ■在宅医療連携拠点の充実 ■在宅医療・介護関係者の情報共有、相談体制の支援 ■関係機関の連携の推進
実施主体	市町、保健所、地域包括支援センター、医師会、歯科医師会、薬剤師会、医療機関、薬局、訪問看護ステーション、介護施設 等

主な取組	実施主体	R4	R5
①在宅医療・介護の連携の推進	春日部市医師会	令和4年度も毎月「春日部市在宅サービス多職種連携協議会」を開催し、医師・歯科医師・薬剤師・接骨師・鍼灸マッサージ師・看護師・ケアマネジャー・地域包括センター職員・春日部市健康保健部職員が一同に会し、様々な在宅医療・介護業務について、忌憚のない意見交換を通じて連携体制を構築している。	令和5年度も毎月「春日部市在宅サービス多職種連携協議会」を開催し、医師・歯科医師・薬剤師・接骨師・鍼灸マッサージ師・看護師・ケアマネジャー・地域包括センター職員・春日部市健康保健部職員が一同に会し、様々な在宅医療・介護業務について、忌憚のない意見交換を通じて連携体制を構築している。
	越谷市医師会	地域包括ケアシステム構築に向けた「在宅医療・介護連携推進事業」8つのうち、「関係市区町村の連携」以外の7つの項目を実施。また、越谷市ケース検討会議参加医師のコーディネートを行うなど、多職種連携推進のハブの役割を担う組織として連携推進の構築に取り組んでいる。	地域包括ケアシステム構築に向けた「在宅医療・介護連携推進事業」8つのうち、「関係市区町村の連携」以外の7つの項目を実施。また、越谷市ケース検討会議参加医師のコーディネートを行うなど、多職種連携推進のハブの役割を担う組織として連携推進の構築に取り組んでいる。
	吉川松伏医師会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 往診医の紹介など在宅医療に関わる相談業務を行った。 ・ 在宅療養支援ベッドの確保、調整を行った。 ・ 「医療機関連絡窓口の情報一覧」を作成・更新した。 ・ 医療・介護従事者向け「コミュニケーション研修」「人生会議研修」を開催した。 ・ 吉川松伏在宅緩和ケア地域推進委員会を開催し、「神経難病患者の緩和ケア研修会」を2回開催した。 ・ 市民向け「人生会議」出張ミニ講座を開催した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 在宅医療連携拠点の吉川松伏在宅医療サポートセンターを中心に、在宅医療・介護連携に関わる相談業務、在宅療養に関わる普及啓発業務、多職種間や在宅医療への理解を促進するため、各専門職の技術向上や多職種連携につながる研修の開催などを計画し実施した。
	草加八潮医師会	草加市・八潮市の委託を受け、在宅医療サポートセンターで、相談業務、市民向け講座の開催、多職種の交流・研修、入退院支援ルールの策定・説明会の開催など医療と介護の連携を図った。	草加市・八潮市の委託を受け、在宅医療サポートセンターでは、相談業務、市民向け講座の開催、多職種の交流・研修、入退院支援ルールの説明のなど医療と介護の連携を図った。
	三郷市医師会	在宅医療・介護連携サポートセンターによる医療・介護連携の推進。	
	東埼玉歯科医師会	・ 多職種連携会議等への参加	・ 吉川松伏多職種連携の会に参加し連携を図った。
	春日部市薬剤師会		春日部市在宅サービス多職種連絡協議会（春宅会）、地域ケア会議に参加し連携する場を持つ
	埼玉県看護協会	県下の訪問看護推進事業として訪問看護人材養成基礎研修（eラーニング活用）の開催をした：6/11～12/1	
	春日部市	<ul style="list-style-type: none"> ・ 医療・介護関係者を対象に「春日部市医療介護連携研修・交流会」を開催した。 ①実施日：5月11日 グループディスカッション テーマ：「医療と介護の連携について」（参加者：103人） ②実施日：8月24日～9月7日 オンライン テーマ：「春日部市における医療介護連携の進化と深化」（視聴回数：217回） ③実施日：10月14日 グループディスカッション テーマ：「入退院連携を考えよう～入退院に必要な情報とは～」（参加者：116人） ④実施日：2月20日～3月31日 オンライン テーマ：「わかる緩和ケアと地域連携～地域にお世話になる前の病院物語 春日部市立医療センター 編～」（視聴回数：288回） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 医療・介護関係者を対象に「春日部市医療介護連携研修・交流会」を開催した。 ①実施日：5月17日 グループディスカッション テーマ：「春日部市医療介護連携思いやりガイドの作成に向けて」（参加者：105人） ②実施日：8月25日～9月10日 オンライン テーマ：「身近な高齢者の摂食機能障害」（視聴回数：147回） ③実施日：11月22日 グループディスカッション テーマ：「認知症（特に軽度）をどう支えるのか？」（参加者：80人） ④実施日：2月22日～3月7日 オンライン テーマ：「在宅医療における薬剤師の連携」（視聴回数：161回）
	草加市	<ul style="list-style-type: none"> ・ 在宅医療・介護多職種協働研修会 6回実施（基礎編2回、各論編（認知症、入退院支援ルール、緩和ケア、事業者交流会）4回）参加者数計413人 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 在宅医療・介護多職種協働研修会を開催。講義やグループワークを通じて知識の習得や顔の見える関係の構築を推進した。基礎編2回、各論編（認知症、入退院支援ルール、緩和ケア、事業者交流会）4回の計6回実施し参加者数は計341人。 ・ 研修会の様子を動画に撮影し、後日、動画配信を行っている。
	越谷市	<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和2年度から令和3年度に越谷市入退院支援ルールを作成し、令和4年度より施行した。入退院支援ルールの周知や利用状況を確認するため、アンケートを実施した。 ・ ACPの普及啓発のため、講演会を実施した。（1回・参加者102人）また、地域包括支援センター主催の会議、サロン、自治会等も活用し、出張講座を行った。（26回・参加者908人） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和2年度から令和3年度に越谷市入退院支援ルールを作成し、令和4年度より施行した。入退院支援ルールの周知や利用状況を確認するため、アンケートを実施した。また、令和5年度に入退院支援ルールの冊子の改訂を行った。 ・ ACPの普及啓発のため、講演会を実施した。（1回・参加者121人）また、地域包括支援センター主催の会議、サロン、自治会等も活用し、出張講座を行った。（19回・参加者568人）
	八潮市	<ul style="list-style-type: none"> ・ 在宅医療・介護連携推進事業研修会（医療・介護事業者向け）をオンラインで実施した。（実施日：11月17日（木）参加者17人） ・ 在宅医療介護連携講演会（市民向け）を実施した。（実施日：12月14日（水）参加者57人） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 在宅医療・介護連携推進事業研修会（医療・介護事業者向け）を実施した。（実施日：8月23日（水）参加者42人） ・ 在宅医療介護連携講演会（市民向け）を実施した。（実施日：12月12日（水）参加者53人）
	三郷市	<ul style="list-style-type: none"> ・ 退院調整ルールをMCSと多職種連携用冊子へ継続掲載。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 入退院支援ルールをMCSと多職種連携用冊子へ継続掲載。 ・ 在宅看取りの周知に向けて作成した「在宅看取りの絵本」について、関係職種による音声吹き込みのもと動画化した。市民向け講演会を年1回開催し、作成した動画の上映会を行った。
吉川市	<ul style="list-style-type: none"> ・ 吉川松伏多職種連携の会を4回開催し、医師、歯科医師、薬剤師、相談員、ケアマネジャー、地域包括支援センター職員等が一同に会し、研修会の企画や入退院支援ルールの検討をした。同会主催による研修会を1回開催した。 ・ 吉川松伏在宅医療サポートセンターを医師会に委託しており、センターによる医療・介護連携の推進をしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 吉川松伏多職種連携の会を5回開催し、医師、歯科医師、薬剤師、相談員、ケアマネジャー、地域包括支援センター職員等が一同に会し、研修会の企画や入退院支援ルールの検討をした。同会主催による研修会を1回、入退院支援ルール説明会を1回開催した。 ・ 吉川松伏在宅医療サポートセンターを医師会に委託しており、センターによる医療・介護連携の推進をしている。 	

第7次計画埼玉県地域保健医療計画 東部保健医療圏 圏域別取組 R5年度実績(5)

圏域別取組	在宅医療の推進
目標	地域住民が疾病を抱えても、最期まで住み慣れた環境で自分らしい生活を続けられるよう地域包括ケアシステムを構築するために、在宅医療の充実と在宅介護との連携の推進を図ります。
主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ■在宅医療・介護の連携の推進 ■在宅医療連携拠点の充実 ■在宅医療・介護関係者の情報共有、相談体制の支援 ■関係機関の連携の推進
実施主体	市町、保健所、地域包括支援センター、医師会、歯科医師会、薬剤師会、医療機関、薬局、訪問看護ステーション、介護施設 等

主な取組	実施主体	R4	R5
	松伏町	<ul style="list-style-type: none"> ・入退院支援ルールの内容について検討 令和4年度から吉川市・松伏町で入退院支援ルールの内容について検討開始 ・医療介護福祉の関係者が集まる「吉川・松伏多職種連携の会」の場を活用し実施。令和4年度ではフローチャート及びマナー集の内容について議論した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・入退院支援ルールの内容について検討 令和4年度から吉川市・松伏町で入退院支援ルールの内容について医療介護福祉の関係者が集まる「吉川・松伏多職種連携の会」の場を活用して検討し、運用を開始した。
	草加保健所	<ul style="list-style-type: none"> ・例年、埼玉県東部地域保健医療協議会 東部(南)保健医療圏在宅医療部会を開催していた。(令和4年度はコロナ対応で開催できなかった。) ・吉川・松伏地区で入退院支援ルールを策定するため、打ち合わせ会議等に参加し、オブザーバーとして必要な支援を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍のため休止していた埼玉県東部地域保健医療協議会 東部(南)保健医療圏在宅医療部会を再開した。(R6.1.23) ・吉川・松伏地区で入退院支援ルールを策定するため、打ち合わせ会議等に参加し、オブザーバーとして必要な支援を行った。
② 在宅医療連携拠点の充実	越谷市医師会	「医療・介護の連携拠点運営委員会」を開催し、拠点運営に係る協議を行っている。委員会は、越谷市役所、越谷市医師会連携拠点担当理事および医師、越谷市医師会立訪問看護ステーションの看護師、拠点職員で構成。また、移管されている越谷市地域医療課とは毎月打合せの会合を実施。	「医療・介護の連携拠点運営委員会」を開催し、拠点運営に係る協議を行っている。委員会は、越谷市役所、越谷市医師会連携拠点担当理事および医師、越谷市医師会立訪問看護ステーションの看護師、拠点職員で構成。また、移管されている越谷市地域医療課とは毎月打合せの会合を実施。
	吉川松伏医師会	<ul style="list-style-type: none"> ・吉川松伏在宅医療サポートセンターは、平成30年度より市町の受託事業により、平日9時～17時、コーディネーター(看護師、介護支援専門員)、2名体制で運営し、240日間開所した。 ・在宅医療、介護連携に関わる相談業務・往診、訪問診療医、患者登録支援業務・在宅療養支援ベッド確保業務・在宅療養に関わる普及啓発業務・多職種間や在宅医療への理解を促進するため、各専門職の技術向上や多職種連携につながる研修の開催などを計画、実施している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・往診医の紹介など在宅医療に関わる相談業務を行った。また、在宅療養支援ベッドの確保、調整を行った。 ・開所日数240日、相談件数52件、支援ベッド確保366日(R5.4.1～R6.3.31) ・支援ベッド利用者延べ人数4人、支援ベッド利用延べ日数40日 ・会議、研修等参加56回・地域の事業所訪問28回・広報通信誌発行12回 ・研修会など開催12回 <ul style="list-style-type: none"> 専門職向けコミュニケーション研修会 1回 専門職向け人生会議研修会 1回 市民向け人生会議講演会 7回 市民向け人生会議普及啓発活動 2回 緩和ケア委員会全体会 3回 緩和ケア委員会主催研修会 1回
	草加八潮医師会	草加市・八潮市の委託を受け、在宅医療サポートセンターで、相談業務、市民向け講座の開催、多職種の交流・研修、入退院支援ルールの策定・説明会の開催など医療と介護の連携を図った。	在宅医療サポートセンターでは、相談業務、市民向け講座の開催、多職種の交流・研修、新規事業所との連携など医療と介護の連携を図るとともに、市民への情報提供を行った。
	三郷市医師会	在宅医療・介護連携サポートセンターによる後方支援ベッド体制等の充実化。	
	東埼玉歯科医師会	在宅歯科医療機器の研修会の実施	在宅歯科医療推進窓口にて訪問歯科医院の紹介や在宅歯科医療についての相談を受けた。
	春日部市薬剤師会		春日部市在宅サービス多職種連絡協議会(春宅会)、地域ケア会議を通じ多職種と包括支援センターをサポート
	春日部市	春日部市地域包括ケアシステム推進センターに在宅医療連携拠点を設置し、業務を委託して実施した。	春日部市地域包括ケアシステム推進センターに在宅医療連携拠点を設置し、業務を委託して実施した。
	草加市	一般社団法人草加八潮医師会に委託し、「在宅医療サポートセンター」を在宅医療連携拠点として設置している。	一般社団法人草加八潮医師会に委託し、「在宅医療サポートセンター」を在宅医療連携拠点として設置している。
	越谷市	事業を越谷市医師会に委託しており、医師会内に設置された「越谷市医療と介護の連携窓口」が在宅医療連携拠点として事業を実施した。	事業を越谷市医師会に委託しており、医師会内に設置された「越谷市医療と介護の連携窓口」が在宅医療連携拠点として事業を実施した。
	八潮市	在宅医療連携拠点として、在宅医療サポートセンターを草加八潮医師会に業務委託し、在宅医療・介護に関する相談支援を行った。(相談件数46件)	在宅医療連携拠点として、在宅医療サポートセンターを草加八潮医師会に業務委託し、在宅医療・介護に関する相談支援を行った。(相談件数34件)
	三郷市	三郷市在宅医療介護連携サポートセンターを三郷市医師会に委託。	三郷市在宅医療介護連携サポートセンターを三郷市医師会に委託。
	吉川市	吉川松伏在宅医療サポートセンターを吉川松伏医師会に委託し、平成30年4月から運営。	吉川松伏在宅医療サポートセンターを吉川松伏医師会に委託し、平成30年4月から運営。
	松伏町	<ul style="list-style-type: none"> ・吉川松伏在宅医療サポートセンターの運営 ・人生会議(ACP)や在宅医療に関する研修会を開催 人生会議研修会:令和5年3月22日 会場:松伏町中央公民館田園ホールエローラ参加者:95名 	<ul style="list-style-type: none"> ・R6からの地域包括支援センター増設の準備を行った。 ・吉川松伏在宅医療サポートセンターの運営 ・人生会議(ACP)や在宅医療に関する研修会の2回開催(1回は吉川市と共同)
草加保健所	例年、埼玉県東部地域保健医療協議会 東部(南)保健医療圏在宅医療部会を開催していた。(令和4年度はコロナ対応で開催できなかった。)	コロナ禍のため休止していた埼玉県東部地域保健医療協議会 東部(南)保健医療圏在宅医療部会を再開した。(R6.1.23)	
③ 在宅医療・介護関係者の情報共有、相談体制の支援	春日部市医師会	令和4年度も2回「春日部市医療介護連携研修・交流会」(通称:春コン)を開催し、医師・歯科医師・薬剤師・保健師・看護師・理学療法士・柔道整復師・社会福祉士・介護福祉士・ケアマネジャー・地域包括センター職員・春日部市健康保健部職員が一同に会し、それぞれの職種参加者が班を構成する形で直に意見や疑問を述べ合うことで、研修会を実施した。	令和5年度も2回「春日部市医療介護連携研修・交流会」(通称:春コン)を開催し、医師・歯科医師・薬剤師・保健師・看護師・理学療法士・柔道整復師・社会福祉士・介護福祉士・ケアマネジャー・地域包括センター職員・春日部市健康保健部職員が一同に会し、それぞれの職種参加者が班を構成する形で直に意見や疑問を述べ合うことで、研修会を実施した。

第7次計画埼玉県地域保健医療計画 東部保健医療圏 圏域別取組 R5年度実績（5）

圏域別取組	在宅医療の推進
目標	地域住民が疾病を抱えても、最期まで住み慣れた環境で自分らしい生活を続けられるよう地域包括ケアシステムを構築するために、在宅医療の充実と在宅介護との連携の推進を図ります。
主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ■在宅医療・介護の連携の推進 ■在宅医療連携拠点の充実 ■在宅医療・介護関係者の情報共有、相談体制の支援 ■関係機関の連携の推進
実施主体	市町、保健所、地域包括支援センター、医師会、歯科医師会、薬剤師会、医療機関、薬局、訪問看護ステーション、介護施設 等

主な取組	実施主体	R4	R5
	越谷市医師会	医療・介護連携に係る相談受付業務。例年、医療機関・ケアマネからの相談が多く令和4年度は275件の相談があった。多職種からの相談内容をまとめた「医療と介護の連携窓口便り」を毎月発行し関係機関・団体へ配布。地域が抱える課題解決のため、研修会を実施。研修会後アンケートは情報共有し次の研修会に繋げている。ホームページは行政、事業所へもリンク可能。また、活用しやすいようにQRコードを作成し周知。多職種連携ツールMCSの活用推進のため、周知活動を継続。	医療・介護連携に係る相談窓口業務。例年、医療機関・ケアマネからの相談が多く令和5年度は324件（例年比+49）の相談があった。専門職種からの相談内容をまとめた「医療と介護の連携窓口便り」を毎月発行し関係機関・団体へ配布。地域が抱える課題解決のため、研修会を実施。研修会後アンケートは情報共有し次の研修会や課題解決に繋げている。ホームページはリニューアルし、関係機関へのリンクや連携窓口便り検索システム・トビックスなどの掲載でさらに活用できるようにした。多職種連携ツールMCSの活用推進のため、研修会を開催するなど周知活動を継続。
	吉川松伏医師会	<ul style="list-style-type: none"> ・医療、介護従事者より電話、FAX等にて相談を受けている。 ・令和3年度の相談件数は、66件であった。 ・往診医登録 0件（R4年度新規登録） ・患者情報登録 3件（R4年度新規登録） ・支援ベッド確保 365日 ・支援ベッド利用者延べ人数 1人 ・支援ベッド利用延べ日数 9日 ・地域の事業所訪問 29件 ・広報通信誌発行 12回 ・研修会など開催 8回 <ul style="list-style-type: none"> ・専門職向けコミュニケーション 1回 ・専門職向け人生会議研修会 1回 ・市民向け人生会議講演会 3回 ・緩和ケア研修会 2回 ・緩和ケア委員全体会 1回 	<ul style="list-style-type: none"> ・市町の行政と連携して、SNSのメディカルケアステーションを活用し、吉川市と松伏町の全医療機関、介護事業者の全ユーザーグループを作成して、多職種の情報共有、連携を図った。
	草加八潮医師会	草加市・八潮市の委託を受け、在宅医療サポートセンターで、相談業務、市民向け講座の開催、多職種の交流・研修、入退院支援ルールの策定・説明会の開催など医療と介護の連携を図った。	在宅医療サポートセンターでは、市民、医療機関、ケアマネからの相談業務を行うとともに、医療機関やケアマネへの情報提供を行っている。
	三郷市医師会	在宅医療・介護連携サポートセンターによる多職種連携に主眼を置いた研修会等の定期的な開催による支援体制の強化。	
	東埼玉歯科医師会	・多職種連携会議等への参加	・MCSへの登録歯科医療機関を増やし連携強化を図った。
	春日部市薬剤師会		「春日部市医療介護連携研修・交流会」、地域ケア会議に参加し支援策の検討をした
	春日部市	<ul style="list-style-type: none"> ・春日部市地域包括ケアシステム推進センターにて、医療・介護関係者、地域包括支援センター等への相談支援及び情報提供を実施した。（相談件数：27件） ・「春日部市在宅サービス多職種連絡協議会」の活動の情報を掲載した広報誌「春しん」を発行。2回（令和4年9月、令和5年3月） 	<ul style="list-style-type: none"> ・春日部市地域包括ケアシステム推進センターにて、医療・介護関係者、地域包括支援センター等への相談支援及び情報提供を実施した。（相談件数：30件） ・「春日部市在宅サービス多職種連絡協議会」の活動の情報を掲載した広報誌「春しん」を発行。1回（令和6年1月）
	草加市	<ul style="list-style-type: none"> ・医療機関・介護事業所の情報を記載した「草加市在宅医療・介護連携ガイド」を作成し、医療・介護従事者に向け配布した。（620部） ・「在宅医療サポートセンター」において、在宅医療・介護に関する相談支援を行った。（相談件数：371件） ・MCS（ICTを使用した情報連携ツール）の紹介・案内を随時実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・医療機関・介護事業所の情報を記載した「草加市在宅医療・介護連携ガイド」を作成し、医療・介護従事者に向け配布した。（650部） ・「在宅医療サポートセンター」において、在宅医療・介護に関する相談支援を行った。（相談件数：265件） ・MCS（ICTを使用した情報連携ツール）の紹介・案内を随時実施した。
	越谷市	<ul style="list-style-type: none"> ・関係者が情報共有するための広報誌「医療と介護の連携窓口便り」を毎月発行した。 ・越谷市医療と介護の連携窓口が医療・介護関係者からの相談窓口となり、電話・メール等の相談を275件受け付けた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・関係者が情報共有するための広報誌「医療と介護の連携窓口便り」を毎月発行した。 ・越谷市医療と介護の連携窓口が医療・介護関係者からの相談窓口となり、電話・メール等の相談を324件受け付けた。
	八潮市	<ul style="list-style-type: none"> ・在宅医療サポートセンターによる、MCSの登録作業や、ホームページ等による啓発を行った。 ・事業者向けの医療・介護資源リストを更新し、市内の医療機関・薬局・介護サービス事業所等に配布した。 ・入退院支援ルールを策定し、市内の医療機関・居宅介護支援事業所等に配布した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・在宅医療サポートセンターによる、MCSの登録作業や、ホームページ等による啓発を行った。 ・事業者向けの医療・介護資源リストを更新し、市内の医療機関・薬局・介護サービス事業所等に配布した。 ・入退院支援ルールを策定し、市内の医療機関・居宅介護支援事業所等への周知に努めた。
	三郷市	<ul style="list-style-type: none"> ・介護保険の認定申請窓口にて、三郷市在宅医療介護連携サポートセンターの案内チラシを配布。 ・市民向けに人生会議に関する内容をのせた看取りの絵本を作成。市内の小中学校や公共機関に絵本を配布し、電子図書にも掲載。 	<ul style="list-style-type: none"> ・三郷市在宅医療介護連携サポートセンターにて、市内事業所のMCS登録手続き等を管理。市の独自ルール、運用ポリシーに則り、円滑な活用の推進に取り組んでいる。
	吉川市	<ul style="list-style-type: none"> ・平成30年9月から「医療・介護情報提供システム」が公開され、在宅医療、介護関係者間の情報を共有している。 ・MCSの紹介・案内を随時実施した。 ・吉川松伏在宅医療サポートセンターにおいて、在宅医療・介護に関する相談支援を行った。 ・入退院支援ルールの策定に向けた検討を行った。 ・市のホームページに在宅医療に関する案内ページを作成した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・平成30年9月から「医療・介護情報提供システム」が公開され、在宅医療、介護関係者間の情報を共有している。 ・MCSの紹介・案内を随時実施した。 ・吉川松伏在宅医療サポートセンターにおいて、在宅医療・介護に関する相談支援を行った。 ・入退院支援ルールが完成。説明会を実施。 ・市のホームページに在宅医療に関する案内ページを随時更新した。

第7次計画埼玉県地域保健医療計画 東部保健医療圏 圏域別取組 R5年度実績（5）

圏域別取組	在宅医療の推進
目標	地域住民が疾病を抱えても、最期まで住み慣れた環境で自分らしい生活を続けられるよう地域包括ケアシステムを構築するために、在宅医療の充実と在宅介護との連携の推進を図ります。
主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ■在宅医療・介護の連携の推進 ■在宅医療連携拠点の充実 ■在宅医療・介護関係者の情報共有、相談体制の支援 ■関係機関の連携の推進
実施主体	市町、保健所、地域包括支援センター、医師会、歯科医師会、薬剤師会、医療機関、薬局、訪問看護ステーション、介護施設 等

主な取組	実施主体	R4	R5
	松伏町	・ICT情報共有ツール（MCS（メディカルケアステーション））の活用 メディカルケアステーションを活用し、在宅介護関係者の情報連携の強化を図った。	・ICT情報共有ツール（MCS（メディカルケアステーション））を活用し日常的な連携の強化 ・地域ケア会議 ケアマネ会議7～8回／年の開催 ・認知症地域支援推進員を配置し平成30年～「認知症初期集中支援チーム」による取り組み。
	草加保健所	・例年、埼玉県東部地域保健医療協議会 東部（南）保健医療圏在宅医療部会を開催していた。（令和4年度はコロナ対応で開催できなかった。）	・コロナ禍のため休止していた埼玉県東部地域保健医療協議会 東部（南）保健医療圏在宅医療部会を再開した。（R6.1.23）
④ 関係機関の連携の推進	春日部市医師会	令和4年度も毎月「春日部市在宅サービス多職種連携協議会」を開催し、医師・歯科医師・薬剤師・接骨師・鍼灸マッサージ師・看護師・ケアマネジャー・地域包括センター職員・春日部市健康保健部職員が一同に会し、様々な在宅医療・介護業務について、忌憚のない意見交換を通じて連携体制を構築している。	令和5年度も毎月「春日部市在宅サービス多職種連携協議会」を開催し、医師・歯科医師・薬剤師・接骨師・鍼灸マッサージ師・看護師・ケアマネジャー・地域包括センター職員・春日部市健康保健部職員が一同に会し、様々な在宅医療・介護業務について、忌憚のない意見交換を通じて連携体制を構築している。
	越谷市医師会	「医療と介護連携の会・世話人会」を年に4回開催。越谷市における多職種の各団体代表者が一堂に会し、地域包括ケアシステム推進のための意見交換や体制構築に深く関与した協議会となっている。県内の横断的な繋がりを目的に作られたMCSの県内拠点グループは、現在も継続。「越谷市在宅緩和地域連携委員会」は緩和ケアの連携体制に向けて関係構築を図っている。令和4年度は新たに薬剤師が加入した。ACP普及のために意思決定を考えられるよう市役所と一緒に「市民公開講座」を実施。県事業の「サロン向けACP講座」を開催するにあたり協力登録医師は6名。越谷市地域医療課も協力し各地区の地域包括支援センターや社協にも周知し講座を実施。また、他関係者にもチラシを配布し周知を行った。「越谷市入退院支援ルール」や「通院・入院時あんしんセット」の普及啓発は継続して務めている。同職種連携を深めるために「越谷市ナースの会」を年に3回開催。	「医療と介護連携の会・世話人会」を年に4回開催。越谷市における多職種の各団体代表者が一堂に会し、地域包括ケアシステム推進のための意見交換や体制構築に深く関与した協議会となっている。県内の横断的な繋がりを目的に作られたMCSの県内拠点グループは、現在も継続。「越谷市在宅緩和地域連携委員会」は緩和ケアの連携体制に向けて関係構築を図るため、多職種向け研修会を充実した。ACP普及のために意思決定を考えられるよう市役所と一緒に「市民公開講座」を実施。県事業の「サロン向けACP講座」を開催するにあたり協力登録医師は6名。拠点コーディネーターも講師になり普及啓発に努めている。越谷市地域医療課も協力し各地区の地域包括支援センターや社協にも周知し講座を実施。また、他関係者にもチラシを配布し周知を行った。「越谷市入退院支援ルール」や「通院・入院時あんしんセット」の普及啓発は継続して務めている。同職種連携を深めるために「越谷市ナースの会」を年に3回開催。
	吉川松伏医師会	・市町の高齢者の在宅医療に関する催しや地域ケア会議など参加。 ・埼玉県拠点が主催する埼玉県在宅医療連携協議会への参加。	①在宅医療・介護の連携の推進、③在宅医療・介護関係者の情報共有、相談体制の支援と同じ。
	草加八潮医師会	草加市・八潮市の委託を受け、在宅医療サポートセンターで、相談業務、市民向け講座の開催、多職種の交流・研修、入退院支援ルールの策定・説明会の開催など医療と介護の連携を図った。	在宅医療サポートセンターでは、多職種の交流・研修会などを通じて医療と介護の連携を強化している。
	三郷市医師会	在宅医療・介護連携サポートセンターによる関係機関との調整。	
	東埼玉歯科医師会	・多職種連携会議等への参加	・吉川松伏多職種連携の会に参加し連携を図った。
	春日部市薬剤師会		「春日部市医療介護連携研修・交流会」、地域ケア会議に参加し多職種、行政との連携強化に務める 4月18日 春日部市三師会 地域医療講演会を開催
	春日部市	・地域の医療・介護関係者が参画する「春日部市在宅サービス多職種連絡協議会」を開催した。計10回 245人 ・「春日部市在宅サービス多職種連絡協議会」の部会として、「春日部市在宅緩和ケア地域連携推進会議」を開催した。計2回 48人 ・保健センターが開催した健康フェア（12月3日）に参加し市民への普及啓発を実施。 自宅できいきと暮らす講座「運動器（関節や骨、筋肉）の疾患予防について～移動能力の低下を防ぐ」21人 血圧・筋力・体脂肪測定・医療介護相談 55人	・地域の医療・介護関係者が参画する「春日部市在宅サービス多職種連絡協議会」を開催した。計8回 184人 ・「春日部市在宅サービス多職種連絡協議会」の部会として、「春日部市在宅緩和ケア地域連携推進会議」を開催した。計2回 51人 ・保健センターが開催した健康フェア（12月3日）に参加し市民への普及啓発を実施。 「自宅でいきいきと暮らす講座「運動器（関節や骨、筋肉）の疾患予防について」31人 血圧・筋力・体脂肪測定・医療介護相談 84人
	草加市	・草加市在宅医療・介護連携推進協議会を設置し、3回会議を開催した。（第1回：R4.7.14、第2回：R5.1.23、第3回：R5.3.20）	・草加市在宅医療・介護連携推進協議会を設置し、3回会議を開催した。（第1回：R5.7.13、第2回：R5.10.26、第3回：R6.2.8）

第7次計画埼玉県地域保健医療計画 東部保健医療圏 圏域別取組 R5年度実績（5）

圏域別取組	在宅医療の推進
目標	地域住民が疾病を抱えても、最期まで住み慣れた環境で自分らしい生活を続けられるよう地域包括ケアシステムを構築するために、在宅医療の充実と在宅介護との連携の推進を図ります。
主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ■在宅医療・介護の連携の推進 ■在宅医療連携拠点の充実 ■在宅医療・介護関係者の情報共有、相談体制の支援 ■関係機関の連携の推進
実施主体	市町、保健所、地域包括支援センター、医師会、歯科医師会、薬剤師会、医療機関、薬局、訪問看護ステーション、介護施設 等

主な取組	実施主体	R4	R5
	越谷市	<ul style="list-style-type: none"> ・医療関係者、介護関係者、学識経験者等16名で構成された「越谷市地域包括ケア推進協議会」を1回開催し、在宅医療・介護連携推進や、認知症施策の推進について審議した。（実施日：10月8日、2月10日） ・多職種が参加する研修会を15回開催し、640人が参加した。 4月14日 28人 ランチで語ろう会（事例検討会）「ストレッチングスを知ろう」 4月27日 64人 Amiカフェ「地域共生社会への取組み」 5月12日 27人 ランチで語ろう会（事例検討会）「ストレッチングスを活かした支援を考えよう」 5月25日 60人 Amiカフェ「コミュニティナースの取組み」 6月16日 27人 ランチで語ろう会（事例検討会） 6月22日 62人 Amiカフェ「後見人について」 7月20日 26人 越谷市ナースの会「ACPIについて」 8月31日 71人 「新型コロナウイルス治療最前線」 10月20日 81人 第32回医療と介護連携の会「救急隊が関わる急変時のACP」 11月16日 21人 越谷市ナースの会「重層的支援体制整備事業について」 11月30日 24人 Amiカフェ「脳卒中後に運転を再開するための手順」 1月25日 34人 Amiカフェ「看護小規模多機能型居宅介護とは？」 3月 8日 20人 越谷市ナースの会「セルフコンパッションについて」 3月15日 60人 第33回医療と介護連携の会「誰でもわかるACP研修会」 3月22日 35人 Amiカフェ「定期巡回・随時対応型サービスとは」 	<ul style="list-style-type: none"> ・医療関係者、介護関係者、学識経験者等16名で構成された「越谷市地域包括ケア推進協議会」を2回開催し、在宅医療・介護連携推進や、認知症施策の推進について審議した。（実施日：8月30日、2月9日） ・多職種が参加する研修会を12回開催し、547人が参加した。
	八潮市	<ul style="list-style-type: none"> ・医療関係者、介護関係者等8人を構成員とする、在宅医療・介護連携推進会議を3回開催した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・医療関係者、介護関係者等9人を構成員とする、在宅医療・介護連携推進会議を3回開催した。
	三郷市	<ul style="list-style-type: none"> ・三郷市在宅医療介護連携推進協議会を年3回開催。（主体：市） ・多職種研修会を年1回開催。（主体：市） 	<ul style="list-style-type: none"> ・三郷市在宅医療介護連携推進協議会を年3回開催。（主体：市） ・多職種研修会を年1回開催。（主体：市）
	吉川市	<ul style="list-style-type: none"> ・吉川松伏多職種連携の会を4回開催、医療・介護職向け研修として講演会を1回実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ・吉川松伏多職種連携の会を5回開催、医療・介護職向け研修として講演会を1回実施。
	松伏町	<ul style="list-style-type: none"> ・在宅医療や介護の連携として「吉川・松伏多職種連携の会」の運営 吉川・松伏多職種連携の会 第1回（令和4年6月30日）、第2回（新型コロナウイルス感染症の影響により中止）、第3回（10月6日）、第4回（12月1日）、第5回（令和5年2月2日） 	<ul style="list-style-type: none"> ・吉川・松伏在宅医療サポートセンターとの連携 ・関係する会議や研修秋に参加することで、在宅医療や介護の連携として「吉川・松伏多職種連携の会」の運営 ・R5高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施
	草加保健所	<ul style="list-style-type: none"> ・例年、埼玉県東部地域保健医療協議会 東部（南）保健医療圏在宅医療部会を開催していた。（令和4年度はコロナ対応で開催できなかった。） ・「草加市在宅医療・介護連携推進協議会」及び「八潮市在宅医療・介護連携推進会議」に定期的に参加し、情報提供等を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍のため休止していた埼玉県東部地域保健医療協議会 東部（南）保健医療圏在宅医療部会を再開した。（R6.1.23） ・「草加市在宅医療・介護連携推進協議会」及び「八潮市在宅医療・介護連携推進会議」に定期的に参加し、情報提供等を行っている。